

歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

D e n t a l H y g i e n i s t

解答・解説・
要点集(基礎系)

351

令和4年版出題基準による出題科目一覧

問題番号	科目
午前問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	二、歯・口腔の構造と機能
12	
13	
14	
15	
16	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	五、歯科衛生士概論
37	
38	
39	
40	
41	六、臨床歯科医学
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	七、歯科予防処置論
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	八、臨床歯科医学
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	九、歯科診療補助論
72	
73	
74	
75	

問題番号	科目	
74	七、歯科予防処置論	
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84	八、歯科保健指導論	
85		
86		
87		
88		
89		
90		
91		
92		
93		
94	九、歯科診療補助論	
95		
96		
97		
98		
99		
100		
101		
102		
103		
104	午後問題	
105		
106		
107		
108		
109		
110		
1		一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11	二、歯・口腔の構造と機能	
12		
13		
14		
15		
16	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進	
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36	五、歯科衛生士概論	
37		
38		
39		
40		
41	六、臨床歯科医学	
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		
51	七、歯科予防処置論	
52		
53		
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		

問題番号	科目
37	六、臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	七、歯科予防処置論
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	八、歯科保健指導論
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	九、歯科診療補助論
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	八、歯科保健指導論
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	九、歯科診療補助論
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	

解答一覧表

午前問題			
問題	正解	問題	正解
1	c	56	a, d
2	a	57	b, d
3	d	58	d
4	c	59	d
5	c	60	a
6	b	61	d
7	a	62	a, d
8	b	63	b, d
9	d	64	a, c
10	c	65	c
11	c	66	c, d
12	b	67	d
13	d	68	b, d
14	c	69	d
15	a	70	d
16	a, c	71	b, d
17	c	72	a
18	c	73	d
19	d	74	a, d
20	a, b	75	b, d
21	a, d	76	b
22	c, d	77	b
23	b, d	78	a
24	b	79	a, d
25	c	80	b, d
26	c, d	81	c, d
27	b	82	b
28	a, c	83	a, b
29	a, d	84	a, c
30	d	85	a, b
31	a, d	86	a, c
32	b, d	87	b
33	d	88	c
34	b	89	b, c
35	b	90	b, d
36	b, c	91	c
37	b, d	92	b, d
38	b, d	93	d
39	c	94	c
40	a	95	a
41	a, d	96	a
42	a, d	97	b, d
43	b, c	98	a, b
44	d	99	a
45	c, d	100	b
46	d	101	c, d
47	b	102	b
48	b	103	a
49	d	104	c
50	d	105	a, c
51	d	106	b, c
52	d	107	c
53	d	108	a, b
54	d	109	d
55	b, d	110	a

午後問題			
問題	正解	問題	正解
1	c	56	b
2	b	57	d
3	c	58	a
4	c	59	a, b
5	c	60	c, d
6	c	61	d
7	b	62	d
8	a	63	d
9	a	64	d
10	c	65	d
11	d	66	c, d
12	a	67	b, c
13	b	68	d
14	d	69	b, d
15	b	70	b
16	a, c	71	d
17	d	72	a
18	a	73	d
19	d	74	a
20	b, d	75	b, d
21	a	76	c
22	a	77	a, c
23	b, d	78	b
24	b, c	79	b
25	a, c	80	a
26	d	81	b
27	d	82	a
28	c, d	83	c
29	d	84	b, c
30	b, d	85	b
31	d	86	a, c
32	b, c	87	b, d
33	c	88	c
34	d	89	b
35	a	90	c
36	b	91	a
37	a, b	92	c
38	a	93	a, b
39	b, c	94	b, c
40	d	95	a, c
41	b	96	c
42	a, d	97	b
43	b, d	98	a, c
44	b, d	99	a
45	a, b	100	a, d
46	b	101	a, d
47	d	102	d
48	a, b	103	d
49	d	104	a, c
50	a	105	c
51	c	106	c, d
52	d	107	d
53	c	108	d
54	d	109	a, c
55	a, d	110	a

351

午前問題…………… 解答・解説

本書で使用しているアイコンについて

 要点集 351:P〇〇

例) 351号掲載

「巻末資料 要点集」に関連事項が掲載されております。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

 DH26:P〇〇

例) 2026年版掲載

弊社刊行「Complete+DH 歯科衛生士 国家試験完全攻略 2026年版」に掲載された関連問題です。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

[問題 1] 人体のある断面の図(別冊午前 No. 1)を別に示す。

①はどれか。1つ選べ。

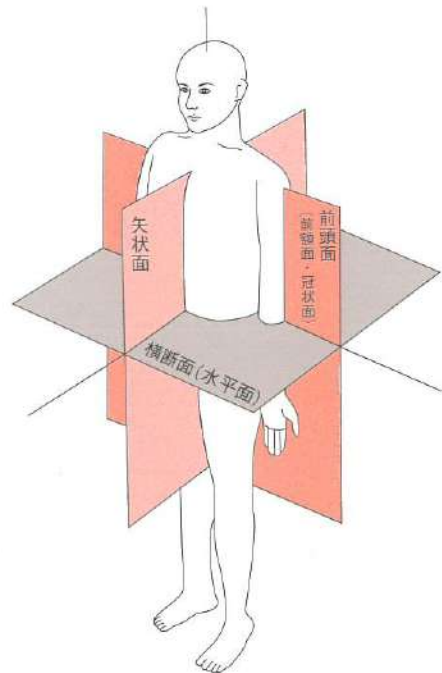
- a 横断面
- b 水平断面
- c 矢状断面
- d 前頭断面

▶解剖学

選択肢考察

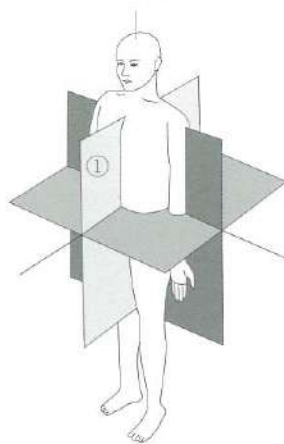
- × a、× b 横断面(水平面)は直立して地面に平行な面である。
- c 矢状面は身体を前後に貫く方向で、体または器官を左右に分ける面である。
- × d 前頭面は矢状面に対して垂直な面である。

●身体の方角用語

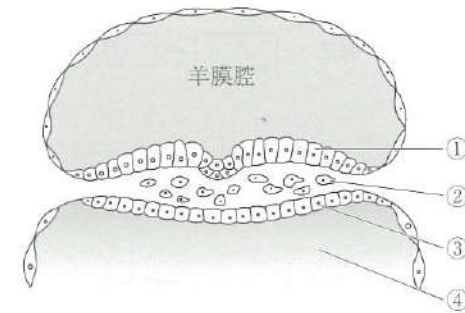


正解 c

No. 1



[問題 2] 三層性胚盤の図を示す。



神経系を形成する部位はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- a ①は羊膜腔に接している細胞層で**外胚葉**である。外胚葉からは体表面を覆う**上皮**や**神経管**を形成して神経系の組織にも分化する。
- × b ②は外胚葉と内胚葉の間に生じた細胞層で**中胚葉**である。**中胚葉**からは結合組織のほか、**骨や筋、血管、血液**などに分化する。
- × c ③は卵黄嚢に面した**内胚葉**である。**内胚葉**からは消化管の内腔を覆う**上皮**や、消化管付属腺、期間、肺などの呼吸器が分化する。
- × d ④は卵黄嚢で、胎児に栄養を供給する役割をもつ。

正解 a

📖 要点集 351:P11

[問題 3] 正常な歯の形成で、出生時に石灰化を開始するのはどれか。1つ選べ。

- a 乳中切歯
- b 第二乳臼歯
- c 第一小白歯
- d 第一大臼歯

▶解剖学

選択肢考察

- × a 乳中切歯の石灰化開始は胎生4~4.5か月頃である。
- × b 第二乳臼歯の石灰化開始は胎生6か月頃である。
- × c 第一小白歯の石灰化開始は生後1.5~2歳頃である。第一小白歯は出生時に**菌胚**が形成される。
- d 第一大臼歯は**出生時**に石灰化が開始される。

正解 d

[問題 4] 舌の写真(別冊午前 No. 2)を別に示す。
矢印で示す部位の味覚を支配するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌神経
- b 舌下神経
- c 鼓索神経
- d 下歯槽神経

▶解剖学

No. 2



選択肢考察

- × a 舌神経は下顎神経の枝で、舌前方2/3の体性感覚を支配する。
- × b 舌下神経は純運動性の神経で、舌運動を支配する。
- c 鼓索神経は顔面神経の枝で、舌前方2/3の味覚を支配する。
- × d 下歯槽神経は下顎神経の枝で、下顎歯の歯髄や歯肉感覚を支配する。

正解 c

DH26:P24

[問題 5] 三大栄養素に含まれないのはどれか。1つ選べ。

- a 糖質
- b 脂質
- c ビタミン
- d タンパク質

▶生化学

選択肢考察

- × c 糖質、脂質、タンパク質を三大栄養素とよび、これにビタミンとミネラルを加えて五大栄養素という。

正解 c

DH26:P48

[問題 6] 骨格筋収縮時にCaイオンが結合するのはどれか。1つ選べ。

- a アルブミン
- b トロポニン
- c フィブリン
- d コラーゲン

▶生理学

選択肢考察

- × a アルブミンは血漿タンパク質で、浸透圧の維持や物質の運搬に関与する。
- b 筋小胞体から放出されたCaイオンはアクチン上に存在するトロポニンと結合し、アクチンフィラメントとミオシンフィラメントの収縮反応が起こる。
- × c フィブリンは線維素で、血液凝固に関与する。
- × d コラーゲンは生体内に最も多く存在するタンパク質で、主要な構造タンパク質の一つである。

正解 b

要点集 351:P18

[問題 7] 心臓の興奮伝導系(刺激伝導系)の流れを示す。

洞房結節 → ① → ② → 左脚・右脚 → ③

②はどれか。1つ選べ。

- a ヒス束
- b 固有心筋
- c 房室結節
- d プルキンエ線維

▶生理学

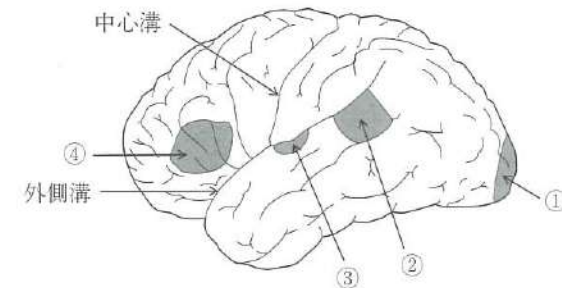
選択肢考察

- a 心筋には、収縮を担う固有心筋と、興奮の発生とその伝導(興奮伝導系)を担う特殊心筋が存在する。心臓の拍動リズムを決定する興奮伝導系は、洞房結節→房室結節→ヒス束→左脚・右脚→プルキンエ線維の順に伝わる。

正解 a

DH26:P41

[問題 8] 大脳皮質の機能局在の模式図を示す。



障害されると感覚性失語が発症するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

- × a ①は一次視覚野である。
- b 感覚性失語症とは、音は聞こえていても言語の意味が理解できない失語症であり、側頭葉の感覚性言語中枢(Wernicke(ウェルニッケ)中枢②)の障害によって起こる。
- × c ③は一次聴覚野である。
- × d ④はブローカ野(運動性言語中枢)で、発語に関与する領域である。この領域が障害されると発音ができない運動性失語症になる。

正解 b

DH26:P58

【問題 9】 顎骨内に発生する嚢胞はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉嚢胞
- b 粘液嚢胞
- c 鼻歯槽嚢胞
- d 含歯性嚢胞

▶病理学

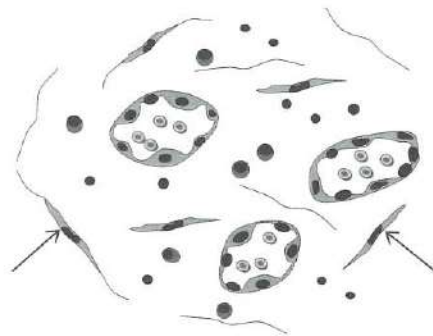
選択肢考察

- × a 歯肉嚢胞は新生児から3か月までの幼児の歯槽堤上粘膜に発生する**歯原性発育性嚢胞**である。
- × b 粘液嚢胞は唾液の排出障害などに起因して生じる**非歯原性嚢胞**で、軟組織に発生する。
- × c 鼻歯槽嚢胞は**鼻翼部**に発生する嚢胞である。
- d 含歯性嚢胞は嚢胞腔内に**埋伏歯冠**を含む**発育性嚢胞**である。下顎智歯部の顎骨内に生じる場合が多い。

正解 d

DH26:P67

【問題 10】 肉芽組織を模式図に示す。



矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a リンパ球
- b 破骨細胞
- c 線維芽細胞
- d 血管内皮細胞

▶病理学

選択肢考察

- × a リンパ球は白血球の一つで、B細胞、T細胞、NK細胞などに分類される免疫系細胞である。
- × b 破骨細胞と骨芽細胞は骨のリモデリングに関与する細胞で、破骨細胞は骨吸収を**促進**させ、血中カルシウム濃度を**上昇**させる作用をもつ。破骨細胞は多核の巨細胞で、骨に面した側は**波状縁**をもつ。
- c 線維性結合組織は、細胞成分と細胞外マトリックスから構成される組織で、細胞成分には線維芽細胞、免疫担当細胞、脂肪細胞などがあり、細胞外マトリックスにはコラーゲンやエラスチン、プロテオグリカンなどがある。
- × d 毛細血管は他の血管壁と異なり、1層の内皮細胞と周皮細胞から構成されている。

正解 c

DH26:P76

【問題 11】 壊死性潰瘍性歯周炎の主な原因菌はどれか。1つ選べ。

- a *Actinomyces viscosus*
- b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*
- c *Fusobacterium nucleatum*
- d *Streptococcus mutans*

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Actinomyces viscosus* は**通性嫌気性グラム陽性桿菌**で、**線毛**を有する。**根面う蝕**や**深部象牙質う蝕**中に多く検出される。
- × b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は**通性嫌気性グラム陰性桿菌**で、白血球毒性のある外毒素である**ロイコトキシン**を産生する。**侵袭性歯周炎**に関与する細菌である。
- c *Fusobacterium nucleatum* は**偏性嫌気性グラム陰性桿菌**で、**壊死性潰瘍性歯周炎**に関与する細菌である。
- × d *Streptococcus mutans* はミュータンス連鎖球菌で**通性嫌気性グラム陽性菌**である。

正解 c

DH26:P85

【問題 12】 ムンプスウイルス感染症はどれか。1つ選べ。

- a 手足口病
- b 流行性耳下腺炎
- c 水痘・带状疱疹
- d 後天性免疫不全症候群

▶微生物学

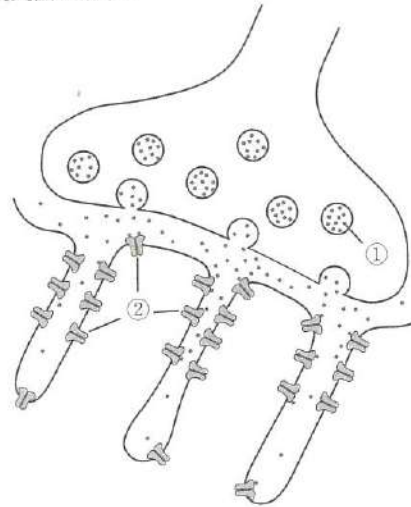
選択肢考察

- × a 手足口病は**コクサッキーA16ウイルス**感染症である。
- b 流行性耳下腺炎は**ムンプスウイルス**感染症である。
- × c 水痘・带状疱疹は**水痘带状疱疹ウイルス (VZV)**感染症である。
- × d 後天性免疫不全症候群は**ヒト免疫不全ウイルス (HIV)**感染症である。

正解 b

DH26:P169

[問題 13] 神経筋接合部の模式図を示す。



①から放出される物質はどれか。1つ選べ。

- a ドパミン
- b セロトニン
- c アドレナリン
- d アセチルコリン

▶薬理学

選択肢考察

- × a ドパミンは中枢神経系に存在する神経伝達物質で、運動調節、ホルモン調節、学習などに関わる。
- × b セロトニンは、生体リズムや睡眠、体温調節などに関与する神経伝達物質である。
- × c アドレナリンは交感神経節後線維の神経伝達物質で、平滑筋や心筋を支配する。
- d アセチルコリンは、自律神経節や副交感神経節後線維および神経筋接合部の神経伝達物質である。図は運動神経筋接合部と、ニコチン性アセチルコリン受容体である。運動神経筋接合部(①)から放出されたアセチルコリンが、ニコチン性アセチルコリン受容体(②)と結合し骨格筋の収縮作用を示す。

正解 d

DH26:P42

[問題 14] 高齢者において薬剤による有害事象が多い原因はどれか。1つ選べ。

- a 急性疾患の増加
- b 咀嚼機能の低下
- c ポリファーマシー
- d 薬物感受性の低下

▶薬理学

選択肢考察

- × a 高齢者は、生活習慣病などの慢性疾患と老年症候群が重積しているという特徴がある。その結果、ポリファーマシー(害のある多剤服用)になりやすい。
- × b 薬剤による有害事象が高齢者に多い理由として、嚥下機能の低下が考えられる。
- c、× d 高齢者は複数疾患に罹患している場合が多く、多剤服用によりポリファーマシーになりやすい。また、加齢による肝臓、腎臓機能低下で、代謝や排泄が遅延し、薬物感受性は増大する。

正解 c

DH26:P498

[問題 15] 連用により薬物依存を生じるのはどれか。1つ選べ。

- a ジアゼパム
- b リドカイン塩酸塩
- c アセトアミノフェン
- d ジクロフェナクナトリウム

▶薬理学

選択肢考察

- a 薬物依存とは薬物の使用により快感などを感じた結果、治療の目的とは関係なく薬物の使用をやめられなくなることをいい、身体依存と精神依存に大別される。身体依存はアルコールやオピオイド系薬物、バルビツール酸誘導体、ベンゾジアゼピン誘導体などで形成される。
- × b、× c、× d リドカイン塩酸塩(局所麻酔薬)、アセトアミノフェン(解熱鎮痛薬)、ジクロフェナクナトリウム(NSAIDs)は連用により薬物依存を生じることはない。

正解 a

DH26:P116

[問題 16] 歯肉のマッサージ効果が高いブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c チャーターズ法
- d スクラッピング法

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a バス法は、歯ブラシの毛先を使うブラッシング方法である。歯軸に対して45°の角度で毛先を歯肉縁下に入れて振動させるため、歯肉のマッサージ効果が高い。
- × b フォーンズ法は、歯ブラシの毛先を使うブラッシング方法である。上下歯面を一面とし、白歯部から前歯部まで円を描くように歯ブラシを動かす。乳歯列期において小児自身が磨きやすい方法であるが、歯肉マッサージ効果は低い。
- c チャーターズ法は、歯ブラシの脇腹を使うブラッシング方法である。歯肉辺縁に加圧振動を与えるため、歯肉マッサージ効果が高い方法である。
- × d スクラッピング法は、歯ブラシの毛先を使うブラッシング方法である。操作は容易で歯頸部、歯間部、咬合面のプラーク除去効果は高いが、歯面を磨く方法で歯肉溝に毛先を入れないため、歯肉マッサージ効果は低い。

正解 a、c

DH26:P704

【問題 17】 2020年度の我が国における社会保障給付費の内訳の関係で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 医療 > 年金 > 福祉
- b 医療 > 福祉 > 年金
- c 年金 > 医療 > 福祉
- d 福祉 > 医療 > 年金

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c 2020年度における我が国の社会保障給付費の総額は、132兆2,211億円である。国民1人当たりの社会保障給付費は104万8,200円である。社会保障給付費を部門別にみると、「医療」は42兆7,193億円で総額に占める割合は32.3%、「年金」は55兆6,336億円で同42.1%、「福祉その他」は33兆8,682億円で同25.6%であった。2020年は、新型コロナウイルスの国内での感染拡大が始まった年であり、新型コロナウイルス感染症対策に係る費用が、社会支出、社会保障給付費の大幅な伸びにつながった。

正解 c

DH26:P220

【問題 18】 学校歯科健康診断におけるGOで正しい組合せはどれか。1つ選べ。

- | | 歯肉炎 | 歯石の沈着 | 定期的な観察 |
|---|-----|-------|--------|
| a | なし | なし | 不要 |
| b | なし | なし | 必要 |
| c | あり | なし | 必要 |
| d | あり | あり | 必要 |

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- c GO(歯周疾患要観察者)とは、歯肉に軽度の炎症兆候が認められているが、歯石沈着は認められず、注意深いブラッシングを行うことによって炎症が消退する、定期的観察が必要な歯肉の保有者をいう。

正解 c

DH26:P156

【問題 19】 1歳6か月児歯科健康診査で、上下顎乳前歯の隣接面にう蝕を認めた。う蝕罹患型分類はどれか。1つ選べ。

- a O₂型
- b A型
- c B型
- d C型

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- × a O₂型は1歳6か月児歯科健康診査でう蝕はないが、口腔環境が悪いため、近い将来う蝕発生が予測されるものである。
- × b A型は1歳6か月児歯科健康診査で上顎前歯のみまたは臼歯のみにう蝕のみられるものである。
- × c B型は1歳6か月児歯科健康診査で上顎前歯及び臼歯部にう蝕のみられるものである。
- d C型は1歳6か月児歯科健康診査で臼歯部及び上下前歯部にう蝕のみられるものである。下顎前歯部にう蝕がみられた場合はC型となる。1歳6か月児歯科健康診査は母子保健法により市町村が実施している。この時期は特にう蝕と養育環境が深く関係している。従って、う蝕の早期発見のみならず、今後のう蝕発病のリスクを評価して指導を行うことが重要である。

正解 d

DH26:P149

【問題 20】 歯周病の第二次予防はどれか。2つ選べ。

- a SRP
- b 暫間固定
- c 歯科保健指導
- d ブラークコントロール

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- a、○ b 歯周病の第二次予防は、早期発見・即時処置を目的とし、歯周病検診の受診、SRP、暫間固定に加え、機能喪失の防止を目的とした歯周外科処置が該当する。
- × c 歯科保健指導は歯周病の第一次予防の健康増進に該当する。
- × d ブラークコントロールは、歯周病の第一次予防の特異的防御に該当する。

正解 a、b

DH26:P144

[問題 21] 歯周病由来の口臭症の主な原因物質はどれか。2つ選べ。

- a 硫化水素
- b アセトン
- c インドール
- d メチルメルカプタン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a、○ d 歯周病に起因する口臭症の原因物質は、主に揮発性硫黄化合物 (VSC) である。VSC には硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドがあり、含硫アミノ酸であるメチオニンやシスチン、システインから合成される。
- × b アセトンは糖尿病由来の口臭原因物質である。
- × c インドールは腐敗臭の原因物質で、歯髄壊疽による口臭原因物質である。

正解 a、d

DH26:P712

[問題 22] 検査に歯垢染色剤を用いるのはどれか。2つ選べ。

- a CPI
- b OHI
- c PCR
- d PHP

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a CPI では歯垢の評価は行わない。
- × b、○ c、○ d 口腔清掃状態の指数では、歯垢の検出に歯垢染色剤を用いるものが多い。歯垢染色剤を用いる指標は、PCR、PHP で、OHI は探針を用いて歯垢および歯石の検出を行う。

正解 c、d

DH26:P694

[問題 23] 歯磨剤の成分と効果との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化第一スズ ————— 歯周疾患の予防
- b 乳酸アルミニウム ————— 知覚過敏の抑制
- c ポリリン酸ナトリウム ———— 口臭予防
- d ポリエチレングリコール ———— タバコの色素沈着物の除去

▶口腔衛生学

選択肢考察

歯磨剤の成分は、基本成分と薬効成分とに大別される。基本成分は研磨剤と発泡剤を主成分とし、その他に保湿剤や結合剤 (粘結剤) などがあり、それぞれの目的に応じて配合されている。

- × a フッ化第一スズには、フルオロオアパタイト形成促進によるう蝕予防効果がある。
- b 乳酸アルミニウムには知覚過敏抑制効果がある。
- × c ポリリン酸ナトリウムには歯石沈着防止効果がある。
- d ポリエチレングリコールには色素沈着除去効果がある。

正解 b、d

DH26:P134

[問題 24] 労働衛生の3管理における作業管理の目的はどれか。1つ選べ。

- a 有害物の隔離
- b 有害物侵入の抑制
- c 有害物発生の抑制
- d 有害物による障害の予防

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 有害物の隔離は作業環境に関する事項で、作業環境管理に分類される。
- b 有害物侵入の抑制は作業中での有害物質のばく露の防止であり、作業管理に分類される。
- × c 有害物発生の抑制は作業環境に関する事項で、作業環境管理に分類される。
- × d 有害物による障害の予防は、健康管理に分類される。

正解 b

DH26:P209

[問題 25] 喫煙者 100 名と非喫煙者 100 名を対象として、喫煙と歯周病との関連を調査した。結果を表に示す。

	歯周病	
	患者	対照 (健常者)
喫煙者	60	40
非喫煙者	20	80

(単位: 人)

喫煙の歯周病に対するオッズ比はどれか。1つ選べ。

- a 2
- b 4
- c 6
- d 8

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

○ c オッズ比 = 患者群における暴露のオッズ / 対照群における暴露のオッズ

$$= \frac{60}{20} \div \frac{40}{80} = 6$$

患者対照研究では、罹患率が求められないために相対危険度を算出することができない。そのため、近似値としてオッズ比をその推定値としている。

正解 c

DH26:P233

〔問題 26〕 人を対象とする医学研究の倫理を示したのはどれか。2つ選べ。

- a シドニー宣言
- b ジュネーブ宣言
- c ヘルシンキ宣言
- d ニュルンベルグ綱領

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a シドニー宣言は、**死亡判定に関する宣言**である。1968年世界医師総会で採択された宣言である。臓器移植におけるドナーの死の判定を規定している。
- × b ジュネーブ宣言は、**ヒポクラテスの誓い**をもとに、現代に即して作られた医の倫理に関する規定である。1948年世界医師会総会で規定された。
- c ヘルシンキ宣言は、世界医師会がヒトを対象とする医学研究の際に、医師を含めて全ての研究関係者が遵守すべき倫理諸原則を定めた国際的な宣言であり、核心は医学研究における被験者の人権擁護である。1964年ヘルシンキ総会で採択された。1975年東京総会、2000年エディンバラ総会で大幅な改訂がなされて今日に至っている。
- d ニュルンベルグ綱領は、第二次世界大戦中にナチスの医師が行った残虐な生体実験の反省に立って明示された医学的研究のための被験者の意思と自由を保護するニュルンベルグ国際裁判裁規範として提示されたガイドラインである。ニュルンベルグ綱領により初めて**インフォームドコンセント**の精神が説かれた。

正解 c、d

DH26:P246

〔問題 27〕 日本人の食事摂取基準（2020年版）で、高齢者のビタミンDの摂取目安量を定めることで予防を図るのはどれか。1つ選べ。

- a 脚気
- b 骨折
- c 夜盲症
- d サルコペニア

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 脚気は、ビタミン欠乏症の一つで、**ビタミンB₁**の不足によって心不全と末梢神経障害が起きる病気である。ビタミンB₁に目安量の設定はない。
- b ビタミンD不足は、成人では骨粗鬆症により種々の部位の骨折リスクが高まり、特に大腿骨近位部骨折を含む、非椎体骨折のリスクを増加させる。これらの骨折は、特に高齢者において発生する。ビタミンDが不足状態にある例は、高齢者で特に多いことが日本人でも報告されている。
- × c 夜盲症とは、夜になると視力が著しく衰え、目がよく見えなくなる病気である。俗に「とり目」ともいわれており後天性夜盲症の中には**ビタミンA**欠乏症がある。ビタミンAに目安量の設定はない。
- × d 主に加齢によって筋肉（骨格筋：体を動かす筋肉）の量が減少し、筋力と身体能力が低下した状態をいう。たんぱく質の不足が原因の一つである。

正解 b

DH26:P717

〔問題 28〕 国民医療費に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 医療扶助
- b 健康診断
- c 薬局調剤
- d 予防接種

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、c 「国民医療費」は、当該年度内の医療機関等における保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用を推計したものである。国民医療費に含まれるものは、実際に医療保険によって支払われたもの（患者の一部負担分を含む）、公費負担（生活保護における医療扶助など）によって支払われたもの（患者の一部負担分を含む）によって構成される。保険診療の対象とならない評価療養（先進医療（高度医療を含む）等）、選定療養（入院時室料差額分、歯科差額分等）及び不妊治療における生殖補助医療などに要した費用は含んでいない。また、傷病の治療費に限っているため、(1) 正常な妊娠・分娩に要する費用、(2) 健康の維持・増進を目的とした健康診断・予防接種等に要する費用、(3) 固定した身体障害のために必要とする義眼や義肢等の費用も国民医療費には含まれない。

正解 a、c

〔問題 29〕 保健に関する事業と法律との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 特定健康診査 —— 高齢者の医療の確保に関する法律
- b 歯周疾患検診 —— 歯科口腔保健の推進に関する法律
- c 3歳児健康診査 —— 児童福祉法
- d 就学時健康診断 —— 学校保健安全法

▶ 衛生学・公衆衛生学

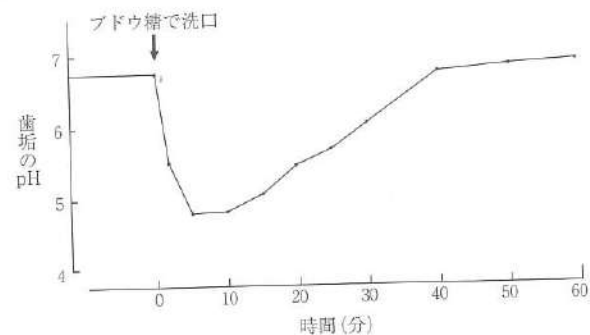
選択肢考察

- a 特定健康診査（メタボ健診）や特定保健指導は**高齢者の医療の確保に関する法律**で規定され、40歳～74歳までの公的医療保険加入者全員を対象とした保健制度である。
- × b 歯周疾患検診は**健康増進法**で規定され、生活習慣病の予防や介護状態を予防する対策の一環として行われる。
- × c 3歳児健康診査は**母子保健法**で規定され、満3歳を超え満4歳に達しない幼児が対象である。
- d 就学時健康診断は**学校保健安全法**で定められており、就学4か月前（11月30日）までに、**市町村教育委員会**が実施する。各種健康診断、健康診査は法律によって実施が義務づけられている。1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査は**母子保健法**、就学時健康診断、定期健康診断、臨時健康診断は**学校保健安全法**、特定健康診査は**高齢者の医療の確保に関する法律**、歯周疾患検診は**健康増進法**で定められている。

正解 a、d

DH26:P195

[問題 30] ある曲線を図に示す。



この結果を導いたのはどれか。1つ選べ。

- a H. T. Dean
- b P. H. Keyes
- c T. J. O'Leary
- d R. M. Stephan

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a H. T. Dean は、斑状歯(歯牙フッ素症)の重症度を表す指数を発表した。
- × b P. H. Keyes は、細菌性要因、基質性要因、宿主要因の3因子が重なる条件で、はじめてう蝕が発生するという蝕3大要因モデル'Keyesの輪'を提唱した。
- × c T. J. O'Leary はプラークコントロールレコード(Plaque Control Record: PCR)を提唱した。
- d 図はステファン曲線である。R. M. Stephan は、10%グルコースで2分間含嗽させたのち、直後ならびにその後10分間隔でプラーク中のpHを測定した。それを曲線として示したのがステファン曲線である。

DH26:P118

正解 d

[問題 31] 保健所の業務はどれか。2つ選べ。

- a 食中毒の調査
- b 業務上疾病の認定
- c 保険医への行政指導
- d 感染症発生時の疫学調査

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 食中毒の調査は保健所の業務である。
- × b 業務上疾病の認定は労働基準監督署が行う。
- × c 保険医への行政指導は都道府県と地方厚生局が行う。
- d 感染症発生時の疫学調査は保健所の業務である。

正解 a, d

DH26:P214

[問題 32] 3歳児の歯科診療における医療面接で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開放的な環境で行う。
- b 患児の発育状況を探る。
- c 保護者と患児を分離する。
- d 患児と視線を合わせて会話する。

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a プライバシーに十分に配慮し、開放的な場所での面接は避ける。
- b 小児では成長に個人差があるため治療への協力状態は一概に年齢では測れないため、協力状態によって対応法を変えることが必要である。小児に対する医療面接では、小児の協力を得られるように、面接者は対応に工夫が必要である。やさしい話しかけや問いかけの導入や代用語を使用した小児に分かりやすい説明、恐怖心を感じない環境、プライバシーへの配慮は患児の不安や緊張の解消に有効である。
- × c 十分な情報を得るためには、小児だけでなく、保護者にも協力を得ることが必要である。
- d 医療面接では対象者の属性に関わらず、正面に回り、視線を合わせてから話しかけることが必要である。

正解 b, d

DH26:P249

[問題 33] 患者の自己決定権の行使を促進するのはどれか。1つ選べ。

- a 医師の裁量権の拡大
- b パターナリズムの推進
- c 医療提供の効率性の確保
- d インフォームド・コンセントの取得

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 医師の裁量権とは、医師が患者のために最も有効だと判断した医療行為を医師の判断において実施することができる権利である。
- × b パターナリズムとは、強い立場にある者が弱い立場の者の意志に反して、弱い立場の者の利益になるというスタンスで、その行動に介入、干渉したりすることである。父権主義などと訳される。パターナリズムと相反するものとしてインフォームド・コンセントの原則がある。
- × c 医療提供の効率性の確保と患者の自己決定権の行使とは無関係である。
- d 患者自身の意思を尊重する手段(自己決定権を行使する手段)としてインフォームド・コンセントがある。インフォームド・コンセントとは、判断能力を有する患者が誰にも強制されない状態で十分な医療上の情報公開を受け、それを理解した上で自分自身にとって最善と判断した診療プランに同意することである。患者自身の意思を尊重する手段(自己決定権を行使する手段)としてインフォームド・コンセントがある。

正解 d

DH26:P248

【問題 34】 歯科衛生士法に定められた歯科衛生士の業務はどれか。1つ選べ。

- a 冠の装着
- b 仮封材の除去
- c エックス線撮影
- d 矯正装置の装着

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- b 仮封、仮封材除去、マトリックスの装着・除去、充填材の填塞、充填材の研磨、矯正装置の除去は **歯科診療補助**の範囲である。

正解 b

DH 26:P 593

【問題 35】 咬頭干渉が検出できるのはどれか。1つ選べ。

- a 構音機能検査
- b 引き抜き試験
- c 歯間離開度検査
- d ゴシックアーチ描記法

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 構音機能検査は、音声言語による方法や **パラトグラム**がある。
- b 引き抜き検査とは、咬合紙や咬合検査用ストリップスを咬ませて引き抜くことで、**咬合接触の有無、接触の強さ**、すなわち咬頭干渉を検出することができる。
- × c 歯間離開度検査は、隣接歯間の接触強さを **コンタクトゲージ**で評価する。
- × d ゴシックアーチ描記法は **水平的顎位の決定**に利用する。

正解 b

DH 26:P 389

【問題 36】 歯科用コーンビーム CT で判断できるのはどれか。2つ選べ。

- a 器具の誤飲
- b 根管器具の破折
- c 再生療法の経過観察
- d 口腔軟組織の化学的損傷

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 器具の誤飲は歯科用コーンビーム CT の撮像範囲では判断できない。
- b、○ c 歯科用コーンビーム CT は顎骨撮影を専用に開発され、従来のエックス線検査と比較して、人体を輪切りにした断層像を撮影する画像検査で、三次元画像観察が可能であり、根管器具の破折や再生療法の経過観察を判断することができる。
- × d 歯科用コーンビーム CT はエックス線を用いた画像検査法であり、口腔軟組織の観察はできない。

正解 b、c

DH 26:P 268

【問題 37】 肝硬変でみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 血小板数の増加
- b アルブミン値の低下
- c 総ビリルビンの低下
- d プロトロンビン時間の延長

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- b、d 肝硬変に進展すると、血小板数の **減少**、アルブミン値の **低下**、総ビリルビンの **上昇**、プロトロンビン時間の **延長**がみられる。

正解 b、d

DH 26:P 274

【問題 38】 Tooth wear の原因はどれか。2つ選べ。

- a 冷刺激
- b 胃食道逆流症
- c フッ化物洗口
- d 不適切なブラッシング

▶ 保存修復学

選択肢考察

- b、d Tooth wear (歯の損耗) とは、慢性的機械的、化学的刺激によって徐々に起きる感染によらない歯質の欠損で、**胃食道逆流症**、**酸蝕症**、不適切なブラッシング圧による **摩耗症**、**咬耗症**、**アブラクション**も原因となる。

正解 b、d

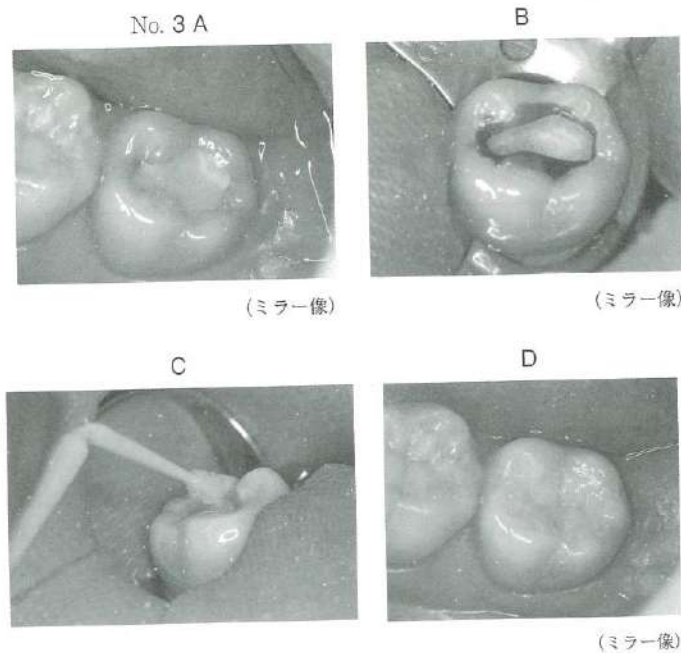
DH 26:P 279

[問題 39] 32歳の女性。下顎右側第二大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。最近になってしみるようになったという。検査の結果、辺縁性二次う蝕と診断し、1ステップシステムを用いたコンポジットレジン修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 3A)、歯面処理とボンディング処理過程の口腔内写真(別冊午前 No. 3B、C)及び修復操作終了後の口腔内写真(別冊午前 No. 3D)を別に示す。

Cの直後に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 水洗
- b 光照射
- c エアブロー
- d プロットドライ

▶保存修復学



選択肢考察

写真Aはエナメル質窩縁付近に不適合を認め、修復物の咬耗により、段差が形成されている。
写真Bはエナメル質窩縁のみがリン酸ゲルによって処理されており、セレクトティブエッチングが行われている。

写真Cは歯面にボンディング材を塗布している。

写真Dはコンポジットレジン修復を行っている。

- c ボンディング処理の直後にはエアブローを行い、ボンディング材の層を均一にする。口腔内写真よりエナメル質窩縁部のみがリン酸ゲルによって処理されており、セレクトティブエッチングが行われている。

正解 c

DH26:P294

要点

●セレクトティブエッチングの手順

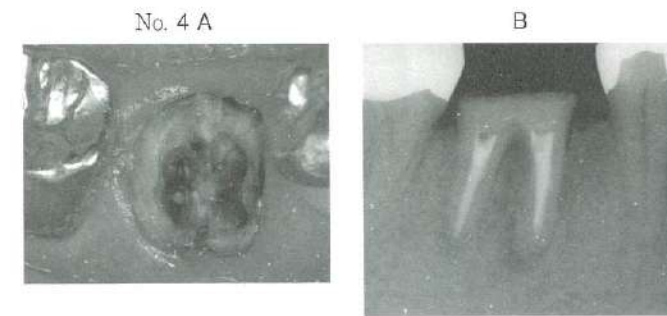
①セレクトティブエッチング(リン酸ゲル)→②水洗、乾燥→③ボンディング材塗布→④エアーによる余剰のボンディング材を除去→⑤コンポジットレジンの填塞→⑥光照射

[問題 40] 補綴装置の脱離を主訴として来院した患者の口腔内写真(別冊午前 No. 4A)とエックス線画像(別冊午前 No. 4B)を別に示す。

感染歯質除去の次に行う処置で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 隔壁形成
- b 支台築造
- c 感染根管治療
- d 歯根尖切除術

▶歯内療法学



選択肢考察

- a、×c 歯冠の崩壊が著しく残根状態であるため、感染歯質を除去し、まずは隔壁形成を行う。その後ラバーダム防湿を行い、感染根管治療を行う。
- ×b 支台築造は感染根管治療が終了した後に行う。
- ×d 歯根尖切除術は、通常の感染根管治療を行っても、患歯の治癒が得られない場合に行う。

正解 a

DH26:P289

[問題 41] 歯髄生活反応を示す歯根完成歯で、抜髄が適応となるのはどれか。2つ選べ。

- a 持続性の温熱痛
- b 象牙質の擦過痛
- c 咀嚼時の電撃痛
- d 拍動性の自発痛

▶ 歯内療法

選択肢考察

- a、○ d 持続性の温熱痛、拍動性の自発痛は、急性化膿性歯髄炎の症状であり、抜髄の適応である。
- × b 一過性の冷水痛、象牙質の擦過痛は歯髄充血の症状であり、自発痛がないことから抜髄の適応ではない。
- × c 咀嚼時の電撃痛は唾石症の症状(唾痛)であり、抜髄の適応ではない。

正解 a、d

📖 DH26:P305

[問題 42] アベキソゲネーシスで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 切断面に被蓋硬組織が形成される。
- b 根未完成の感染根管歯が適応となる。
- c 根尖は骨様セメント質で閉鎖される。
- d Hertwig 上皮鞘の生活力が維持される。

▶ 歯内療法

選択肢考察

- a 根部歯髄の切断面に水酸化カルシウムペーストを貼付すると、3～6か月後には硬組織の添加や根尖孔の発育が確認される。アベキソゲネーシスは生活歯で根未完成歯に対し、Hertwig 上皮鞘の生活を期待して歯根部象牙質の形成を図る処置である。
- × b 感染根管に対してはアベキシフィケーションを試みる。
- × c 根尖は根部象牙質で閉鎖される。
- d 歯根完成には歯根の形成誘導能をもつ Hertwig 上皮鞘の存在が不可欠となる。

正解 a、d

📖 DH26:P325

[問題 43] 54歳の女性。下顎左側第二大臼歯の動揺を主訴として来院した。1か月前から気付いていたが痛みがないのでそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 5A)とエックス線画像(別冊午前 No. 5B)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	⑥	3	4	4	⑥	⑨
歯種	⑥			⑦		
頬側*	4	3	4	4	3	4
根分岐部病変**	1度			-		
動揺度***	0			1		

* :プロービング深さ(mm)

○印:プロービング時の出血

** :Lindhe と Nyman の分類(-は根分岐部病変がないことを示す)

*** :Miller の判定基準

歯周基本治療後、⑦に行う処置で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 新付着術
- b フラップ手術
- c FGF-2 製剤の応用
- d 歯周ポケット搔爬術

▶ 歯周治療学

No. 5 A



(ミラー像)

B



選択肢考察

- × a、× d 新付着術、歯周ポケット搔爬術は浅い骨縁上ポケットが適応である。
- b、○ c ⑦の遠心にBOPを伴う9mmの深い歯周ポケットと垂直性骨吸収を認める。骨縁下における垂直性骨吸収に対して、フラップ手術を行い、骨欠損部に FGF-2 製剤を塗布し縫合する。

正解 b、c

📖 DH26:P358

〔問題 44〕 歯肉切除術の治療過程を示す。

口腔内消毒 → 浸潤麻酔 → ① → ② → ③ → ④ → 歯周パック

③に入るのどれか。1つ選べ。

ただし、①～④はa～dのいずれかに該当する。

- a 切開
- b 歯肉整形
- c ポケット底の印記
- d スケーリング・ルートプレーニング

▶ 歯周治療学

選択肢考察

- × a 切開は②である。
- × b 歯肉整形は④である。
- × c ポケット底の印記は①である。
- d スケーリング・ルートプレーニングは③である。歯肉切除術の治療手順は、口腔内消毒後①浸潤麻酔、②Crane-Kaplanのポケットマーカを用いてポケット底の印記、③ポケット底に向けた外斜切開、歯肉病変部、肉芽組織を除去、④スケーリング・ルートプレーニング、⑤不正な歯肉形態を修正(歯肉整形)、⑥生理食塩水による洗浄、⑦縫合せずに歯周パックとなる。

正解 d

DH 26:P 330

〔問題 45〕 32歳の男性。下顎右側歯肉の腫脹と排膿を主訴として来院した。2日前から痛みが強くなってきたという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 6A)とエックス線画像(別冊午前 No. 6B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	③	3	⑦	④	③	④	④	③	4
歯種	4		3			2			
唇側*	③	⑤	⑦	⑤	④	④	④	③	4
動揺度**	1		1			1			

* :プロービング深さ(mm)

○印:プロービング時の出血

** : Millerの判定基準

考えられる処置はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉切除術
- b 歯周ポケット搔爬術
- c 歯周ポケット内洗浄
- d 局所薬物配送システム(LDDS)

▶ 歯周治療学

No. 6 A



B



選択肢考察

- × a 口腔内写真より432]にかけて歯間乳頭の腫脹を認めるが、歯肉増殖は認めないので歯肉切除術は行わない。
- × b 歯周ポケット搔爬術は歯周基本治療後の再評価時に決定をする。
- c、○ d 問題文より下顎右側歯肉部にみられる膿瘍はすでに排膿しているため、歯周ポケット内を洗浄し、局所薬物配送システム(LDDS)を用いた抗菌療法を行う。

正解 c、d

DH 26:P 354

〔問題 46〕 咀嚼時における上顎義歯の動揺を主訴として来院した患者の口腔内写真(別冊午前 No. 7)を別に示す。上顎義歯は2年前に装着したが、2週間前から脱離しやすくなったという。主訴の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 義歯の清掃不良
- b 義歯人工歯による咬傷
- c 義歯床辺縁の機械的刺激
- d 義歯床下の顎堤への過度な圧迫

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a 義歯の清掃不良は義歯性口内炎の原因となる。
- × b 義歯人工歯による咬傷は頬粘膜や舌が好発部位である。
- × c 義歯床辺縁の機械的刺激は義歯性口内炎や義歯性線維症の原因となる。
- d 上顎前歯部顎堤にフラビーガムを認める。フラビーガムは過度に軟らかい顎堤であり、圧迫により変形しやすく、下顎前歯の突き上げによる顎堤への過度な圧迫がフラビーガムの原因となる。

正解 d

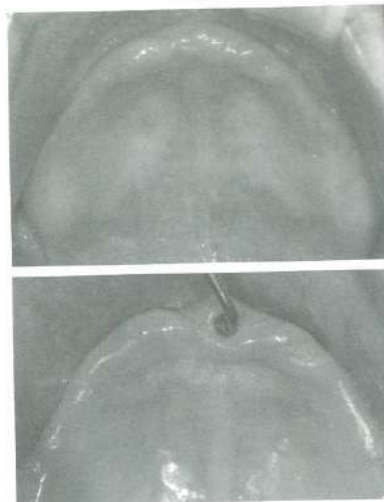
DH 26:P 391

要点

● フラビーガム

- 定義：歯槽骨吸収と粘膜の肥厚および粘膜下組織の線維性増殖を伴う可動性の大きい粘膜組織
- 原因：不適切な義歯の長期使用による慢性的な機械的刺激(前歯部の突き上げ)
- 好発部位：上顎前歯部顎堤
- 症状：安静時の義歯の脱落、咬合時の義歯の動揺と咀嚼障害・疼痛

No. 7



〔問題 47〕 48歳の男性。上顎右側白歯部のブリッジの動揺を主訴として来院した。診査の結果、まずブリッジの除去を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 8 A、B)とエックス線画像(別冊午前 No. 8 C)を別に示す。

ブリッジ除去前に行う説明で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a 「除去したブリッジを再装着できます」
- b 「取り外し式の入れ歯になるかもしれません」
- c 「すぐに型を採って新しい歯をつくり始めます」
- d 「ブリッジを除去すると歯のぐらつきが治まります」

▶ 歯科補綴学

No. 8 A



B



C



選択肢考察

- × a ブリッジの除去時には支台装置の切断などを行うため、「除去したブリッジを再装着できます」という説明は適切ではない。
- b 近心支台歯の抜歯の可能性と歯槽骨の吸収程度を説明し、「取り外し式の入れ歯になるかもしれません」と説明する。
- × c 近心支台歯を抜歯する可能性が高いため、「すぐに型を採って新しい歯をつくり始めます」という説明は適切ではない。
- × d ブリッジを除去しても支台歯の歯根部歯質の消失は改善されないため、「ブリッジを除去すると歯のぐらつきが治まります」という説明は適切ではない。

正解 b

DH 26:P 407

【問題 48】 45歳の女性。下顎白歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、インプラント補綴治療を行うことになった。インプラント体埋入術中の口腔内写真(別冊午前 No. 9A、B)を別に示す。

Aの操作目的はどれか。1つ選べ。

- a 埋入窩の形成
- b 対合関係の確認
- c 埋入位置の決定
- d 埋入窩の深さ測定

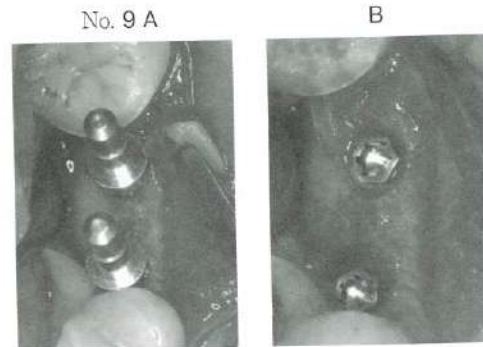
選択肢考察

- × a 埋入窩の形成はドリルを使用して行う。
- b 細いドリルで穿孔後、方向指示棒を挿入して対合関係を確認する。
- × c サージカルガイドプレートを使用して埋入位置を決定してから皮質骨を穿孔する。
- × d 埋入窩を拡大後、深度測定器を使用して埋入窩の深さを測定する。

正解 b

要点

写真Aは皮質骨上に立っている方向指示棒で、写真Bは埋入されたインプラント体である。インプラント体埋入術式は以下の順となる。①インプラント体埋入部位の粘膜の剝離、②サージカルガイドプレートを使用して埋入位置を皮質骨に印記、③細いドリルで埋入位置を穿孔、④方向指示棒を挿入して対合関係を確認(写真A)、⑤太いドリルを使用して埋入窩を拡大し、インプラント体の埋入窩形成、⑥インプラント体埋入(写真B)、⑦ヒーリングキャップ装着後に縫合する。



▶ 歯科補綴学

【問題 49】 咽頭痛と発熱が主症状の3歳女児の口腔内写真(別冊午前 No. 10)を別に示す。考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 麻疹
- b Fordyce 斑
- c Bednar アфта
- d ヘルパンギーナ

選択肢考察

- × a 麻疹は麻疹ウイルス感染により発症し、頬粘膜に紅暈を伴う白斑(Koplik 斑)を生じる。
- × b Fordyce 斑は、主に頬粘膜に生じる異所性の皮脂腺である。
- × c Bednar アフタは、哺乳瓶の乳首などによる機械的刺激が原因の口蓋後方の境界粘膜に左右対称にみられる潰瘍である。
- d 咽頭痛、発熱があり、口峡部に発赤を生じている。口蓋に赤い斑点がみられ、小水疱と潰瘍の出現が疑われるため、ヘルパンギーナが考えられる。ヘルパンギーナはコクサッキーウイルスAを主体としたエンテロウイルスの感染が原因で、高熱と共に軟口蓋、口峡部に小円形の水疱がみられ、容易に潰瘍形成し、咽頭痛、嚥下痛を生じる。

正解 d

No. 10



▶ 口腔外科学

DH 26:P 485

【問題 50】 67歳の男性。オトガイ部の知覚鈍麻を主訴として来院した。2日前に下顎右側を殴打されたという。初診時のエックス線画像(別冊午前 No. 11)を別に示す。

考えられる治療法はどれか。1つ選べ。

- a 顎間固定
- b 金属線骨縫合
- c チンキャップ装着
- d 金属プレート固定

選択肢考察

- × a 無歯顎であり顎間固定は行えない。
- × b 金属線骨縫合を行う場合は、通常顎間固定が必要となる。
- × c チンキャップ装着は非観血的整復・固定法で用いる。
- d 現在金属プレートを用いて強固に固定する方法が広く行われている。

正解 d

No. 11



▶ 口腔外科学

DH 26:P 433

〔問題 51〕 関節リウマチで見られるのはどれか。1つ選べ。

- a ばち指
- b 色素沈着
- c 手掌紅斑
- d 朝のこわばり

▶ 口腔外科学

選択肢考察

- × a ばち指とは指の爪の根元部分の結合組織が増殖して太鼓のばち状の状態を指し、肺疾患、循環器系疾患などでみられる。
- × b、× c 色素沈着、手掌紅斑は特に関節リウマチで見られるものではない。
- d 朝のこわばりは、関節リウマチの関節症状の一つで、発症の比較的初期からみられる。関節リウマチ(RA)は、主に関節を侵す慢性の全身性自己免疫疾患である。末梢関節に対称性に炎症が生じ、主に関節構造が進行性に破壊される。30~50代の女性に好発する。朝のこわばりを特徴とし、疼痛、発赤などの局所症状と倦怠感、体重減少などの全身症状がみられる。

正解 d

DH26:P270

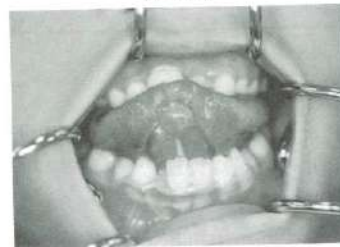
〔問題 52〕 8歳の男児。舌下面の腫瘤を主訴として来院した。2か月前に母親が気付いたが、疼痛はないためそのままにしていたという。腫瘤は半球形で波動を触れる。圧痛はない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.12)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌癌
- b ラヌーラ
- c エプーリス
- d ブランディン・ヌーン嚢胞

▶ 口腔外科学

No.12



選択肢考察

- × a 舌癌は口腔領域に発生する悪性腫瘍で最も多く、中高年以降の男性に多い。波動は触れず、舌縁部に好発する。
- × b ラヌーラ(ガマ腫)は口底部に発生する粘液貯留嚢胞である。
- × c エプーリスは歯肉に発生する腫瘤である。
- d 口腔内写真から、舌尖部下面のブランダンヌーン腺から発生した粘液嚢胞(ブランディン・ヌーン嚢胞)である。小児に比較的多く発生する。治療は外科的摘出であり、再発することがあるため、周辺部の腺組織を含めて摘出・切除する。

正解 d

DH26:P427

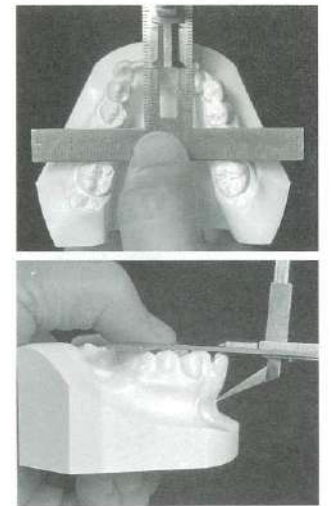
〔問題 53〕 模型計測中の写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

計測しているのはどれか。1つ選べ。

- a 歯列弓長径
- b 歯列弓幅径
- c 歯冠近遠心幅径
- d 歯槽基底弓長径

▶ 矯正歯科学

No.13



- d 写真は大坪式模型計測器を用いて、左右第一大臼歯遠心接触点から中切歯唇側歯肉の最深部の距離を計測している。計測しているのは歯槽基底弓長径である。歯槽基底とは、歯が植立している歯槽部と顎骨骨体部との境界を指す。

正解 d

DH26:P452

〔問題 54〕 鼻上顎複合体の成長過程で骨吸収する部位はどれか。1つ選べ。

- a 正中口蓋縫合
- b 前頭上顎縫合
- c 上顎結節の後面
- d 硬口蓋の鼻腔側

▶ 矯正歯科学

選択肢考察

- × a 正中口蓋縫合は上顎骨の側方向への成長に関与する、縫合部で骨添加する。
- × b 前頭上顎縫合は鼻上顎複合体の前下方成長をもたらす、縫合部では骨添加する。
- × c 上顎結節後面は骨添加により、口蓋の前後径が増大する。
- d 硬口蓋口腔側での骨添加と鼻腔側の骨吸収により、口蓋の下方成長と鼻腔の拡大が起こる。

正解 d

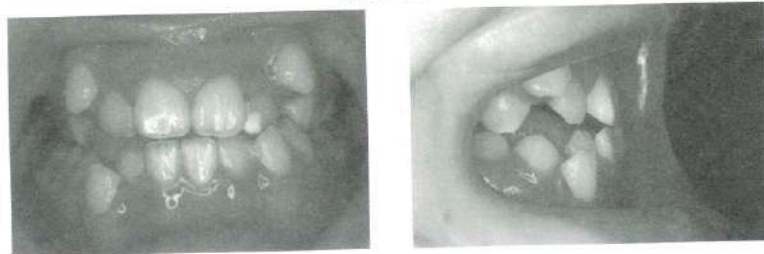
DH26:P441

【問題 55】 12歳の女児。叢生を主訴として来院した。鼻疾患があり、口呼吸が認められる。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.14 A)と口腔模型の写真(別冊午前 No.14 B)を別に示す。正しいのはどれか。2つ選べ。

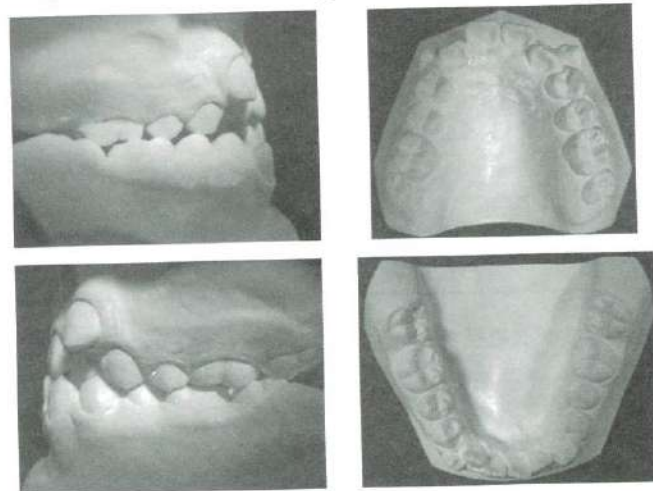
- a 下顎の鞍状歯列弓
- b 小さいオーバーバイト
- c 大きいオーバージェット
- d Angle III級の大白歯関係

▶矯正歯科学

No.14 A



B



選択肢考察

- × a 下顎の前歯部に叢生がみられるが、歯列弓形態は正常に近い。
- b、× c 水平、垂直的の被蓋はともに小さい。
- d 右側の大白歯関係はIII級である。

正解 b、d

DH26:P454

【問題 56】 乳歯外傷の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 受傷年齢は1~3歳に多い。
- b 受傷頻度に性差はみられない。
- c 受傷様式は脱臼より破折が多い。
- d 受傷部位は上顎乳中切歯が最も多い。

▶小児歯科学

選択肢考察

- a、○ d 受傷年齢は1~3歳に多く、受傷の好発部位は上顎乳中切歯が最も多く、7割以上を占める。
- × b 受傷性差は、男児の受傷が女児より多い。
- × c 受傷様式は、歯槽骨が軟らかいため歯の破折よりも脱臼や陥入が多い。

正解 a、d

DH26:P487

【問題 57】 上顎中切歯が早期喪失した8歳児に保険装置を装着する目的はどれか。2つ選べ。

- a 発声の改善
- b 審美性の改善
- c 口腔外傷の予防
- d 舌突出癖の防止

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a 保険装置の装着は発声の改善を目的としたものではない。
- b 保険装置の装着により審美性は大きく改善される。
- × c 保険装置で口腔外傷の予防はできない。
- d 両側の中切歯が喪失した場合、舌突出癖が生じる可能性があるため、保険装置を装着することで防止が可能である。

正解 b、d

DH26:P490

[問題 58] 患者のある習癖の写真(別冊午前 No.15)を別に示す。生じると考えられる不正咬合はどれか。1つ選べ。

- a 上顎骨の劣成長
- b 下顎骨の過成長
- c 下顎歯列弓の狭窄
- d 臼歯部の交叉咬合

▶小児歯科学

No.15



選択肢考察

- d 母指吸引癖で生じる不正咬合には、開咬、上顎前歯の唇側傾斜、下顎乳前歯の舌側傾斜、上顎歯列弓の狭窄や臼歯部の交叉咬合などがある。

正解 d

DH26:P444

[問題 59] 高齢者の脱水を疑う臨床所見はどれか。1つ選べ。

- a 徐脈
- b 血圧上昇
- c 尿量増加
- d 皮膚緊張度低下

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a、× b 高齢者の脱水では頻脈や血圧低下がみられる。
 × c 高齢者の脱水の症状として尿量減少は特に要注意である。
 ○ d 高齢者の脱水では皮膚の緊張度が低下しているため、つまんだ皮膚を離しても、すぐには元の状態に戻らない。

正解 d

DH26:P494

[問題 60] 食べ物が飲み込みにくいことを自覚している上顎部分床義歯装着者が来院した。修正前の義歯の写真(別冊午前 No.16A)とチェアサイドである修正を行った義歯の写真(別冊午前 No.16B)を別に示す。

改善が期待されないのはどれか1つ選べ。

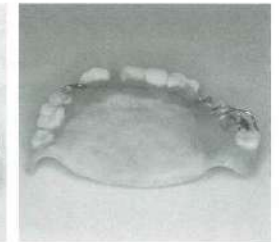
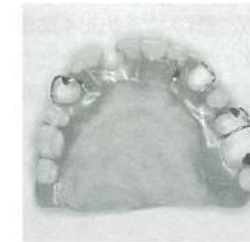
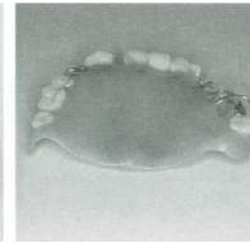
- a 先行期
- b 準備期
- c 口腔期
- d 咽頭期

▶高齢者・障害者歯科学

No.16 A



B



選択肢考察

- × a 舌接触補助床(PAP)の適応は、舌の口蓋への接触が困難となり、食塊形成や食塊の移送に支障がある場合である。すなわち食物を咀嚼し、食塊を形成する準備期、舌の動きにより食塊を咽頭に移送する口腔期、嚥下反射により食塊が咽頭から食道に送り込まれる咽頭期の改善が見込まれる。

正解 a

DH26:P587

[問題 61] 口腔機能低下症の診断で口腔清掃状態不良の評価に用いる指標はどれか。1つ選べ。

- a OHI(oral hygiene index)
- b PCR(plaque control record)
- c PHP(patient hygiene performance)
- d TCI(tongue coating index)

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a、× b、× c OHI(oral hygiene index)、PCR(plaque control record)、PHP(patient hygiene performance)は、どれも歯面のプラークの付着状態により口腔清掃状態を評価する指標である。
 ○ d TCI(tongue coating index)は、舌表面に存在する舌苔の付着状態によって、口腔清掃状態を評価する指標である。TCIは、口腔機能低下症の診断項目である「口腔清掃状態不良(口腔不潔)」の評価に用いる。

正解 d

DH26:P555

【問題 62】 21歳の女性。う蝕を主訴として来院した。交通事故の後遺症で呼吸不全があるという。治療時の写真(別冊午前 No.17)を別に示す。治療に際して留意すべきことはどれか。2つ選べ。

- a 口腔内吸引
- b 経口エアウェイ準備
- c 気管カニューレ抜管
- d 経皮的酸素飽和度測定

▶高齢者・障害者歯科学
No.17



選択肢考察

- a 気管へ水が流れ込むのを防ぐため、口腔内吸引は適切である。
- × b 気管切開しているため、経口エアウェイ準備は不適切である。
- × c 気管カニューレ抜管は、さらに呼吸不全となり不適切である。
- d 呼吸不全があるため、経皮的酸素飽和度測定は適切である。

正解 a、d

DH26:P532

【問題 63】 フッ化物応用で、洗口法が歯面塗布法よりも優れているのはどれか。2つ選べ。

- a 乳児に適用できる。
- b 費用対効果が高い。
- c 実施頻度が少なくすむ。
- d 健康格差を縮小する効果が高い。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a フッ化物洗口は洗口ができない乳児には適応できないが、歯面塗布法は適用できる。
- b フッ化物洗口は歯科専門家がいなくても実施できることから、費用対効果がフッ化物歯面塗布に比べて高い。
- × c フッ化物洗口には毎日法と週1回法がある。一方、フッ化物歯面塗布は年に1~4回程度実施する。
- d フッ化物洗口はコミュニティーケアに利用されるため、家庭でのケアが不十分な児童等に対してもう蝕を予防することができ、歯面塗布法に比べて健康格差を縮小する効果が高い。

正解 b、d

【問題 64】 根分岐部病変を進行させる局所性修飾因子はどれか。2つ選べ。

- a 根面溝
- b 白後結節
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯根面に生じる陥凹(根面溝)は、分岐部に面して存在すると口腔清掃が困難となり、限局性に歯周ポケットが深くなり、分岐部病変が進行しやすくなる。
- × b 白後結節は第三大臼歯遠心にみられる結節であり、分岐部病変とは関係がない。
- c エナメル突起はエナメル質が分岐部内で根尖方向に伸び出したもので、プラーク感染により容易に付着破壊が進み、分岐部病変が進行する。
- × d カラベリー結節は上顎大臼歯の近心舌側咬頭の舌側に現れるもので、分岐部病変とは関係がない。

正解 a、c

DH26:P338

【問題 65】 #14のグレーシートタイプキュレットの使用部位はどれか。1つ選べ。

- a 左側中切歯唇側近心隣接面
- b 右側第一大臼歯頬側近心隣接面
- c 左側第一大臼歯舌側遠心隣接面
- d 右側第二大臼歯頬側近心隣接面

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 左側中切歯唇側隣接面は#2(のグレーシートタイプキュレット)を用いて行う。
- × b 右側第一大臼歯頬側近心隣接面は#11を用いて行う。
- c 左側第一大臼歯舌側遠心隣接面は#14を用いて行う。
- × d 右側第二大臼歯頬側近心隣接面は#11を用いて行う。

正解 c

[問題 66] 45歳の男性。下顎右側第一大臼歯欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、⑦6⑤ブリッジによる補綴処置を行うことになった。仮着時の口腔内写真(別冊午前 No.18A)と2週後のプラーク染め出し後のブリッジの写真(別冊午前 No.18B)を別に示す。

口腔清掃指導時に特に配慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 洗口剤の使用
- b 歯磨剤の薬用成分
- c 歯間ブラシのサイズ
- d スポンジ状フロスの使用

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 洗口剤の使用では、プラークを除去することができない。
- × b 磨き残しに対して、歯磨剤の薬用成分は関係ない。
- c、○ d ポンテック基底面の清掃は、スポンジ状フロス(スレッダー付きフロス)を利用して清掃することが推奨される。また、歯冠形態に適合したサイズの歯間ブラシを使用することで磨き残しが減少する。ポンテックは船底型であり、プラーク染め出し液により基底面が染色されている。

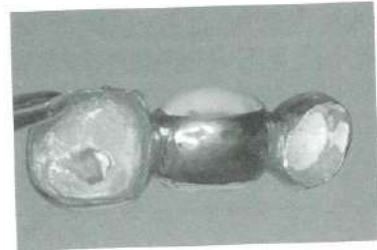
正解 c、d

DH26:P701

No.18 A



B



[問題 67] 判定に72時間を要するのはどれか。1つ選べ。

- a Dentocult LB[®]
- b Dentocult SM[®]
- c RD test[®]
- d Snyder test[®]

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a Dentocult LB[®]は平板状の寒天スライド上で37℃で4日間培養または室温で7日間放置し、チャートで判定する。
- × b Dentocult SM[®]は高濃度のスクロースを含む培地で、*S. mutans* を選択的に37℃で48時間培養し、チャートで判定する。
- × c RD test[®]は、唾液をスポイトで採取し、試験用ディスクに1滴垂らし、37℃で15分間培養後、色で菌数を判定する。
- d Snyder test[®]は唾液採取用スティックを口腔内に入れ、1分間しゃぶり、唾液を染みこませ37℃で培養し、24、48、72時間後の色で判定する。

正解 d

[問題 68] 歯周炎に影響を及ぼすのはどれか。2つ選べ。

- a 肺結核
- b 2型糖尿病
- c 逆流性食道炎
- d 慢性関節リウマチ

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 肺結核は結核菌による感染症であり、歯周病原性細菌とは関係がない。
- b 2型糖尿病は、免疫機能の低下、口腔乾燥が生じることなどから歯周炎が重症化しやすい。また、歯周炎により局所で産生された炎症性サイトカインはインスリンの抵抗性を増し、糖尿病の進行に関与している。歯周炎がリスクとなる全身疾患と歯周病のリスク因子としての全身疾患があり、どちらにも共通している疾患が歯周炎と相互作用があるとみなされている。
- × c 逆流性食道炎は強酸性の胃液や食物が逆流することにより食道に炎症を生じる疾患であり、歯周病原性細菌とは関係がない。また、歯周炎のリスク因子でもない。
- d 慢性関節リウマチは関節内に存在する滑膜が異常増殖することによって関節内に慢性的な炎症を生じる疾患で、様々な機能障害を引き起こす。手指の機能障害から口腔清掃不良になりやすく、歯周炎のリスク因子である。

正解 b、d

DH26:P342

[問題 69] フッ化物歯面塗布溶液のフッ化物濃度はどれか。1つ選べ。

- a 250 ppm
- b 900 ppm
- c 1,450 ppm
- d 9,000 ppm

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 250 ppm は毎日洗口法に用いられる。
- × b 900 ppm は週1回洗口法に用いられる。
- × c 1,450 ppm は歯磨剤に用いられる。
- d 9,000 ppm はフッ化物歯面塗布に用いられる。フッ化物はう蝕予防の目的で、上水道フッ化物調整(0.8 ppm)、フッ化物洗口(250~900 ppm)、フッ化物配合歯磨剤(1,500 ppm以下)、フッ化物歯面塗布(9,000 ppm)、フッ化物バーニッシュ(22,500 ppm)などの方法で応用される。

正解 d

次の文を読み、[問題 70]、[問題 71] に答えよ。

40歳の女性。歯肉からの出血を主訴として来院した。既往歴はない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.19 A、B)を別に示す。初診時での患者と歯科衛生士との会話の一部を示す。

歯科衛生士：今日は、どうされましたか。

患者：歯茎から血が出ます。

歯科衛生士：歯茎から血が出るのですね。

患者：いくらやっても歯ブラシがうまく当てられないんです。

歯科衛生士：なかなか上手に歯ブラシが当てられないのですね。

患者：血が出てくるから、怖くて磨けないんですよ。

歯科衛生士：血が出てくるのですね。

[問題 70] 歯科衛生士が用いているコミュニケーション技法はどれか。1つ選べ。

- a 要約
- b 支援
- c 反映
- d 繰り返し

[問題 71] ブラッシング指導に加えて、使用を勧める口腔清掃器具はどれか。2つ選べ。

- a 綿棒
- b デンタルフロス
- c ジェット水流器
- d エンドタフトブラシ

▶ 歯科予防処置

No.19 A



B



選択肢考察

[問題 70]

- × a 要約は内容を一度整理することである。
- × b 支援は患者への気配りを伝えることである。
- × c 反映は患者の感情を要約して患者に返すことである。
- d 繰り返しは患者の言葉の一部を繰り返すことである。

[問題 71]

- × a 綿棒は口腔粘膜の清掃に用いる。
- b デンタルフロスは歯間隣接面の清掃に用いる。
- × c ジェット水流器は食物残渣の除去は可能であるが、プラークの除去は難しい。
- d エンドタフトブラシは最後方臼歯遠心面の清掃に用いる。

正解 [問題 70] d
[問題 71] b、d

次の文を読み、[問題 72]、[問題 73] に答えよ。

ある集団に対して行った Dean の分類による歯のフッ素症の調査結果を表に示す。

症度分類	人数
Normal	65
Questionable	20
very mild	10
mild	5
moderate	0
Severe	0
合計	100

[問題 72] この集団の CFI はどれか。1つ選べ。

- a 0.3
- b 1.0
- c 30
- d 35

[問題 73] この集団における正しい判断はどれか。1つ選べ。

- a フッ化物局所応用を中止する。
- b フッ化物を過剰に摂取している。
- c 歯のフッ素症の出現は境界域である。
- d 歯のフッ素症について公衆衛生上の問題はない。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

[問題 72]

- a Dean の分類によって、地域における歯のフッ素症の流行性を示す指標として CFI が用いられる。Normal を 0 点、Questionable を 0.5 点、very mild を 1 点、mild を 2 点、moderate を 3 点、Severe を 4 点として対象者に点数を与える。評価点数に観察された人数を乗じた総和を全被検者数で除して得た値を CFI 値として地域診断に用いる。0.4 以下では歯のフッ素症の流行性はなしと判断し、公衆衛生上問題としない。0.4~0.6 は境界域とし、0.6 以上では歯のフッ素症の流行地と判断する。設問では CFI = 0.3 となるため、歯のフッ素症の非流行地といえる。

[問題 73]

- d 問 72 参照

正解 [問題 72] a
[問題 73] d

DH 26:P661

【問題 74】 Gracey 型キュレットの操作法で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ハンドルを執筆状に把持する。
- b 歯根面へのフェイスの接触角を 30 度にする。
- c 第1シャンクと歯軸のなす角度を 70 度にする。
- d ポケット挿入時はフェイスと歯根面のなす角度を小さくする。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a ハンドルは第1指、第2指、第3指の指先で執筆状に把持する。
- × b、× c Gracey 型キュレットは、オフセットブレードを有するため、第1シャンクと歯軸を平行にして操作することで、歯根面へのフェイスの接触角は 70 度となる。
- d ポケット挿入時はフェイス（内面）と歯根面のなす角度を小さくすることで、歯周ポケット内面を傷つけないように設計されている。

正解 a、d

DH26:P630

【問題 75】 12歳の男児。定期健診のため4か月ぶりに来院した。最近になって下顎右側第二大臼歯が萌出してきており、ブラッシング時に出血することがあるという。咬合時の疼痛は認めない。来院時の口腔内写真（別冊午前 No.20）を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉弁切除
- b ブラッシング指導
- c フッ化ジアンミン銀塗布
- d フッ化ナトリウム溶液塗布

▶ 歯科予防処置

No.20



選択肢考察

- × a 7]の歯肉弁を切除しても症状は改善されない。
- b、○ d 永久歯萌出期の辺縁歯肉部は、歯肉弁下にプラークや食物残渣が停滞しやすいため、ブラッシング指導を行う。また萌出直後の永久歯はう蝕に罹患しやすいため、フッ化ナトリウム溶液の塗布を行う。
- × c 明らかな実質欠損は認められないため、う蝕の進行を抑制するフッ化ジアンミン銀の塗布は行わない。

正解 b、d

DH26:P683

【問題 76】 11歳の女児。定期健診のため来院した。上顎左側第一小臼歯にう蝕予防処置を行うことになった。処置過程の口腔内写真（別冊午前 No.21）を別に示す。

写真の処置の目的はどれか。1つ選べ。

- a 有機質の溶解
- b 歯面の粗造化
- c 知覚過敏の抑制
- d スミヤー層の形成

▶ 歯科予防処置

No.21



選択肢考察

- × a エッチングにより、無機質が溶解される。
- b 写真ではエッチング処理を行っている。エッチングは歯面を粗造化し、エナメルタグによる嵌合力を高める。
- × c エッチングの範囲が広すぎると知覚過敏の原因となる。
- × d スミヤー層は切削された歯質の表面の削片で、エッチングにより除去される。

正解 b

【問題 77】 不良補綴装置や咬合性外傷に関連する歯肉の形態異常はどれか。1つ選べ。

- a クレフト
- b フェストゥーン
- c テンションリッジ
- d ステップリング

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 辺縁歯肉のV字型の裂溝をクレフトという。不適切なブラッシングによる擦過傷でみられる。
- b 辺縁歯肉のロール状肥厚をフェストゥーンという。不適切なブラッシングや不良補綴装置や咬合性外傷でみられる。
- × c テンションリッジ（堤状隆起）は口呼吸患者にみられる、口蓋側歯肉の腫脹である。
- × d ステップリングは健康な付着歯肉にみられ、炎症によって消失する。不適切なブラッシングにより、歯肉の肥厚や退縮を生じることがある。

正解 b

DH26:P612

〔問題 78〕 生後7、8か月を目安に開始する離乳食で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 舌でつぶせる固さのもの
- b 歯ぐきで噛める固さのもの
- c 歯ぐきでつぶせる固さのもの
- d なめらかにすりつぶした状態のもの

▶ 歯科保健指導

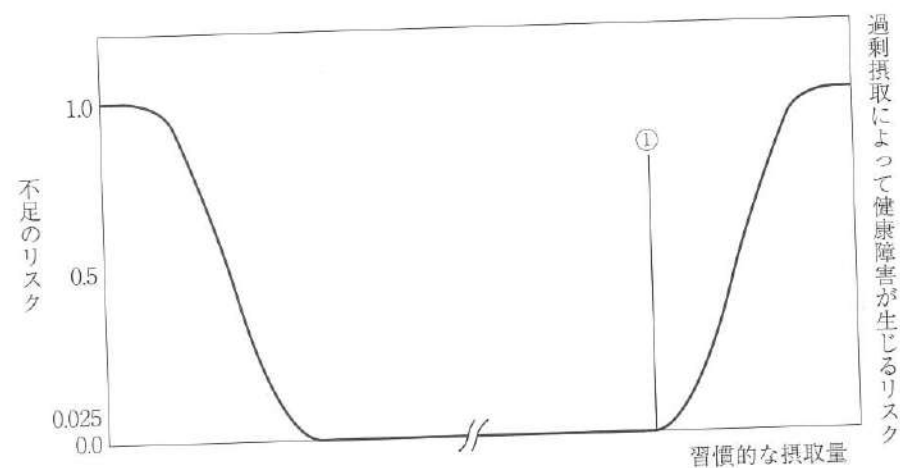
選択肢考察

- a 舌でつぶせる固さのものを与えるのは、**離乳中期** (生後7~8か月頃) である。
- × b 歯ぐきで噛める固さのものを与えるのは、**離乳完了期** (生後12~18か月頃) である。
- × c 歯ぐきでつぶせる固さのものを与えるのは、**離乳後期** (生後9~11か月頃) である。
- × d なめらかにすりつぶした状態のものを与えるのは、**離乳初期** (生後5~6か月頃) である。

正解 a

DH26:P574

〔問題 79〕 日本人の食事摂取基準の各指標の概念図を示す。



①が設定されている栄養素はどれか。2つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンB₁
- c ビタミンC
- d ビタミンE

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、d ①は**耐容上限量**で、この値を超えて摂取した場合、過剰摂取による健康障害が発生するリスクがゼロではなくなることを示す値である。ビタミンKを除く脂溶性ビタミン(A、D、E)に設定されている。

正解 a、d

DH26:P725

〔問題 80〕 手段的日常生活動作 (IADL) の項目はどれか。2つ選べ。

- a 入浴
- b 買い物
- c 階段昇降
- d 食事の支度

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× c ADLは1人の人間が独立して生活するために毎日繰り返される一連の身体的動作群を指す。Barthel IndexはADL評価法であり、**食事、移乗、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、更衣、排便コントロール、排尿コントロール**の10項目を、自立、部分介助、全介助の3段階で評価する。
- b、○ d 手段的日常生活動作 (IADL) は、セルフケアや移動以外の食事準備や洗濯といった独居に必要な動作をいう。IADL Scaleでは、**電話の使用、買い物、食事の支度、家屋維持、洗濯、外出時の移動、服薬、家計管理**の8項目で構成されており、点数が高いほどIADLが自立していることを意味する。

正解 b、d

DH26:P502

〔問題 81〕 55歳の男性。インプラント治療後のメンテナンスを希望して来院した。プラークの染め出しを行った後の口腔内写真 (別冊午前 No.22A) と、日常的な清掃を行った後の口腔内写真 (別冊午前 No.22B) を別に示す。

口腔清掃指導で使用を推奨するのはどれか。2つ選べ。

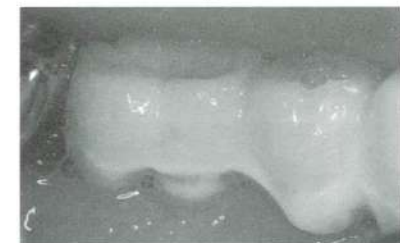
- a 歯磨剤
- b 洗口剤
- c 歯間ブラシ
- d タフトブラシ

▶ 歯科保健指導

No.22 A



B



選択肢考察

- c、d 上部構造およびその周囲に毛先が届き、物理的なプラークコントロールが可能な歯間ブラシとタフトブラシの使用を推奨する。

正解 c、d

DH26:P699

[問題 82] ライフステージと歯科保健対策との組合せで適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 乳児期 —— フッ素塗布
- b 幼児期 —— 3歳児健康診査
- c 妊娠期 —— 歯周疾患検診
- d 成人期 —— 訪問口腔衛生指導

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 乳児期の歯科保健対策は、歯科健康診査と歯科保健指導である。乳前歯が萌出し始めたばかりの乳児へのフッ素塗布は行わない。
- b 幼児期の歯科保健対策は、1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査における歯科健診を行い、う蝕や不正咬合などの早期発見を行う。
- × c 妊娠期は生理的变化により、う蝕や歯周疾患に罹患しやすい状態にある。歯科健康診査や保健指導などにより予防策を講じる。歯周疾患検診は、40歳以上の成人期を対象に行われる保健対策である。
- × d 訪問口腔衛生指導は、老年期(65歳以上)の寝たきり者を対象とした保健対策である。

正解 b

DH26:P744

[問題 83] 要介護高齢者への歯周治療を行う際に優先するのはどれか。2つ選べ。

- a 内服薬の確認
- b 根面う蝕の予防
- c セルフケアの励行
- d 歯周外科治療の実施

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 歯周治療の開始前に、患者の全身疾患とその合併症、内服薬などの確認を行うことが重要である。歯周病と全身性疾患は密接に関連し、全身疾患を管理する際に歯周治療は重要である。
- b 高齢者の歯は、歯肉退縮によって、歯根露出している頻度が高い。その結果、根面う蝕が起こりやすいため、根面う蝕の予防は優先すべき項目である。
- × c 要介護の度合いにもよるが、介護度が上がると自身でセルフケアを行うことが困難になる。従って、可能であればセルフケアを行うべきだが、他の選択肢を優先すべきである。
- × d 要介護の度合いにもよるが、介護度が上がると患者の歯科治療に耐えられる時間が短くなる。よって、むやみな歯周外科治療の実施は避けるべきである。

正解 a, b

DH26:P754

[問題 84] 79歳の男性。下顎前歯の歯間部への食片圧入を主訴として家族とともに来院した。2か月前から自覚していたがそのままにしていたという。軽度の認知機能低下が指摘されている。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.23A)とエックス線画像(別冊午前 No.23B)を別に示す。初診時の歯周組織検査結果の一部と BDR 指標を表に示す。

舌側*	⑤	④	④	⑤	⑤	⑤	④	④	④	④	3	④	④	3	④	
歯種	5		4		2		1		1							
頬側*	④	3	④	⑤	3	④	④	3	④	④	2	④	④	2	④	
動揺度**	0		0		0		0		0		0		0		0	

* :プローピング深さ(mm)

○印:プローピング時の出血

** :Millerの判定基準

項目	評価
B	一部介助
D	自立
R	自立

使用が推奨されるのはどれか。2つ選べ。

- a 洗口剤
- b 口腔洗浄器
- c 電動歯ブラシ
- d デンタルフロス

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a BDR指標のR(Mouth Rinsing)は自立であり、ブクブクうがいができる状態である。口腔内写真より、下顎前歯部に食渣の残留が認められるため、洗口剤を併用したうがいの施行は行うべきである。
- × b、○ c 患者のBDR指標B(Brushing)は一部介助であり、ブラッシングが上手く行えていないことが考えられる。口腔洗浄器は食渣を除去する効果はあるが、付着性のプラークの除去は困難である。また、患者の認知機能、介助の状態から複雑な機器を使用するのは難しい。電動歯ブラシは要介護者にも有用とされている。
- × d 口腔内写真より、下顎前歯部から右側小臼歯部にかけて、連結の補綴治療がされている。デンタルフロスは連結の補綴治療の影響で歯間部を通すことができず、また、認知機能低下により上手く扱えない可能性が高い。

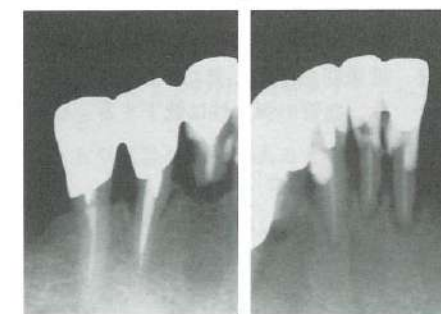
正解 a, c

DH26:P754

No.23A



B



〔問題 85〕 歯科衛生教育に用いられる主な教材と教材例の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 展示教材 _____ ポスター
 b 演示教材 _____ フランネルボード
 c 印刷教材 _____ ペーパーサート
 d 映像教材 _____ エプロンシアター

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a ポスターは**展示教材**である。
 ○ b フランネルボードとは、フランネルの生地で包んだボードに絵や文字を書いた紙などを貼ったり、外したりしながら話を展開していく**演示教材**である。
 × c ペーパーサート(紙人形劇)は**演示教材**である。
 × d エプロンシアターとは、胸当て式のエプロンを舞台に見立て、ポケットから次々と人形を取り出し、その人形をエプロンに貼ったり、外したり、ポケットに戻したりしながら話を展開していく**演示教材**である。

正解 a、b

DH 26:P 748

〔問題 86〕 周術期管理において、若年者と比較して高齢者に多くみられるのはどれか。2つ選べ。

- a せん妄
 b 悪性高熱症
 c 誤嚥性肺炎
 d 拡張期血圧の上昇

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 術後せん妄は、高齢者ほど発症率が高い。せん妄は手術をきっかけとして起こる**意識障害**で、術後1~2日の意識清明期の後、急激に見当識障害、記憶障害、幻覚、失語、失行、失認、遂行機能障害が現れるケースが多い。
 × b 悪性高熱症は、遺伝的な素因を持つ患者が揮発性吸入麻酔薬やスキサメトニウムなどの筋弛緩薬に誘発されることがあるが、特に高齢者に好発することはない。
 ○ c 誤嚥性肺炎は、高齢者で高頻度に見られる。周術期においては手術侵襲や術後回復期における意識レベルの低下による嚥下機能や咳嗽機能の低下などにより起こりやすい合併症である。
 × d 拡張期血圧の上昇は、周術期の高齢者に多くみられるものではない。加齢とともに動脈硬化が進み、血管の弾力性は低下する。収縮期血圧は上昇し、拡張期血圧は低下する傾向がある。

正解 a、c

DH 26:P 494

〔問題 87〕 部分床義歯の清掃方法で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 研磨剤を含む歯磨剤の使用
 b 超音波洗浄器と義歯洗浄剤の併用
 c 紙やすりによる歯石様沈着物の除去
 d 化学的清掃後の義歯用ブラシによる機械的清掃

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 研磨剤を含む歯磨剤の使用は、義歯床を傷つけるため使用しない。
 ○ b 部分床義歯の清掃方法は、超音波洗浄器によって洗浄する機械的清掃と、義歯洗浄剤による化学的清掃を併用する。
 × c 歯石様沈着物の除去は酸性溶液を使用する。
 × d 化学的清掃は、義歯用ブラシによる機械的清掃後に義歯洗浄剤を用いて行う。

正解 b

要点

部分床義歯の清掃方法は、機械的清掃と化学的清掃を行う。部分床義歯はクラスプやバーのような金属の構成要素も含まれるため、特に食物残渣やプラークを取り除く機械的清掃には注意が必要である。

〔問題 88〕 外来診療などで短時間にできる禁煙治療の手順(5Aアプローチ)でステップ2はどれか。1つ選べ。

- a Assist
 b Assess
 c Advice
 d Arrange

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 禁煙治療の方法として「5Aアプローチ」(Ask, Advise, Assess, Assist, Arrange)という指導手順が採用されている。まずステップ1 Ask(尋ねる)では、タバコを吸ったことがあるか、本人や家族に周囲の状況を聞く。Assist(支援する)はステップ4で、行動変容ステージモデルの各ステージに沿った支援を行い、禁煙が継続できるように支援する。
 × b Assess(推察する)はステップ3で、禁煙に対する気持ちを推察し、5つの行動変容ステージに分類し、禁煙したい気持ちを押し量り、患者のステージを推察する。
 ○ c Advice(勧める)はステップ2で、禁煙を勧めるパンフレットや複数の助言があるとさらに効果的である。
 × d Arrange(フォローする)はステップ5で、禁煙維持のための対策として歯磨き、水を飲む、身体を動かすなどを勧めると効果的である。

正解 c

DH 26:P 706

【問題 89】 72歳の女性。市が行った介護予防教室でオーラルフレイルを指摘されて来院した。身長は150cm、体重は50kgで6か月前と比べて体重変化はなく、口腔内に気になる症状はないという。口腔機能検査の結果を表に示す。

検査項目	低下の該当基準	検査結果
舌苔の付着程度	50%以上	66.7%
口腔粘膜湿潤度	27未満	26
咬合力	350N未満	450N
オーラル ディアドコキネシス	どれか1つでも、 6回/秒 未満	「パ」6.0回/秒 「タ」6.0回/秒 「カ」6.0回/秒
最大舌圧	30kPa 未満	26kPa
咀嚼能力	100mg/dL 未満	240mg/dL
嚥下スクリーニング検査	3点以上	0点

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 構音訓練
- b 舌抵抗訓練
- c 口腔衛生指導
- d ミールラウンド

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 舌口唇運動機能低下(オーラルディアドコキネシス)は基準値であり、構音状態は問題ないと考えられる。
- b 最大舌圧が26kPaであり、低舌圧の状態である。従って舌抵抗訓練を行うことが望ましい。
- c 舌苔の付着程度が66.7%と口腔衛生状態が不良である。よって口腔衛生指導を行うべきである。
- × d ミールラウンドは食事の場面で多職種が協力して観察を行い、食事の摂取状況を評価する活動である。患者の嚥下スクリーニング検査(EAT-10)は0点であり、問題ないと考えられる。

正解 b、c

DH26:P550

【問題 90】 特別養護老人ホームにおける保健活動で、ハイリスクアプローチはどれか。2つ選べ。

- a 入所者が食事の前にパタカラ発音訓練をする。
- b 歯石沈着が認められる入所者に歯石除去を行う。
- c 介護職員に対して誤嚥性肺炎予防の講習を行う。
- d 嚥下障害の兆候がある入所者に嚥下機能訓練をする。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

ポピュレーションアプローチは、集団全体、分布全体に働きかけて適切な方向に少しずつ移動、シフトさせる方法である。また、集団検診などで疾病リスクが高いとわかった者に対するアプローチをハイリスクアプローチという。ポピュレーションアプローチにより、ハイリスク者のみならず、境界域や正常高値に含まれる多くの人も、それぞれのリスクを減らし集団全体のリスクを減少させることが重要である。

- × a 入所者全体に対する訓練はポピュレーションアプローチである。
- b 歯石沈着が認められる者に限定しているためハイリスクアプローチである。
- × c 介護職員全体に対する講習はポピュレーションアプローチである。
- d 嚥下障害の兆候がある入所者に限定しているためハイリスクアプローチである。

正解 b、d

DH26:P755

【問題 91】 下顎右側第二小白歯のラバーダム防湿を指示された。



適切なクランプはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× b ①、②は大臼歯用である。
- c ③は小白歯用である。
- × d ④は前歯用である。

正解 c

[問題 92] 酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムはどれか。2つ選べ。

- a 3ステップシステム
- b オールインワンシステム
- c ウェットボンディングシステム
- d 2ステップセルフエッチングシステム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 3ステップシステムは、酸処理 → プライミング → ボンディングの順で処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムではない。
- b 酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムとは、酸処理を単体で行わない接着システムである。酸性の接着レジンモノマーを配合したセルフエッチングプライマーや、オールインワンアドヒーズなどでは、プライマー自身が酸性になることを利用してプライマーにエッチング処理を行わせる。特に象牙質に対して非常に強い接着強さが得られる。オールインワンシステムは、オールインワンアドヒーズのみで歯面処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムである。
- × c ウェットボンディングシステムは、酸処理 → セルフプライミングボンディングの順で処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムではない。
- d 2ステップセルフエッチングシステムは、セルフエッチングプライマー → ボンディングの順で処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムである。

正解 b, d

[問題 93] Spaulding 分類における滅菌・消毒の水準で考慮するのはどれか。1つ選べ。

- a 感染症の種類
- b 器具の耐熱性
- c 器具の使用回数
- d 器具の使用部位・用途

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a, × b, × c Spaulding 分類は、感染症の種類、器具の耐熱性、器具の使用回数等によって分類するものではない。
- d Spaulding 分類は、器具の使用部位・用途による患者組織への接触レベルの違いに基づいて必要な消毒または滅菌のレベルを分類している。

正解 d

DH 26:P 799

要点

Spaulding 分類では、医療機器の患者組織への接触レベルに基づいて医療機器に必要な消毒または滅菌のレベルを指定してクリティカル(無菌組織や血流との接触の可能性ある機器)、セミクリティカル(粘膜や創傷のある皮膚に接触する可能性ある機器)、ノンクリティカル(健康で創傷のない皮膚に接触する機器)に分類される。

[問題 94] 仮着に使用するワックスはどれか。1つ選べ。

- a シートワックス
- b パラフィンワックス
- c ステイッキーワックス
- d ユーティリティーワックス

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

○ c ● ワックスの種類と主な用途

種類	主な用途
インレーワックス	原型用(铸造用)
レディキャストワックス	原型用(铸造用)
シートワックス	原型用(铸造用)
パラフィンワックス	原型用(咬合床)、印象用(咬合採得)
バイトワックス	印象用(咬合採得)
ユーティリティーワックス	印象用(トレー修正)、歯科技工用(補助用途)
ボクシングワックス	歯科技工用(模型材注入補助)
ステイッキーワックス	歯科技工用(補綴装置の仮着)

正解 c

[問題 95] 感染性廃棄物の保管容器のマーク(別冊午前 No.24)を別に示す。

マークの色で区別しているのはどれか。1つ選べ。

- a 性状
- b 発生場所
- c 保管期間
- d 感染症の種類

▶ 歯科診療補助

No.24



選択肢考察

- a 感染性廃棄物の保管については、① 感染性廃棄物が運搬されるまでの保管は極力短期間とする。② 感染性廃棄物の保管場所は、関係者以外立ち入れないように配慮し、感染性廃棄物は他の廃棄物と区別して保管しなければならない。③ 感染性廃棄物の保管場所には、関係者の見やすい箇所に感染性廃棄物の存在を表示するとともに、取扱いの注意事項等を記載しなければならないとされている。また、感染性廃棄物の保管容器の表示については、関係者が感染性廃棄物であることを識別できるよう、「黄色：鋭利なもの」、「橙色：固形状のもの」、「赤色：液状又は泥状のもの」の3種類のバイオハザードマークで区別するとしている。

正解 a

DH 26:P 171

【問題 96】 33歳の女性。上顎右側第一小白歯の実質欠損を主訴として来院した。半年前から5.4間に食片圧入があり、1か月前から一過性の冷水痛があるという。4は歯髄電気診に正常に反応し、インピーダンス測定検査は25kΩを示す。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.25A)とエックス線画像(別冊午前 No.25B)を別に示す。

4に対する処置で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 間接覆髄法 ————— コンポジットレジン修復
 b 間接覆髄法 ————— 従来型ガラスイオノマーセメント修復
 c 直接覆髄法 ————— メタルインレー修復
 d 暫間的間接覆髄法 ——— 全部金属冠

▶ 歯科診療補助

No.25 A



B



選択肢考察

- a インピーダンス測定検査結果より4は生活歯で露髄はしていないが、う蝕がかなり深いので間接覆髄処置が必要である。
 × b 間接覆髄は必要だが、従来型ガラスイオノマーセメントは直接咬合力が作用する部位には適応外である。
 × c 露髄していないため、直接覆髄法は不適切である。なおメタルインレー修復は適切である。
 × d 全部金属冠は歯質切削量が多くなるため不適切である。

正解 a

【問題 97】 根管形成用ファイルのISO規格で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 刃部の長さは21mmである。
 b 40号と80号の把柄部の色は同じである。
 c KファイルとHファイルのテーパーは異なる。
 d ファイルの番号の1/100倍が刃部先端の直径(mm)である。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 刃部の長さは16mmである。
 ○ b、○ d 40号と80号の把柄部の色は同じ黒色である。ファイルの番号の1/100倍が刃部先端の直径(mm)である。
 × c Kファイル、Hファイルともにテーパーは2%である。

正解 b、d

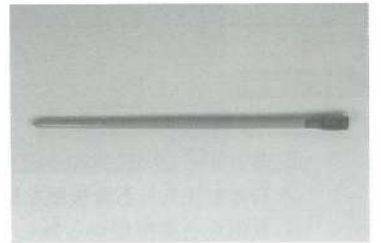
DH26:P318

【問題 98】 根管充填に使用する材料の写真(別冊午前 No.26)を別に示す。この材料の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 熱可塑性
 b 生体親和性
 c 歯質接着性
 d エックス線透過性

▶ 歯科診療補助

No.26



選択肢考察

- a 写真の材料はガッタパーチャポイントである。熱可塑性を有する材料で、根管封鎖に必要な圧接操作が可能である。また、生体親和性を有し、化学的に安定な材料で歯質を変色させないといった特徴を呈する。しかし、歯質に対して接着性がないことから、緊密な充填が困難などの欠点がある。
 ○ b 組織親和性があり、化学的にも安定している材料である。
 × c 歯質に対して接着性がなく、緊密な充填が困難である。
 × d 造影剤が添加されているため、エックス線不透過性を示す。

正解 a、b

DH26:P321

要点

◎ ガッタパーチャポイントによる根管充填の利点

- ・根管充填後、収縮が少なく不変性である。
- ・気密性に富む。
- ・組織親和性である(刺激性がない)。
- ・エックス線不透過性である。
- ・歯質を変色しない。
- ・消毒や滅菌が可能である。
- ・可撤性である。

[問題 99] 89歳の女性。義歯の破折を主訴として来院した。上顎全部床義歯は4か月前に製作したが、昨夜、義歯清掃中に誤って落としたという。破折部の修理を行うことになった。義歯の破折部を確認している写真(別冊午前 No.27 A)と破折部位を接着している写真(別冊午前 No.27 B)を別に示す。

写真Bにおいて、破折部位の接着に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a 瞬間接着剤
- b ボンディング材
- c 接着性レジンセメント
- d シランカップリング剤

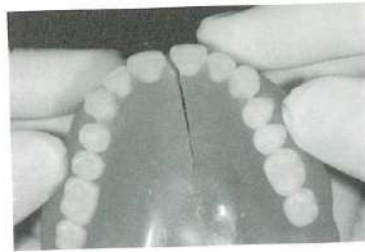
▶ 歯科診療補助

選択肢考察

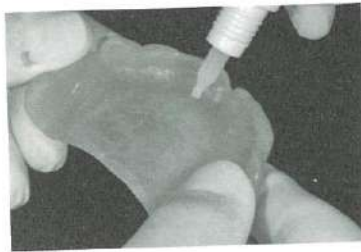
- a 破折義歯の修理法は以下の手順で行われる。
- ① 破折片同士を瞬間接着剤で仮固定(写真B)
 - ② 石膏を注入し石膏模型を製作する。
 - ③ 義歯を石膏模型から外して破折部のレジンを削合し、新鮮面を露出させる。
 - ④ 義歯を石膏模型に戻して模型上で常温重合レジンを築盛する。
 - ⑤ 形態修正・研磨

正解 a

No.27 A



B



[問題 100] 54歳の男性。下顎前歯部の慢性歯周炎が進行し、保存不可能と判断された。I 抜歯の準備をすることになった。抜歯鉗子の写真(別冊午前 No.28)を別に示す。適切なのはどれか。1つ選べ

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

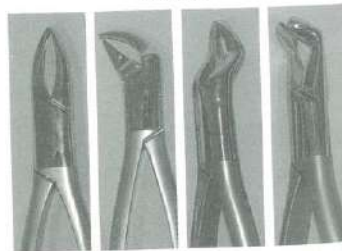
▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ① は上顎前歯部用である。
- b ② は下顎前歯部用である。
- × c ③ は上顎臼歯部用である。
- × d ④ は下顎臼歯部用である。

正解 b

No.28



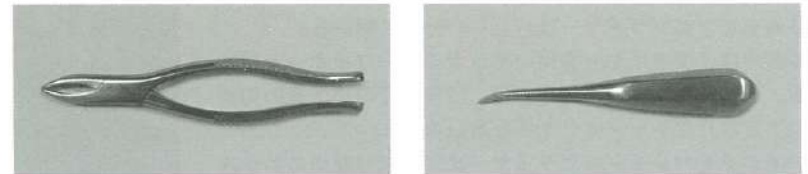
① ② ③ ④

[問題 101] 器具の写真(別冊午前 No.29)を別に示す。術者がペンダグリップで受け取るのはどれか。2つ選べ。

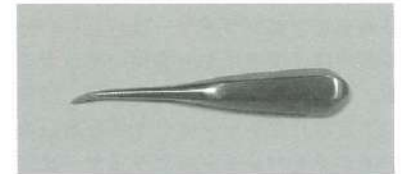
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

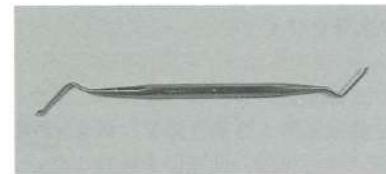
No.29



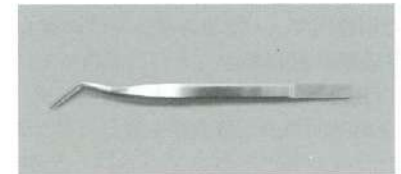
①



②



③



④

選択肢考察

- × a、× b パームグリップは、術者の手のひらに器具の把持部が当たるように渡す方法である。抜歯鉗子(①)や挺子(②)はパームグリップにより受け取る。
- c、○ d 歯科用鋭匙(③)やピンセット(④)はペンダグリップで受け取る。

正解 c、d

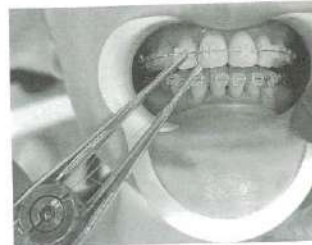
【問題 102】 アーチワイヤーを装着中の口腔内写真(別冊午前 No.30)を別に示す。

この操作の直後に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a バンドリムービングプライヤー
- b ピンアンドリガチャーカッター
- c エラスティックセパレータープライヤー
- d セーフティーディスタルエンドカッター

▶ 歯科診療補助

No.30



選択肢考察

- × a バンドリムービングプライヤーはバンドの撤去に用いる。
- b 口腔内写真では、プライヤーを用いてリガチャーワイヤーを結紮している。この操作の直後に行うのは、口腔内での結紮線の切断で、ピンアンドリガチャーカッターを用いる。
- × c エラスティックセパレータープライヤーは、歯間分離用のエラスティックの挿入に用いる。
- × d セーフティーディスタルエンドカッターは、アーチワイヤーが装着された口腔内で、バッカルチューブの遠心端の余分なワイヤーを切断する際に用いる。

正解 b

DH 26:P 896

【問題 103】 3歳児の歯科診療に適した時間帯はどれか。1つ選べ。

- a 10~11時
- b 12~13時
- c 14~15時
- d 16~17時

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 小児の歯科診療は午前中に行うのが望ましい。
- × b、× c、× d 午後の時間帯は眠くなる、疲れて機嫌が悪くなるなど、治療に対して協力が得られにくくなる。

正解 a

【問題 104】 生活歯髄切断法の治療で行われる処置と手順を図に示す。

- 天蓋除去
- 歯髄切断
- 化学的洗浄
- 歯冠歯髄除去

う蝕象牙質除去 → ① → ② → ③ → ④ → 糊剤貼薬 → 仮封

処置の順番で④はどれか。1つ選べ。

- a 天蓋除去
- b 歯髄切断
- c 化学的洗浄
- d 歯冠歯髄除去

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- c 天蓋除去 → 歯冠歯髄除去 → 歯髄切断 → 化学的洗浄の順に行う。生活歯髄切断法は、う蝕象牙質を除去した後、エタービンで天蓋を除去する。次に歯冠部歯髄を除去して、根管口よりも大きいラウンドバーを用いて根管壁ごと歯根歯髄を切断する。止血を確認後、化学的洗浄を行ったあと水酸化カルシウム糊剤を切断面に貼薬して、仮封を行う。

正解 c

【問題 105】 脳性麻痺患児の歯科治療で、不随意運動の抑制に有効なのはどれか。2つ選べ。

- a 膝の屈曲
- b 下肢の挙上
- c 頭部の前屈
- d アイマスクの装着

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a、○ c 脳性麻痺患者の筋の緊張、異常反射、不随意運動を抑制するためには、可能な限り精神的な緊張を取り除きリラックスさせる工夫を行う必要がある。治療時の体位としてはボパースの反射抑制体位が知られており、肘関節、膝関節、股関節を屈曲させ、頭部は前屈し、膝にクッションなどを挟む。治療時に体位を変える際には患者のペースに合わせてゆっくり姿勢を変化させることが必要である。
- × b 下肢の挙上では体位が不安定になり、緊張を誘発しかねない。
- × d アイマスクで視野を遮断することは、不安感を助長することとなり、不随意運動の抑制にはならない。

正解 a、c

DH 26:P 531

[問題 106] 片麻痺があり、咽頭残留や誤嚥のリスクが高い摂食嚥下障害患者への食事時の指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頸部を健側に向ける。
- b 複数回嚥下を心がける。
- c 液体にはとろみをつける。
- d ベースを早めて食事時間を短くする。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 嚥下時に頸部を回旋することで、回旋側の梨状窩を狭くし、非回旋側の梨状窩に食塊を誘導する。従って、麻痺側である患側に頸部に向けることが望ましい。
- b 咽頭残留や誤嚥のリスクが高い患者には、複数回の嚥下を行うよう指示することで、肺炎のリスクを軽減させる。
- c 誤嚥のリスクが高い患者には、誤嚥防止のため、液体にとろみを付与することがある。
- × d 食事時間は長ければ良いわけではないが、ベースを早めることで誤嚥のリスクが高くなる。

正解 b、c

DH26:P579

[問題 107] 81歳の男性。食事後にむせることを主訴として来院した。1年前から自覚していたが、そのままにしていたという。3年前に胃食道逆流症の診断を受けて、現在経過観察中である。リハビリテーション科に依頼して行った嚥下造影検査における硫酸バリウム溶液の嚥下1分後の画像(別冊午前 No.31)を別に示す。リハビリテーション科からは、口腔と咽頭内に造影剤の残渣は認められないものの、食道内には明らかな停滞が認められたとの報告を受けている。

患者への指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 頭部挙上訓練を行う。
- b 液体にはとろみをつける。
- c 食事後すぐに横にならない。
- d 嚥下時には頸部後屈を心がける。

▶ 歯科診療補助

No.31

選択肢考察

- × a 咽頭の運動に異常はなく、食道入口部の開大が減少しているとも考えにくい。従って、頭部挙上訓練は行わない。
- × b 嚥下造影検査では誤嚥は認められず、食事後のむせるの原因が誤嚥とは考えられない。従って、むやみに液体にとろみをつける必要はない。
- c 胃の内容物が食道に逆流しやすくなってしまったため、食事後すぐに横にならないよう指導する。
- × d 嚥下時に頸部後屈を行うと、かえって誤嚥しやすくなるため行わない。

正解 c

DH26:P561



頭頸部側面像



胸部正面像

[問題 108] 92歳の女性。口腔衛生管理を希望して入所中の特別養護老人ホームから訪問診療の依頼があった。10年前に認知症、3年前に心不全の診断を受けており、1年前に誤嚥性肺炎の既往があるという。BDR指標はすべて全介助であり、訪問時は傾眠傾向にあった。診療前の患者の状態の写真(別冊午前 No.32)を別に示す。

診療に先立ち行うのはどれか。2つ選べ。

- a 吸引器を準備する。
- b 服薬状況を確認する。
- c ヘッドレストを外す。
- d 嚥下内視鏡検査の準備をする。

▶ 歯科診療補助

No.32



選択肢考察

- a BDR指標のR(Mouse Rinsing)は全介助であり、水を口に含むこともできない状態である。また、誤嚥性肺炎の既往もあることから、水分を誤嚥する可能性は高く、吸引器を準備することは必須である。
- b 多数の疾患に罹患しており、服薬量も多い可能性がある。そのため、歯科診療の前に服薬状況を確認しておく必要がある。
- × c ヘッドレストを外すと、頭部が後傾してしまう可能性がある。その状態で口腔清掃を行うと、水分や唾液を誤嚥してしまう危険性が高くなる。
- × d 誤嚥性肺炎の既往はあるが、摂食嚥下障害に関する情報が示されていない。また、口腔衛生管理の希望のため、診療に先立ち、まずは詳細な病歴聴取、主治医との対診を行う。

正解 a、b

DH26:P787

【問題 109】 口内法エックス線画像(別冊午前 No.33A、B)を別に示す。

AとBで変更したのはどれか。1つ選べ。

- a 照射時間
- b 検出器の種類
- c コーンの垂直的投影角度
- d コーンの水平的投影角度

▶ 歯科診療補助

No.33 A

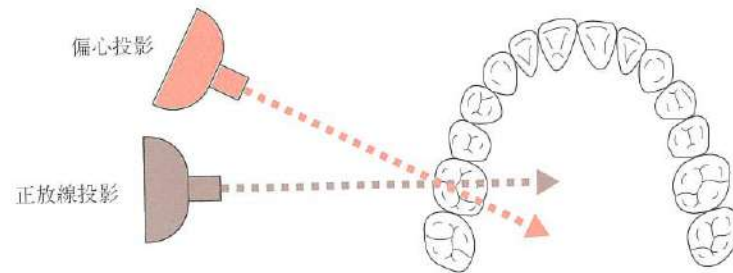


B



選択肢考察

- × a、× b 画像の変化は、照射時間、検出器の種類によるものではない。
- × c 垂直的角度が変わるとフィルム上の歯の長さが長くなったり短くなったりすることがあるが、本設問の画像では歯の長さに変化はみられない。
- d 隣接面の重なりが大きくなって偏心投影になっていることから、コーンの水平的角度が変化したと考えられる。口内法エックス線画像は、二等分法で撮影している。Bの画像では8の歯冠が7と重なってみられるため、偏心投影になっていることがわかる。



正解 d

DH26:P260

【問題 110】 23歳の女性。下顎右側智歯周囲歯肉の自発痛を主訴として来院した。診察の結果、8

の抜歯を行うことになった。アドレナリン含有2%リドカイン塩酸塩で浸潤麻酔を行ったところ次第に意識レベルが低下した。このときの手指の写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

意識レベル低下の原因はどれか。1つ選べ。

- a 過換気
- b 脈拍数減少
- c 心拍出量減少
- d 血管迷走神経反射

▶ 歯科診療補助

No.34



選択肢考察

- a 過換気により二酸化炭素が過剰に排泄され、呼吸性アルカローシスの状態を呈する。動脈血二酸化炭素分圧の低下は、脳血管収縮、脳血流量減少を起こし、意識レベルが低下することがある。助産師の手つき(carpal spasm)がみられたことから、過換気症候群である。
- × b 過換気により交感神経系が興奮し、脈拍数が増加することがある。
- × c 過換気症候群によって、心拍出量が減少することはない。
- × d 血管迷走神経反射の場合、副交感神経活動が亢進し、血圧低下や徐脈、気分不快などの症状を認めるが、写真のような助産師の手つきはみられない。

正解 a

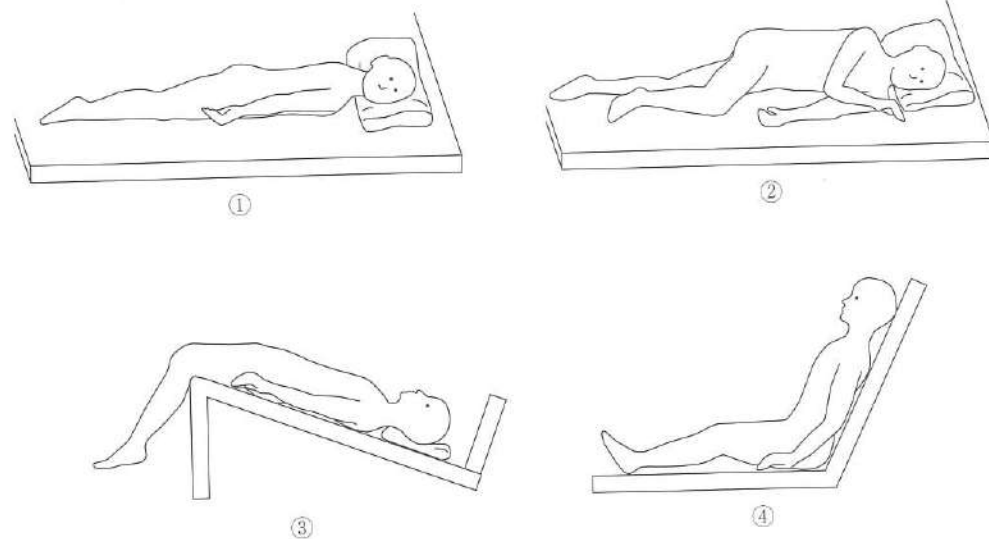
DH26:P873

351

午後問題..... 解答・解説

[Faint, mostly illegible text from the reverse side of the page, likely bleed-through from the other side of the paper.]

〔問題 1〕 姿勢の模式図を示す。



トレンデレンブルグ体位はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は腹臥位でうつ伏の状態である。
- × b ②は側臥位で横向きに寝た状態である。
- c ③はトレンデレンブルグ体位で、仰臥位で頭部より下半身が高い状態(骨盤高位)である。
- × d ④はファウラー位で、仰臥位で45度程度上半身を上げた状態(半座位)である。

正解 c

〔問題 2〕 舌咽神経が支配するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌の運動
- b 酸素分圧の感知
- c 食道の蠕動運動
- d 顎下腺の唾液分泌

▶解剖学

選択肢考察

- × a 舌の運動は舌下神経に支配される。
- b 酸素分圧の感知は舌咽神経に支配される。
- × c 食道の蠕動運動は平滑筋による運動である。消化管の平滑筋は迷走神経に支配される。
- × d 顎下腺の唾液分泌は顔面神経に支配される。

正解 b

DH26:P27

〔問題 3〕 頭蓋骨側面の写真(別冊午後 No.1)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎骨
- b 側頭骨
- c 蝶形骨
- d 頬骨

▶解剖学

選択肢考察

- c 矢印で示すのは蝶形骨翼状突起外側板で、外側翼突筋の起始である。外側翼突筋の機能は開口、前方、側方運動である。

正解 c

DH26:P19

No.1



▶解剖学

〔問題 4〕 平均近遠心幅径が最も大きいのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎中切歯
- b 上顎第一大臼歯
- c 下顎第一大臼歯
- d 下顎第二大臼歯

選択肢考察

- c 上顎大臼歯は近遠心幅径に比較し頬舌径が大きく、下顎大臼歯は頬舌径に比較し近遠心幅径が大きい。永久歯列において平均近遠心幅径が最も大きいのは、下顎第一大臼歯である。一般的に下顎第二大臼歯は遠心退化傾向がみられ、下顎第一大臼歯に比較し近遠心幅径が小さい。

正解 c

DH26:P7

[問題 5] 象牙質への冷刺激による痛みの発現に参与する神経線維はどれか。1つ選べ。

- a A α
- b A β
- c A δ
- d C

▶生理学

選択肢考察

- × a A α 線維は有髄線維である。筋紡錘からの求心性神経線維や骨格筋の収縮(運動神経)に参与する遠心性神経線維として機能する。
- × b A β 線維は有髄線維である。触覚、圧覚、振動覚の求心性神経線維として機能する。
- c A δ 線維は有髄線維である。象牙質への冷刺激による痛みは鋭痛で、歯髄・象牙境付近に自由神経終末をもつA δ 線維が伝達する。象牙質の知覚は、歯髄に分布する感覚神経線維によって伝達される。
- × d C線維は無髄線維である。自律神経の節後線維や温度覚、鈍い痛覚の求心性線維(主に痛覚に関与)として機能する。歯髄炎や歯髄への温度刺激、機械刺激によって生じる鈍痛はC線維が伝達する。

📖 要点集 351:P.26

正解 c

[問題 6] 交感神経と副交感神経の刺激に対し、ともに促進されるのはどれか。1つ選べ。

- a 胃液の分泌
- b 心筋の収縮
- c 唾液の分泌
- d 腸管平滑筋の収縮

▶生理学

選択肢考察

- c 唾液腺は交感神経と副交感神経の二重支配を受けるが、どちらの刺激によっても分泌が促進される。交感神経刺激では粘液性唾液分泌が促進され、副交感神経刺激では、漿液性唾液分泌が促進される。

📖 DH26:P.43

正解 c

[問題 7] 幼若エナメル質に最も多く含まれるタンパク質はどれか。1つ選べ。

- a エナメルリン
- b アメロゲニン
- c ホスホホリン
- d I型コラーゲン

▶生化学

選択肢考察

- × a エナメルリンは幼若エナメル質に少量(約5%)含有される酸性糖タンパクである。
- b アメロゲニンは幼若エナメル質に最も多く(約85~90%)含有される高プロリン糖タンパクである。
- × c ホスホホリンは象牙質固有の強酸性糖タンパクで、象牙質の非コラーゲン性タンパクの約60%を占める。
- × d I型コラーゲンはエナメル質を除いた硬組織や結合組織で最も多く含有されるタンパク質である。

正解 b

📖 DH26:P.46

[問題 8] 細胞死について [] に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

① は傷害が加わった部位で起こり、炎症反応を ② 。

- | | | |
|---|--------|---------|
| | ① | ② |
| a | 壊死 | 引き起こす |
| b | 壊死 | 引き起こさない |
| c | アポトーシス | 引き起こす |
| d | アポトーシス | 引き起こさない |

▶病理学

選択肢考察

細胞死は、壊死(ネクロシス)とアポトーシスとに大別される。壊死とは、細胞や組織の不可逆的な機能停止をいい、感染や栄養障害などの傷害性因子によって起こる。一方、遺伝的にプログラムされた機構による細胞死をアポトーシスといい、成長途上にみられる胸腺の消失や恒常的な細胞の新陳代謝などが該当する。

- a 壊死は傷害が加わった部位で起こり、膨化した細胞の細胞膜が破れ、細胞内の内容物が外に出ることによって炎症反応を引き起こす。

正解 a

[問題 9] 正常細胞と比較したがん細胞の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 浸潤能の獲得
- b 増殖能の低下
- c アポトーシスの促進
- d テロメラーゼ活性の低下

▶病理学

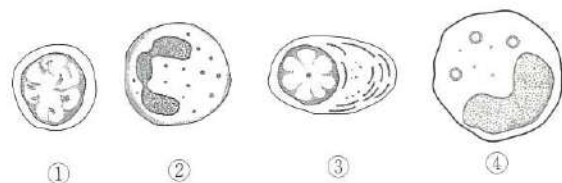
選択肢考察

- a がん細胞は周囲の組織との境界を越え浸潤する性格をもつ。腫瘍(新生物)とは、身体の構成細胞や組織が種々の要因によって、遺伝子異常を背景に正常な生物学的性格を変え、自律性に不可逆的で過剰な発育を示すものをいう。また、周囲の組織に浸潤したり、遠隔臓器に転移したりして、宿主の生命に重篤な影響を与えるものを悪性腫瘍(がん、悪性新生物)という。
- × b がん細胞は増殖シグナルの産生を維持するとともに、増殖抑制シグナルを回避することで、増殖能が低下せず、自律的に過剰に増殖する。
- × c、× d がん細胞では遺伝子異常の結果、アポトーシスの抑制、テロメラーゼ(テロメアの合成酵素)の活性化がみられ、細胞が不死化する。

正解 a

📖 要点集 351:P.47

【問題 10】 炎症細胞の模式図を示す。



抗体を産生するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶病理学

選択肢考察

- × a ①はリンパ球である。リンパ球は核に比べ細胞質が少ないことが特徴である。
× b ②は好中球である。分葉核をもつことが好中球の特徴である。
○ c ③は形質細胞である。核は偏在し、車軸核といわれる像を呈するのが特徴である。B細胞が成熟した細胞で抗体を産生する。
× d ④はマクロファージである。多核の巨細胞が特徴である。

正解 c

DH 26:P 76

【問題 11】 結核菌を最初に発見したのはどれか。1つ選べ。

- a 北里柴三郎
b ルイ・パスツール
c レーウエンフック
d ロベルト・コッホ

▶微生物学

選択肢考察

- × a 北里柴三郎は破傷風菌やペスト菌を発見した人物である。
× b ルイ・パスツールは自然発生説を否定し、疾病が微生物感染によって起こることを提唱した人物である。
× c レーウエンフックは手製の顕微鏡を用いて、初めて細菌を観察した人物である。
○ d ロベルト・コッホは純培養法の開発と病原体決定のための「コッホの条件」を確立し、結核菌やコレラ菌、炭疽菌を発見した人物である。

正解 d

【問題 12】 最も効果的で長期持続可能なワクチンはどれか。1つ選べ。

- a 生ワクチン
b トキソイド
c 成分ワクチン
d 不活化ワクチン

▶微生物学

選択肢考察

- a 生ワクチンは弱毒化したワクチンで、本来の感染過程に近いので、接種後も持続的な抗体の産生が期待できる。その一方で、病原微生物の増殖性が残っているため、副作用のリスクも高い。

正解 a

DH 26:P 29

【問題 13】 局所麻酔の注入後に突然、気分不良、血圧低下、呼吸困難および皮膚の蕁麻疹の症状がみられた。

症状出現に関与するのはどれか。1つ選べ。

- a IgA
b IgE
c IgG
d IgM

▶微生物学

選択肢考察

- × a 分泌型 IgA は粘膜免疫に関与する免疫グロブリンである。
○ b 局所麻酔注入後に出現したことより、アナフィラキシー症状が考えられる。IgE は血中で最も少ない免疫グロブリンで、I型アレルギーの発症に関与する。アレルギーと結合した IgE 抗体は肥満細胞や好塩基球からヒスタミンが脱顆粒し、I型アレルギー反応(アナフィラキシー症状)を惹起する。
× c IgG は血中で最も多いグロブリンで、胎盤通過性や補体活性化能をもつ。
× d IgM は一次免疫応答において、初期抗体として最初に誘導される免疫グロブリンで、5量体で存在する。

正解 b

DH 26:P 81

[問題 14] 抜歯後の鎮痛に用いられるプロドラッグはどれか。1つ選べ。

- a 立効散
- b プレガバリン
- c アセトアミノフェン
- d ロキソプロフェンナトリウム水和物

▶薬理学

選択肢考察

- プロドラッグとは、代謝を受けた後に活性を発現する薬物である。
- × a 立効散は歯痛、抜歯後の疼痛などに用いられる漢方薬である。
 - × b プレガバリンは神経障害性疼痛に用いられる疼痛治療薬である。
 - × c アセトアミノフェンは非ピリン系の解熱鎮痛薬である。歯痛、抜歯後の疼痛などに用いられる。
 - d ロキソプロフェンナトリウム水和物はプロドラッグであり、薬物代謝後に作用が発現される非ステロイド性抗炎症薬である。シクロオキシゲナーゼに作用しプロスタグランジン類の生成を阻害し、抗炎症作用、解熱作用、鎮痛作用を示す。

正解 d

DH 26:P 107

[問題 15] 表面麻酔に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a プロカイン塩酸塩
- b リドカイン塩酸塩
- c メピバカイン塩酸塩
- d プピバカイン塩酸塩水和物

▶薬理学

選択肢考察

- × a、× c、× d プロカイン塩酸塩、メピバカイン塩酸塩、プピバカイン塩酸塩水和物は、表面麻酔として使用できない。
- b リドカイン塩酸塩は表面麻酔に用いられる。

正解 b

DH 26:P 115

[問題 16] 地域保健法に基づき地域住民の健康づくりを行うのはどれか。2つ選べ。

- a 保健所
- b 介護老人保健施設
- c 市町村保健センター
- d 地域包括支援センター

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 保健所は地域住民の健康や衛生を支える公的機関の一つであり、地域保健法に基づき都道府県、政令指定都市、中核市、その他指定された市(保健所政令市)、特別区(東京23区)が設置する。
- × b 介護老人保健施設(老健)は介護保険法に基づき、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅復帰や在宅療養支援などを行うための施設である。
- c 市町村保健センターは地域保健法に基づき市町村が設置する施設で、地域における母子保健・老人保健の拠点である。高齢者の権利擁護業務は、権利侵害行為の対象となっている高齢者や権利侵害の対象になりやすい高齢者、あるいは自ら権利主張や権利行使することができない状況にある高齢者に対して、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的に行うことである。
- × d 地域包括支援センターとは介護保険法に基づき、高齢者の暮らしを地域でサポートするために作られた施設(拠点)で、主に自治体が設置する。地域包括支援センターは「地域包括ケアシステム」構築のための中核的な役割が求められる施設であり、主に4つの業務(総合的な相談の支援業務、権利擁護のための業務、ケアマネジメント支援の業務、介護予防ケアマネジメントの業務)を行う。

正解 a, c

DH 26:P 203

[問題 17] う蝕予防に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a 10%フッ化物配合歯磨剤
- b 1%フッ化第一スズ塗布液
- c 0.1%リン酸酸性フッ化物溶液
- d 0.2%フッ化ナトリウム洗口液

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 歯磨剤へのフッ化物配合は、フッ化物濃度として1,500ppm(0.15%)を上限としている。
- × b フッ化第一スズはフッ化物歯面塗布法に用いる薬剤で、8%フッ化第一スズを用いる。
- × c リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液(APF)は2%フッ化ナトリウム溶液である。
- d フッ化物洗口法は、毎日法と週1回法に大別され、週1回法では0.2%フッ化ナトリウム溶液を用いる。

正解 d

【問題 18】 学校保健における対物管理はどれか。1つ選べ。

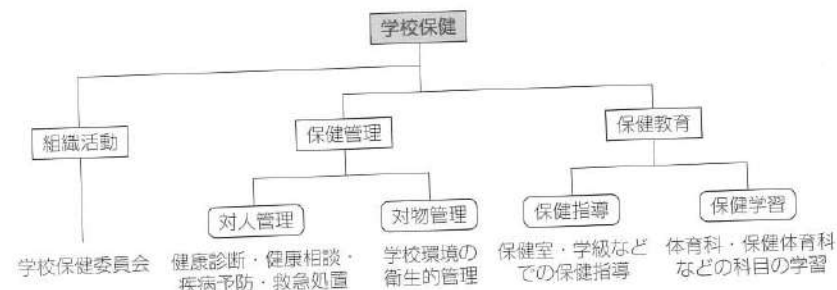
- a 衛生管理
- b 健康診断
- c PTA 活動
- d 感染症予防

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 衛生管理は**保健管理**における対物管理である。学校保健は**保健教育**、**保健管理**、**組織活動**の3領域からなる。保健管理は**対人管理**と**対物管理**に分けられ、対人管理には心身の管理（健康診断、健康相談、疾病予防、救急措置など）、生活の管理（学校生活の管理、家庭や地域での生活状況の把握と指導）がある。対物管理は学校環境の管理で、学校環境の衛生管理や、学校環境の美化・整備などが該当する。
- × b 健康診断は**保健管理**における**対人管理**である。
- × c PTA 活動は**組織活動**である。
- × d 感染症予防は**保健管理**における**対人管理**である。

● 学校保健



DH 26:P193

正解 a

【問題 19】 WHO が社会的・経済的な状態によらず住民のう蝕予防に有効としているのはどれか。1つ選べ。

- a 甘味制限の指導
- b ブラッシング指導
- c フッ化物歯面塗布
- d 上水道フッ化物濃度調整

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- × a 甘味制限の受容性は健康に対する関心度に影響を受ける。例えば、経済的状况によっては、健康に対する関心度が低くなるため、予防効果が得にくいことがある。
- × b ブラッシング指導も健康に対する関心度と関連が深い。健康に対する関心度は社会的・経済的な状態に影響を受ける。
- × c フッ化物歯面塗布は**プロフェッショナルケア**であり、専門家による介入が必要になる。そのため、普及には経済的な状態の影響を受ける。また専門家の数も必要になるため、社会的影響も受ける。
- d 上水道フッ化物濃度調整は費用対効果が高く、上水道が整備された地域であれば、社会的・経済的な状態によらず、う蝕が予防できる。また、個人の健康に関する関心度にも影響を受けにくいいため、健康格差の縮小に有効な手段である。

正解 d

【問題 20】 母子保健で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 母子健康手帳は都道府県が交付する。
- b 未熟児訪問指導の実施主体は市町村である。
- c 出生の届出は母子保健法に規定されている。
- d 育成医療の医療給付は障害者総合支援法に規定されている。

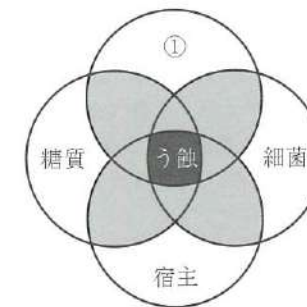
▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 母子健康手帳は**市町村**が交付する。
- b 未熟児訪問指導の実施主体は**市町村**である。
- × c 母子保健法で規定しているのは出生の届出ではなく、**妊娠**の届出である。
- d 育成医療の医療給付は**障害者総合支援法**により規定されている。

正解 b, d

【問題 21】 う蝕の病因論における Newbrun の4つの輪の概念図を示す。



①に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 時間
- b 歯周病
- c プラーク
- d 咬合性外傷

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- a う蝕の要因は**細菌要因**、**糖質要因**、**宿主要因**に区別され、それら要因が重なるとう蝕が発生すると考えられている (Keyes の3つの輪)。さらにそれら要因が重なっている時間が長いことも要因の1つと捕らえ、時間要因をそこに加える場合がある (Newbrun の4つの輪)。
- × b 歯周病の発症とう蝕は直接には関与しない。
- × c プラークは**細菌**要因である。
- × d 咬合性外傷は歯周組織に為害性を与えるが、う蝕の要因にはならない。

正解 a

[問題 22] ある集団 100 名の歯科検診結果を示す。

現在歯数	: 1,900 歯
未処置歯	: 200 歯
処置歯	: 300 歯
喪失歯	: 100 歯
エナメル質形成不全歯	: 20 歯
酸蝕歯	: 40 歯

DMF 歯率はどれか。1つ選べ。

- a 30%
b 32%
c 34%
d 36%

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a DMF はう蝕経験歯を示すものであり、エナメル質形成不全歯や酸蝕歯は含まれない。なお、DMF は永久歯のみが対象となり、乳歯は対象としない。DMF 歯率は $(D+M+F) \div$ 被験歯数で算出することができる。また被験歯数は現在歯数に喪失歯 (M 歯) を足し合わせたものである。
 $(D+M+F) \div (\text{現在歯数} + M) = (200+300+100) \div (1,900+100) = 0.30$
 従って 30% である。

正解 a

DH26:P148

[問題 23] キシリトールの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 血糖値を上昇させる。
b 糖アルコールである。
c 多量摂取によって便秘が生じる。
d 甘味度は砂糖とほぼ同じである。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a キシリトールは血糖値に影響しない。
○ b ソルビトールやマンニトールなどと同じ糖アルコールである。
× c 多量摂取により、軟便になることがある。
○ d 甘味度は砂糖とほぼ同等である。

正解 b, d

[問題 24] 唾液中に高頻度で認められるのはどれか。2つ選べ。

- a *S. mutans*
b *S. salivarius*
c *S. sanguinis*
d *S. sobrinus*

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a、× d *S. mutans* や *S. sobrinus* はプラーク中に多いレンサ球菌である。唾液中では少ない。
○ b、○ c 唾液中に最も多い菌はレンサ球菌で、中でも *S. salivarius* や *S. sanguinis* が高頻度で検出される。

正解 b, c

[問題 25] ペリクルで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯質の脱灰を抑制する。
b 歯垢中の細菌が形成する。
c PMTC によって除去できる。
d バイオフィルムの一種である。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a、× b ペリクル (獲得被膜) は唾液由来の糖タンパクで、エナメル質表層を覆っている。ペリクルは酸によるエナメル質脱灰を防ぐ作用があるが、細菌が歯面に付着する足場にもなる。
○ c ペリクルは通常のブラッシングでは除去できず、PMTC によって除去が可能である。除去後 30 分から 1 時間で再び形成される。
× d ペリクルは厚さ 1~10 μm の被膜で、細菌は含まれない。よってバイオフィルムではない。

正解 a, c

[問題 26] 医療法で定める都道府県の業務はどれか。1つ選べ。

- a 特殊健康診断の実施
b 一般介護予防事業の実施
c 医療費適正化計画の立案
d 救急医療に関する医療計画の策定

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 特殊健康診断は労働安全衛生法に基づいて事業者が実施する。
× b 一般介護予防事業は介護保険法に基づいて市町村が実施する。
× c 医療費適正化計画の立案は高齢者の医療確保に関する法律に基づいて都道府県が実施する。
○ d 都道府県は、医療連携体制の構築について、医療計画の記載事項として、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の 5 疾患、救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療および小児医療 (小児救急医療を含む)、新興感染症等の感染拡大時における医療の 6 事業並びに在宅医療に係る医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の連携を確保するための体制 (医療連携体制) に関する事項を医療計画に定めると医療法において規定される。

正解 d

DH26:P178

【問題 27】 地域包括支援センターの機能はどれか。1つ選べ。

- a 要介護の認定
- b 生活保護の認定
- c 訪問介護の実施
- d 高齢者虐待への対応

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 最終的な要介護認定は介護認定審査会で行う。
- × b 居住地の福祉事務所が認定を行う。
- × c 介護保険サービス事業者が行う。
- d 地域包括支援センターにおける包括的地域支援事業である。

正解 d

【問題 28】 ノーマライゼーションに該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 国民皆保険制度の確立
- b ライフスタイルの改善
- c ユニバーサルデザインの普及
- d 社会参加を困難にする制度的障壁の除去

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a、× b ノーマライゼーションに該当しない。
- c ユニバーサルデザインの基本思想は、多様な人々の違いを認め、尊重し合いながら、誰もがより暮らしやすい環境をつくることにある。具体例として、ピクトグラム表示や、多機能トイレなどがある。これらは、障害者に限らず誰でも簡単に利用できるよう工夫されている。
- d ノーマライゼーションとは、社会福祉をめぐる社会理念の一つで、障害者や高齢者などがほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現（共生社会実現）を目指す考え方である。また共生社会実現に向けた運動や施策なども含まれる。厚生労働省ではノーマライゼーションの理念を「障害のある人が障害のない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指す」とし、① 障害者プランの推進 ② 新しい障害者福祉サービスの利用の仕組み ③ 精神障害者の人権に配慮した精神医療の確保、自立と社会復帰の促進 ④ 社会参加の推進などを行っている。

正解 c、d

DH 26:P 206

【問題 29】 フッ化物配合歯磨剤 (1,500ppmF) が属するのはどれか。1つ選べ。

- a 医薬品
- b 化粧品
- c 医療機器
- d 医薬部外品

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- × a 医薬品の歯磨剤は予防や治療効果が認められ、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法)に基づいて許可を受けたもので、予防に加えて治療を目的として使用されるものをいう。
- × b 化粧品には薬用成分を含まない歯磨剤や洗口液などが属する。
- × c 医療機器には歯科医療機器などが属する。
- d フッ化物配合歯磨剤 (1,000ppmF) は医薬部外品である。配合フッ化物として、フッ化ナトリウム (NaF)、フッ化第一スズ (SnF₂)、モノフルオロリン酸ナトリウム (MFP) の3種類が承認されている。これまで歯磨剤のフッ素濃度は1,000ppm (0.10%) 歯磨剤までが承認されていたが、2017年から1,500ppm (0.15%) を上限とする高濃度フッ化物配合歯磨剤が医薬部外品として承認された。

正解 d

【問題 30】 健やか親子 21 (第2次) で示された基盤課題はどれか。2つ選べ。

- a 若年性認知症施策の強化
- b 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策
- c 障害児の健やかな育成のための発達支援
- d 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b、d 健やか親子 21 (第2次) は「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現を目指し、関係するすべての人々、関連機関・団体が一体となって取り組む国民運動である。期間は平成 27 年度～令和 6 年度で、達成すべき 3 つの基盤課題「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」「学童期・思春期から青年期に向けた保健対策」「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」と、2 つの重点課題「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」と「妊娠期からの児童虐待防止対策」を掲げている。

正解 b、d

DH 26:P 187

【問題 31】 医療面接における患者の回答で、解釈モデルの理解に役立つのはどれか。1つ選べ。

- a 「痛い歯を避けて歯みがきをしています」
- b 「熱い食べ物を口にすると痛みが強くなります」
- c 「1週前から徐々に痛みが強くなりました」
- d 「多忙で治療を中断したため痛くなったと思います」

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- d 痛みの原因に対する患者自身の考え方(解釈モデル)を回答している。医療面接における解釈モデルとは、患者自身の考えやニーズであり、具体的には病気の原因、症状に対する患者自身の考え、経過、影響、予後、希望する検査、治療法、期待感である。解釈モデルを聴くことにより(1)医師患過、影響、予後、希望する検査、治療法、期待感である。解釈モデルを聴くことにより(2)考え方の違いが明瞭になり、患者満足度が上がり、診断や診療に役立つ情報が得られる。(2)考え方の違いが明瞭になり、患者満足度が上がり、診断や診療に役立つ情報が得られる。解釈モデルの聴取では、開かれた質問を使用し、共感的な態度で患者が自然に自分の考え、希望がいえるように切り出すことが重要である。

DH 26:P 249

正解 d

【問題 32】 歯科診療所でバリアフリーに該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 待合室に雑誌を置く。
- b 入り口を自動ドアにする。
- c 診療室に介添え者を入れる。
- d 診療室入り口に段差を設ける。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 待合室に雑誌を置くことで精神的緊張感を緩和させることが期待できるが、バリアフリーに該当するものではない。
- b 入り口を自動ドアにすることで手で扉を開けることがなくなる。
- c 診療室に介添え者を入れることで、移動の際の危険回避や精神的障壁の回避を図ることができる。
- × d 診療室の入り口ばかりではなく、段差をなくすことがバリアフリーである。

DH 26:P 205

正解 b、c

【問題 33】 歯科衛生士法第2条の一部を示す。

「歯科衛生士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、歯科医師の(①)の下に、歯牙及び口腔の疾患の予防処置として次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。

- 一 歯牙露出面及び正常な歯茎の遊離縁下の付着物及び沈着物を機械的操作によって除去すること。
- 二 歯牙及び口腔に対して薬物を塗布すること。

①に当てはまるのはどれか。1つ選べ。

- a 監督
- b 管理
- c 指導
- d 説明

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- c 歯科予防処置では、歯科医師(歯科医業をなすことのできる医師を含む。以下同じ。)の指導の下に、これを行うことが規定されている。

正解 c

【問題 34】 腎機能の低下で低値を示すのはどれか。1つ選べ。

- a 血圧
- b 尿酸
- c 血清カリウム
- d クレアチンクリアランス

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 腎機能が低下して尿生成が障害されると、血中の水分やナトリウムの排泄を十分に行うことができず循環血液量が増加するため、血圧が上昇する。
- × b プリン体の最終代謝産物である尿酸やアミノ酸の最終代謝産物である尿素窒素は尿中に排泄されるため、腎機能が低下して尿生成が障害されると、血中濃度が高値を示す。
- × c 食物から摂取されたり、細胞内液から血中に移行し、余剰となった血清カリウムは尿中に排泄されるため、腎機能が低下して尿生成が障害されると、血中濃度が高値を示す。
- d クレアチンクリアランス(Ccr)は尿量とクレアチニンの尿中濃度・血中濃度を用いて、糸球体濾過量(GFR)を評価するための検査である。従って、腎機能が低下するとGFRが低下するため、Ccrは低値を示す。

正解 d

DH 26:P 270

〔問題 35〕咀嚼機能の検査はどれか。1つ選べ。

- a 篩分法
- b 感圧フィルム法
- c パントグラフ法
- d ゴシックアーチ描記法

▶臨床歯科総論

選択肢考察

- a 篩分法は咀嚼機能の評価法の1つである。
- ×b 感圧フィルムを用いることで咬合接触点の位置と咬合圧を感知し、定量的に評価することができる。
- ×c パントグラフ法は立体的な下顎運動を把握するために用いられる。
- ×d ゴシックアーチ描記法は下顎運動の記録法の1つである。前方運動、側方限界運動の軌跡を描記させ、水平的な顎位の決定やチェックバイト記録の採得により、顎路調節を行うために用いる。

DH 26:P 389

正解 a

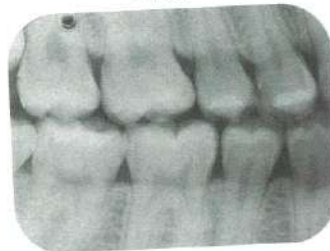
〔問題 36〕エックス線画像(別冊午後 No. 2)を別に示す。

撮影法はどれか。1つ選べ。

- a 咬合法
- b 咬翼法
- c 平行法
- d 二等分法

▶臨床歯科総論

No. 2



選択肢考察

- ×a 咬合法は、歯軸方向からの観察を必要とする場合(顎骨骨折や埋伏歯の頬舌的位置関係の確認、顎下腺唾石など)に用いられる。
- b 咬翼法は、上下顎臼歯部の隣接面う蝕の検出や歯槽骨頂の吸収状態を観察することを目的としている。
- ×c 平行法は、歯軸とフィルムを平行に設置してエックス線は垂直に入射させる方法であり、歯周疾患の経年的変化の観察に用いられる。
- ×d 二等分法は、エックス線画像上の歯の長さが歯の実長と等しい撮影法で、根尖部の診査に適した撮影法である。

DH 26:P 264

正解 b

〔問題 37〕糖尿病の慢性合併症はどれか。2つ選べ。

- a 網膜症
- b 神経障害
- c 体重減少
- d 創傷治癒の遅延

▶臨床歯科総論

選択肢考察

- a、○b 糖尿病はインスリン作用不足によって慢性の高血糖になる代謝疾患である。慢性的な高血糖が続くと合併症が出現する。
- ×c、×d 体重減少、創傷治癒の遅延は糖尿病の初期症状である。

正解 a、b

DH 26:P 346

〔問題 38〕42歳の男性。下顎左側第一小臼歯の着色を主訴として来院した。1年前に気付いたが強い痛みがないためそのままにしていたという。自発痛と打診痛はないが、冷刺激による一過性の疼痛を認める。修復処置を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 3 A)とエックス線画像(別冊午後 No. 3 B)を別に示す。

考えられる修復材料と必要な器材の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a コンポジットレジン ————— 圧排糸
- b コンポジットレジン ————— リング状リテーナー
- c グラスアイオノマーセメント ——— ウェッジ
- d グラスアイオノマーセメント ——— クラウンフォーム

▶保存修復学

選択肢考察

- a 修復材料として審美性を考慮し、グラスアイオノマーセメントよりもコンポジットレジン修復が望ましい。また、う窩は歯頸部歯肉に近接しているため、歯肉溝からの唾液や滲出液の吸収、排除を行う圧排糸が必要である。

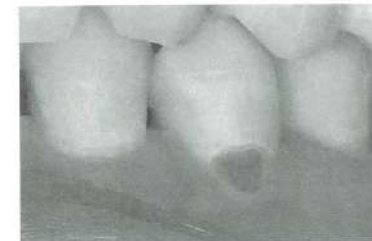
正解 a

DH 26:P 288

要点

プラスチックからなる歯肉圧排器具(ガムリトラクター)なども広く用いられる。

No. 3 A



B



【問題 39】 46歳の女性。歯の冷水痛を主訴として来院した。コンポジットレジンインレー修復を行うことになった。コンポジットレジンインレー製作時の写真(別冊午後 No. 4)を別に示す。直接法と比較した長所はどれか。2つ選べ。

- a 耐摩耗性が低下する。
- b 来院回数が増える。
- c 隣接面の接触点の回復に優れる。
- d コントラクションギャップの形成が促進される。

▶保存修復学

No. 4



選択肢考察

- × a コンポジットレジンインレーは模型上で製作するため、十分な重合が得られる。従って、強度が増し、耐摩耗性が向上する。口腔内で修復物が製作される場合を直接法(コンポジットレジン充填など)といい、口腔外で修復物を製作し、セメントを用いて口腔内に装着する場合を間接法(インレー修復)という。
- b 間接法は印象採得後、修復物を製作する必要があり、次回来院時に装着する。従って、来院回数が増える。
- c 間接法は模型上で製作するため、接触点(コンタクトポイント)の回復に優れる。
- × d コントラクションギャップは、コンポジットレジン(CR)の重合収縮によって、窩壁とCRとの間に生じる間隙のことである。間接法は模型上で硬化させるため、コントラクションギャップは発生しない。

正解 b、c

【問題 40】 46歳の女性。上顎右側小臼歯の変色を主訴として来院した。5年前にコンポジットレジン修復を受けたという。疼痛は認められない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 5)を別に示す。変色の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 接着処理の不備
- b 窩洞形成の不備
- c 感染歯質の残存
- d 仕上げ研磨の不足

▶保存修復学

No. 5



選択肢考察

- × a コンポジットレジン修復は接着性修復であり、変色の原因とはならない。
- × b コンポジットレジン修復の窩洞外形は、う蝕の範囲内である。また歯肉縁上に設定されているため、不適切な窩洞形成ではなく、変色の原因とはならない。
- × c 感染歯質の除去は、いかなる修復処置でも必要である。感染歯質の残存により、二次う蝕や修復物の脱離が生じるが、修復物の変色の原因とはならない。
- d 写真のコンポジットレジン修復は、窩洞外形に対して過剰な充填であると考えられる。充填後の仕上げ(形態修正)が不十分な場合、辺縁部の変色がみられる。写真の修復物は、5級窩洞に対するコンポジットレジン修復である。コンポジットレジン窩縁部に着色がみられることから、コンポジットレジン修復の過剰充填や形態修正(仕上げ研磨)不足が考えられる。

正解 d

【問題 41】 65歳の男性。下顎左側第一大臼歯の痛みを主訴として来院した。昨晚、強い痛みのため眠れなかったという。著しい打診痛があり、歯髄電気診に生活反応を示した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 6A)とエックス線画像(別冊午後 No. 6B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	3	3	3	3	3	⑨	④	3	④
歯種	5			6			7		
頬側*	3	3	3	3	3	⑨	3	3	③
動揺度**	0			1			0		

* : プロービング深さ(mm)

○印: プロービング時の出血

** : Millerの判定基準

考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 生活断髄
- b 麻酔抜髄
- c 感染根管治療
- d ヘミセクション

▶歯内療法学

No. 6 A



B



選択肢考察

- × a 強い自発痛を伴う全部性の歯髄炎のため、生活断髄は行わない。
- b 歯内-歯周疾患による上行性歯髄炎であるため、麻酔抜髄を行う。
- × c、× d 感染根管治療、ヘミセクションは失活歯に対し行う。

正解 b

DH26:P316

[問題 42] 54歳の女性。上顎左側側切歯の激しい疼痛を主訴として来院した。1か月前から違和感を自覚していたが痛みがないためそのままにしていたところ、2日前から自発痛を認めるようになったという。打診痛と根尖部歯肉圧痛を認めるが、波動は触れない。プロービング深さは全周2mm以内で、歯髄電気診に生活反応を示さなかった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 7A)とエックス線画像(別冊午後 No. 7B)を別に示す。

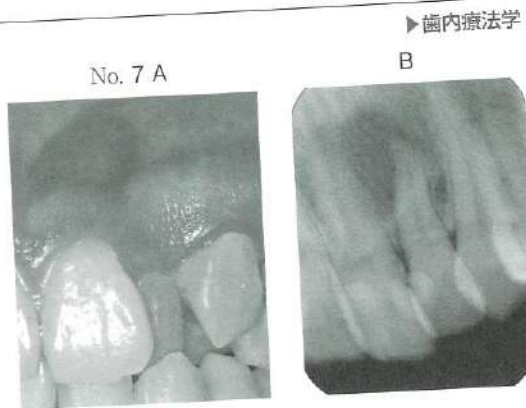
当日に適切と考えられる対応はどれか。2つ選べ。

- a 根管洗浄
- b 根尖搔爬
- c 根尖切除
- d 抗菌薬の投与

選択肢考察

- a 根管内の感染源を除去するために、感染根管治療を開始して根管拡大と根管洗浄を行う。
- × b まずは感染根管治療が必要であり、外科的処置は行わない。
- × c 根尖切除は感染根管治療後、原因除去が困難な場合に行われる。
- d 急性症状への応急処置として抗菌薬の投与を行う。

正解 a、d



DH26:P306

[問題 43] 61歳の男性。上顎前歯の動揺と正中離開の増大とを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 8A)とエックス線画像(別冊午後 No. 8B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側*	2	2	6	3	2	2
歯種	1		1			
口蓋側*	2	5	8	3	2	2
動揺度	1			1		

*: プロービング深さ(mm)

病態の増悪因子と考えられるのはどれか。2つ選べ。

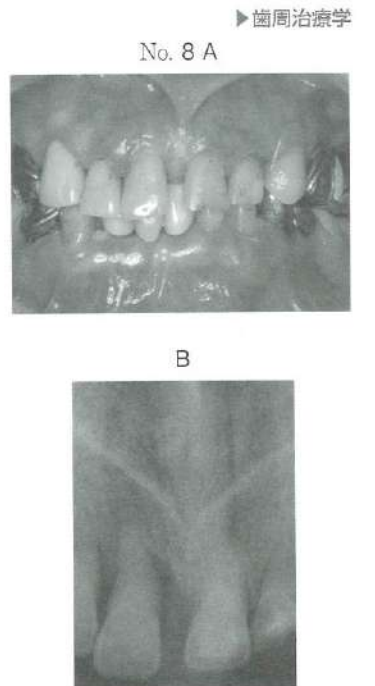
- a 食片圧入
- b 外傷性咬合
- c 根尖性歯周炎
- d 上唇小帯の高位付着

選択肢考察

- × a 前歯部での食片圧入の可能性は低い。
- b 1に垂直性骨吸収があり、また下顎前歯部が上顎の顎堤にぶつかるほど過蓋咬合である。白歯部に部分床義歯を装着していることから、咬合高径の低下により咬合性外傷が起こったと考える。
- × c 根尖部の透過像は認められず、骨吸収も根尖には及んでいない。また、歯の変色もみられないため、生活歯と考える。
- d 上唇小帯がかなり発達している。主訴が正中離開の増大となっているため、その原因は上唇小帯の高位付着が考えられる。

正解 b、d

DH26:P334



[問題 44] 36歳の女性。上下顎前歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。検査の結果、侵襲性歯周炎と診断され、歯周治療を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 9)を別に示す。

歯周基本治療開始前に説明すべきリスクはどれか。2つ選べ。

- a 歯根破折
- b 歯肉退縮
- c エナメル質う蝕
- d 象牙質知覚過敏症

▶歯周治療学

No. 9



選択肢考察

- × a、× c 歯周基本治療によって、歯根破折やエナメル質う蝕が生じることはない。
- b、○ d 侵襲性歯周炎は10~30歳代に好発し、急速な歯周組織破壊(歯槽骨吸収、アタッチメントロス)を特徴とする。口腔内写真では、歯肉退縮、歯根露出、歯列空隙がみられる。侵襲性歯周炎は慢性歯周炎と比べプラークや歯石の沈着は少ないが、歯周基本治療ではプラークコントロールやSRP、LDDSを行う。歯周基本治療を行うことで炎症が軽減し、歯肉退縮を招くおそれがある。その結果象牙質知覚過敏症が発症しやすいため、治療後にはフッ化物塗布を行う。

正解 b、d

[問題 45] 全部床義歯製作時の垂直的顎間関係を記録する際に患者に行わせるのはどれか。2つ選べ。

- a 嚙下
- b 発音
- c 舌の挙上
- d タッピング

▶歯科補綴学

選択肢考察

- a、b 垂直的顎位の決定法を問う設問である。【要点】参照

正解 a、b

要点

●垂直的顎位・水平的顎位の決定法

垂直的顎位	水平的顎位
顔面計測法 (Willis法・Bruno法など)	タッピング運動
安静空隙利用法	筋疲労法
発音位利用法	筋触診法(筋把握法)(咬筋・側頭筋)
嚙下位利用法	Walkhoff 小球利用法
咬合力測定法	頭部後屈(後傾)法
旧義歯を利用する方法	嚙下位利用法
	ゴシックアーチ描記法
	下顎位誘導法

嚙下位利用法は、垂直と水平の両方を決定できる方法とされている。

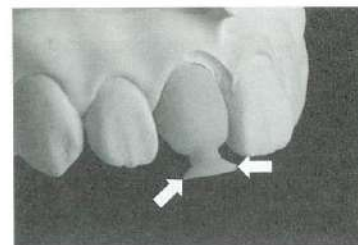
DH 26:P388

[問題 46] クラウン製作過程で印象採得に用いた構造体の写真(別冊午後 No.10)を別に示す。矢印で示す部位の役割はどれか。1つ選べ。

- a 支台歯部の印象材量の確保
- b 歯列印象体からの脱離防止
- c 印象採得時の支台歯の動揺防止
- d 隣在歯のアンダーカットによる変形防止

▶歯科補綴学

No. 10



選択肢考察

- × a 支台歯部の印象材の量を均一に確保するため、ワックスでスペーサーを設ける。
- b 写真の構造体は個歯トレーで、矢印で示す部位はトレー咬合面に取り付けられたレジン円板で、個歯トレーの把手部分である。個歯トレーは個々の支台歯専用に製作された印象用トレーで、歯列全体を印象する個人トレーと合わせて使用される。個歯トレーの把手部分下に生じるアンダーカットにより維持が強化され、歯列印象体からの脱離が防止される。
- × c、× d 印象採得時の支台歯の動揺防止、隣在歯のアンダーカットによる変形防止は個歯トレー自体の役割である。

正解 b

DH 26:P403

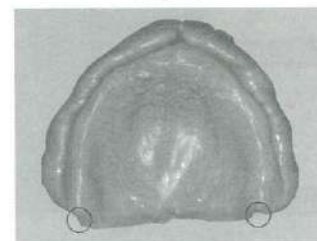
[問題 47] 70歳の男性。上顎全部床義歯の紛失による咀嚼障害を主訴として来院した。上顎精密印象採得後の写真(別冊午後 No.11)を別に示す。

丸で囲んだ部分の解剖学的指標はどれか。1つ選べ。

- a 口蓋小窩
- b 上唇小帯
- c 切歯乳頭
- d 翼突下顎ヒダ

▶歯科補綴学

No. 11



選択肢考察

- d 丸で囲まれた部位は翼突下顎ヒダである。上顎結節後縁に存在し、義歯床後縁の位置決定において重要となる。

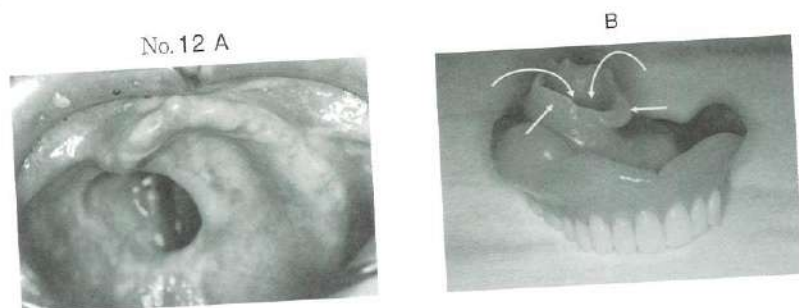
正解 d

DH 26:P381

[問題 48] 76歳の女性。上顎歯肉癌切除後に開放型栓塞子を持つ顎義歯を装着した。口腔内写真(別冊午後 No.12A)と顎義歯の写真(別冊午後 No.12B)を別に示す。矢印部分の目的はどれか。2つ選べ。

- a 軽量化
- b 維持力の向上
- c 支持域の拡大
- d 義歯強度の増加

▶ 歯科補綴学



選択肢考察

○ a、b 写真Aより右側口蓋部に大きな欠損が存在し、鼻腔と交通しているのがわかる。このように義歯の維持・安定が難しい無歯顎症例においては、写真Bのように栓塞子を欠損部位に突出させた後、アンダーカットを維持に利用する必要がある。また、写真の顎義歯は軽量化を図るため栓塞子は開放型となっている。

正解 a、b

[問題 49] デブリードマンの目的はどれか。1つ選べ。

- a 止血
- b 除痛
- c 創部保護
- d 壊死組織除去

▶ 口腔外科学

選択肢考察

○ d デブリードマンは、メスや鉏などを用い、固着した汚染組織や壊死組織を除去し、創を清浄化することにより創傷治癒を促す目的で行われる。

正解 d

[問題 50] 61歳の男性。舌右側の痛みを訴えて来院した。口腔内写真(別冊午後 No.13)を別に示す。舌癌と診断され、舌部分切除術が予定された。

処置に際し、TNM分類(UICC 2017)で示されるのはどれか。1つ選べ。

- a 進行度
- b 組織型
- c 分化度
- d 浸潤様式

▶ 口腔外科学

選択肢考察

- a TNM分類は、腫瘍の解剖学的な広がりをT：原発腫瘍の広がり、N：所属リンパ節への広がり、M：遠隔転移の有無に分類しており、それぞれに数字を組み合わせることで広がりや進行度を示している。
- × b、× c、× d TNM分類から腫瘍の組織型、分化度、浸潤様式は評価できない。

正解 a

No. 13



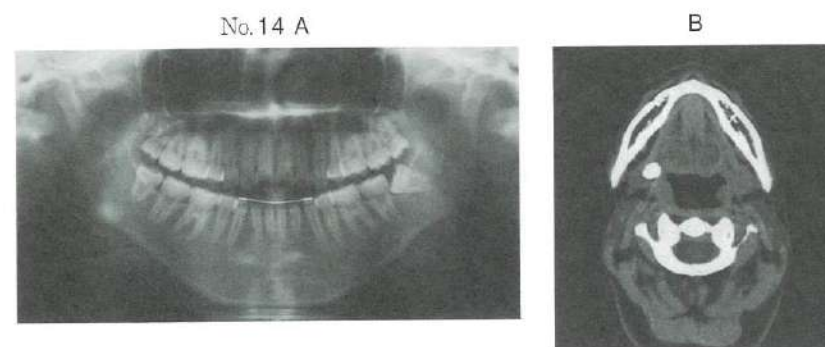
DH26:P423

[問題 51] 19歳の女性。嚥下痛と食事時の右側顎下部の痛みとを主訴として来院した。顎下部に腫脹を認めた。初診時のエックス線画像(別冊午後 No.14 A)とCT(別冊午後 No.14 B)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 腐骨
- b 白板症
- c 唾石症
- d 口腔扁平苔癬

▶ 口腔外科学



選択肢考察

- c 唾石症は、唾石が腺体内あるいは導管移行部にとどまり、唾液の流出障害や炎症を誘発し、唾仙痛や唾液腺の腫脹をきたす疾患である。顎下腺に生じることが多く、触診や唾液線造影などのエックス線検査によって確認する。

正解 c

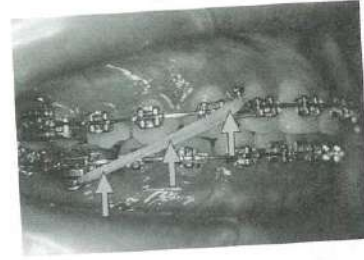
DH26:P434

〔問題 52〕 矯正装置装着時の口腔内写真(別冊午後 No.15)を別に示す。
矢印の装置の使用目的の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | 上顎前歯 | 下顎臼歯 |
|---|------|------|
| a | 唇側傾斜 | 圧下 |
| b | 唇側傾斜 | 挺出 |
| c | 舌側傾斜 | 圧下 |
| d | 舌側傾斜 | 挺出 |

▶矯正歯科学

No.15



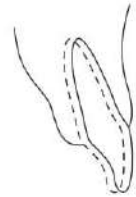
選択肢考察

- d 写真の装置はⅡ級ゴムである。Ⅱ級ゴムは上顎前歯症例に用いられ、上顎前歯部の舌側傾斜と下顎大臼歯の挺出がみられる。

DH 26:P467

正解 d

〔問題 53〕 歯の移動の模式図を示す。



実線：移動前
破線：移動後

上顎切歯の移動様式はどれか。1つ選べ。

- a 圧下
b トルク
c 歯体移動
d 傾斜移動

▶矯正歯科学

選択肢考察

- ×a 圧下は歯根方向への移動である。
×b トルクは歯冠部を中心とした歯根の傾斜移動である。
○c 歯体移動は、歯根が歯軸傾斜角を変化させずに歯軸に平行に移動するものである。
×d 傾斜移動は歯根根尖側 1/3 を中心とした移動である。

DH 26:P462

正解 c

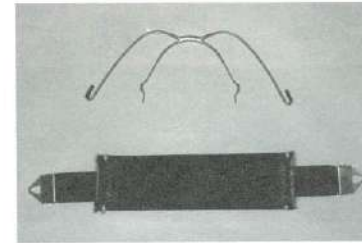
〔問題 54〕 矯正器具の写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

口腔習癖除去に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ヘッドギア
b クラウンループ
c パラタルアーチ
d リップバンパー

▶矯正歯科学

No.16



①



②



③



④

選択肢考察

- ×a ①はヘッドギアである。上顎骨の前方成長抑制を目的として使用される。習癖除去には用いない。
×b ②はクラウンループである。第一乳臼歯の早期喪失に対して保険の目的で使用される。習癖除去には用いない。
×c ③はトランスパラタルアーチである。歯の移動を目的とする矯正装置の固定源となる大臼歯に対して、加強固定を目的として使用される。習癖除去には用いない。
○d ④はリップバンパーである。口腔習癖は歯列不正を引き起こし、そのままにしておくと骨格的不正咬合につながるため、早期の治療が求められる。吸唇癖による下顎前歯舌側傾斜に対してはリップバンパーを用いる。リップバンパーは過剰な下口唇圧によって舌側傾斜した下顎前歯を、圧を排除することで唇側傾斜させ、さらに口唇圧を作用させることで下顎大臼歯遠心移動を測る装置である。

正解 d

DH 26:P464

【問題 55】 15歳の女子。前歯部の咬合異常と下顎の偏位とを主訴として来院した。診断の結果、ある処置を行い、上下歯列正中線が一致した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.17A、B、C)と処置前後のエクス線画像(別冊午後 No.17D、E)を別に示す。

この処置の目的はどれか。2つ選べ。

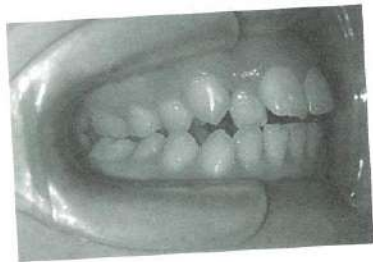
- a 臼歯部の咬合干渉の除去
- b 上下顎の垂直的關係の改善
- c 大白歯近遠心的關係の改善
- d アーチレンジスディスクレパンシーの解消

▶矯正歯科学

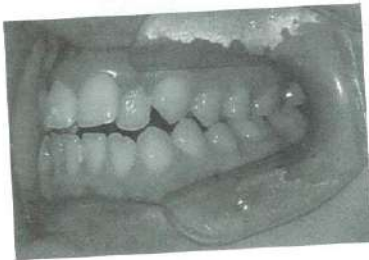
No.17 A



B



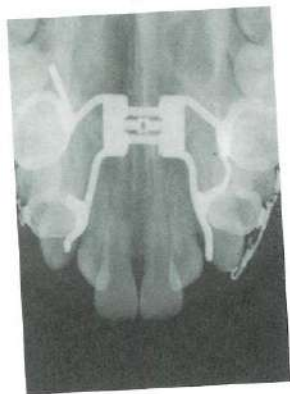
C



D



E



選択肢考察

- a 臼歯部の交叉咬合および咬頭接触を、上顎の拡大によって改善している。
- × b 急速拡大装置によって垂直的關係の改善をしたわけではない。
- × c 大白歯の近遠心的關係を変化させるには抜歯、もしくは遠心移動の装置(ヘッドギアなど)が必要である。
- d 上顎歯列弓の叢生(マイナスのディスクレパンシー)を急速拡大により狭窄歯列が改善した。

正解 a、d

【問題 56】 10歳の男児。上顎前歯部の疼痛を主訴として来院した。1時間前に転倒し顔面を強打したという。1]の動揺度は1度で軽度の打診痛を認める。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.18A、B)とエクス線画像(別冊午後 No.18C)を別に示す。

考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 整復固定
- b コンポジットレジン修復
- c 直接覆髄
- d 生活歯髄切断

▶小児歯科学

No.18 A



B



C



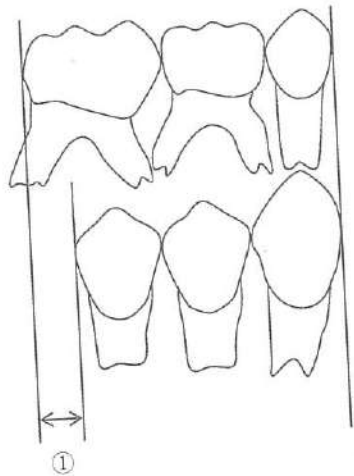
選択肢考察

- × a エクス線画像では1]の歯根膜腔が拡大しており亜脱臼が考えられる。しかし、動揺度が1度であるため、治療方針として、整復固定は優先されない。
- b 破折部分をコンポジットレジンで修復し予後を観察する。
- × c、× d 露髄はみられないため、歯髄処置は行わない。

正解 b

DH26:P487

〔問題 57〕 乳歯側方歯群と後継永久歯の関係の模式図を示す。



①が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 發育空隙
- b 靈長空隙
- c ターミナルプレーン
- d リーウェイスペース

▶小児歯科学

選択肢考察

- d 設問の図の矢印で示されているのはリーウェイスペースである。上下顎の側方歯群の乳歯と永久歯の歯冠近遠心幅径の総和を比較すると、乳歯側方歯群の歯冠近遠心幅径の総和の方が大きい。これをリーウェイスペースとよび、上顎片側で1mm、下顎片側で3mm存在する。リーウェイスペースは第一大臼歯の咬合安定や、前歯部の歯軸の安定、側方歯群永久歯の咬頭嵌合の正常化に関与していると考えられている。

DH 26:P483

正解 d

〔問題 58〕 老年症候群において後期高齢者から増加傾向を示すのはどれか。1つ選べ。

- a 褥瘡
- b 頭痛
- c 息切れ
- d めまい

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- a 褥瘡は、老年症候群において後期高齢者で増加する症候である。
 ×b、×d 頭痛やめまいは、老年症候群において加齢による影響をあまり受けない症候である。
 ×c 息切れは、老年症候群において前期高齢者で増加する症候である。

正解 a

DH 26:P494

〔問題 59〕 栄養状態の指標となるのはどれか。2つ選べ。

- a SGA
- b MNA
- c MMSE
- d HDS-R

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- a SGA (主観的包括的栄養評価: Subjective Global Assessment) は栄養アセスメントで用いられる指標である。SGA は外来診察で入手可能な簡単な情報のみで、栄養障害はもちろん、創傷の治癒遅延や感染症などのリスクのある患者を正確に予測できる特徴がある。栄養アセスメントでは、まず主観的包括的栄養評価 SGA や MNA などのアセスメントツールを用いて、栄養障害のリスク患者をスクリーニングし、早期発見する。次に適切な栄養処方設計を立案するために、栄養歴や身体計測、身体所見ならびに臨床検査などをもとに、患者の栄養状態や病態を的確かつ総合的に評価し、栄養障害因子の同定を行う。
- b MNA (Mini Nutritional Assessment) は 18 項目から構成される高齢者を対象とした栄養アセスメントツールである。食事摂取量、体重変化、身体機能、BMI、身体計測値、疾患などによるストレス、健康観など幅広い項目を含んでいる。
- ×c MMSE (ミニメンタルステート検査: Mini Mental State Examination) は「精神状態短時間検査」と呼ばれる認知症のスクリーニングテストである。
- ×d 改定長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) は、認知症の早期発見、早期治療のための代表的評価スケールである。

正解 a、b

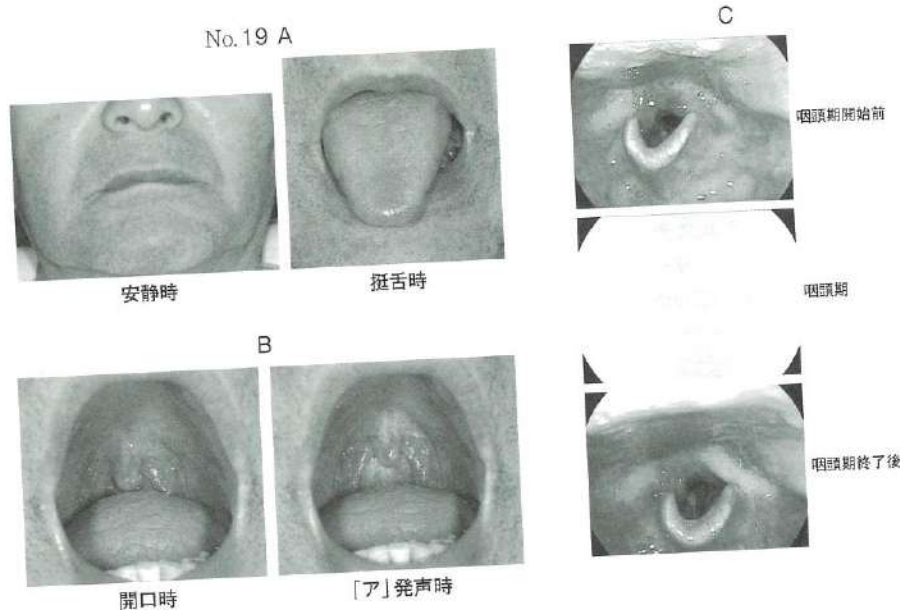
DH 26:P556

【問題 60】 79歳の男性。経口摂取を希望して脳神経内科からの紹介で来院した。半年前に脳幹梗塞を発症し、現在は胃瘻で栄養管理されている。音声や構音障害は認めず嚥下時の喉頭挙上は良好であったが、嚥下後に激しいむせを認めた。口腔機能時の顔面写真(別冊午後 No.19A)、口腔機能時の口腔内写真(別冊午後 No.19B)及び唾液の嚥下を記録した嚥下内視鏡検査の画像(別冊午後 No.19C)を別に示す。

むせの原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 舌運動不良
- b 鼻咽腔閉鎖不全
- c 食道入口部開大不全
- d 嚥下運動パターンの異常

▶高齢者・障害者歯科学



選択肢考察

- × a 挺舌時の動きに問題はなく、音声や構音障害は認めないことから、むせの原因が舌運動不良ではない。
- × b 「ア」発声時に口蓋垂の偏位はなく、鼻から唾液が漏れるなどの記載もないため、鼻咽腔閉鎖不全はない。
- c 咽頭期終了後に左右の梨状窩に唾液の貯留が認められ、咽頭期開始前と所見がほぼ変わっていないことから、食道入口部開大不全が考えられる。
- d 患者は半年間胃瘻で栄養管理されており、リハビリなども行っている記載もないため、嚥下運動パターンの異常がむせの原因と考えられる。

正解 c、d

DH 26:P558

【問題 61】 77歳の男性。食事時のむせを主訴として来院した。1年前に脳梗塞を発症したが、現在はリハビリテーションを受けていない。食事形態は普通食であり、液体にはとろみをつけていないという。口腔機能検査では異常値が認められなかったが、嘔声を生じており、改訂水飲みテスト時にむせがあったため嚥下造影検査を行うことになった。液体の嚥下を記録した嚥下造影検査の画像(別冊午後 No.20)を別に示す。

推奨される間接訓練はどれか。1つ選べ。

- a 開口訓練
- b 舌抵抗訓練
- c 頭部挙上訓練
- d プッシング訓練

選択肢考察

- × a 開口訓練は、喉頭の前上方運動を改善することで、食道入口部の開大を図る訓練である。口腔機能検査では異常値が認められなかったことと、嚥下造影検査の画像より、まずは他の選択肢を優先する。
- × b 舌抵抗訓練は、舌の筋力向上および可動域を改善し、食塊形成や食塊の咽頭への移送機能を改善することが目的である。本症例では、患者の食事形態は普通食であり、食塊の咽頭への移送自体は問題ないと考えられる。従って、他の間接訓練を優先すべきである。
- × c 頭部挙上訓練も開口訓練と同じく、喉頭の前上方運動を改善することで、食道入口部の開大を図る訓練である。従って、まずは他の選択肢を優先する。
- d プッシング訓練は、主に脳血管疾患などで局所的な感覚運動の低下により、声門閉鎖不全がある場合に行われる訓練である。患者は液体で誤嚥を繰り返しており、推奨される間接訓練として適切である。

正解 d

DH 26:P560

▶高齢者・障害者歯科学

No. 20



【問題 62】 摂食嚥下障害患者が行う訓練装置の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

この装置で改善が期待できるのはどれか。1つ選べ。

- a 咯出力
- b 喉頭挙上
- c 声門閉鎖
- d 食道入口部開大

選択肢考察

- × a 咯出力の改善が期待できるのは、主に咳嗽訓練である。
- × b 喉頭挙上の改善が期待できるのは、主に頭部挙上訓練(Shaker exercise)である。喉頭挙上に関わる舌骨挙上筋群などを鍛えることにより、喉頭の前上方移動を改善し、食道入口部の開大を図る効果もある。
- × c 声門閉鎖の改善が期待できるのは、主にプッシング・プリンク訓練である。
- d 写真はバルーンカテーテルである。バルーン拡張訓練は、食道入口部開大不全に対して行われる訓練である。バルーンを用いて輪状咽頭筋部を繰り返し拡張する方法である。

▶高齢者・障害者歯科学

No.21



正解 d

【問題 63】咬合性外傷の診断に有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 深い歯周ポケットがある。
- b ブローピング時の出血がある。
- c アタッチメントロスが進行している。
- d 触診法による咬合診査でフレミタスを認める。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯周ポケットの有無は咬合性外傷の診断にはならない。
- × b ブローピング時の出血は歯周炎の程度と関係があるが、咬合性外傷の診断にはならない。
- × c アタッチメントロスは歯周炎と歯肉炎の鑑別点である。
- d 咬合性外傷の原因としては早期接触、ブラキシズム、側方圧、過大な矯正力、舌や口唇の悪習癖などによる外傷性咬合があげられ、所見として歯の動揺が認められる。歯の動揺の検査はピンセットで診査するほか、手指による検査も行う。咬合時や下顎の偏心運動時のわずかな歯の動揺(フレミタス)を、口腔内で当該歯の両隣在歯を含めた頬・唇側面同時に手指を当てて、微妙な動きとして触知する。

DH 26:P 350

正解 d

【問題 64】歯面研磨時に使用する器材・器具の写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

操作で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a 高速回転で行う。
- b 強い圧で1か所に押し当てる。
- c 回転させた後に歯面に当てる。
- d カップの辺縁を歯肉縁下に入れて行う。

▶ 歯科予防処置
No.22

選択肢考察

- × a ラバーカップは低速回転で使用することで、発熱を抑制し滑沢な歯面を形成する。
- × b 歯面に軽く当て、また数箇所 접촉させることで、発熱を抑制し滑沢な歯面を形成する。
- × c 回転させた後に歯面に当てると、口腔内粘膜を損傷することがある。
- d ラバーカップは歯肉縁下の歯面研磨も行うことができる。

正解 d

DH 26:P 643

【問題 65】21歳の男性。歯科健康診査で行ったOHIによるDIとCIの検査結果を表に示す。

DI	右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部
上顎	1 0	1 1	1 0
下顎	0 1	0 0	0 1

CI	右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部
上顎	2 0	0 1	1 0
下顎	0 0	0 2	0 0

OHI値はどれか。1つ選べ。

- a 0.5
- b 1.0
- c 1.5
- d 2.0

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- d OHIはDI(Debris Index)とCI(Calculus Index)をそれぞれ算出し、合計したものである。
 $DI = (1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1) / 6 = 1.0$, $CI = (2 + 1 + 1 + 2) / 6 = 1.0$
 従って $OHI = DI + CI = 1.0 + 1.0 = 2.0$

DH 26:P 692

正解 d

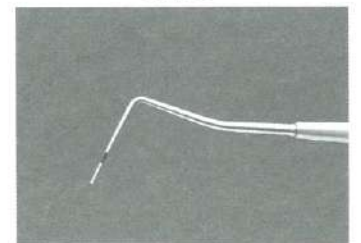
【問題 66】器具の写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

診査する項目はどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺
- b 歯石の付着
- c ブローピング深さ
- d ブローピング時の出血

▶ 歯科予防処置

No.23



選択肢考察

- × a 歯の動揺は診査項目に含まれない。
- × b 2013年の改訂より、歯石の付着は項目から除外された。
- c 写真の器具はCPIプローブである。ブローピング深さ(歯周ポケットスコア)は、スコア0:健全、スコア1:4~5mmのポケット、スコア2:6mm以上のポケットとして記録する。CPIは歯周疾患の程度の評価であり、2013年のWHO口腔診査法第5版より方法が改訂された。この改訂法では歯石の有無が評価から除外され、歯肉出血と歯周ポケットを別に記録する。
- d ブローピング時の出血(歯肉出血スコア)は、スコア0:健全、スコア1:出血ありとして記録する。

正解 c, d

DH 26:P 622

[問題 67] 歯面着色除去に用いる器具の写真(別冊午後 No.24)を別に示す。

- 操作で適切なのはどれか。2つ選べ。
- a ポケット内で使用が可能である。
 - b チップは歯面から3mm程度離す。
 - c チップは切縁咬合面方向に向ける。
 - d チップと歯面との角度は15度にする。

▶ 歯科予防処置

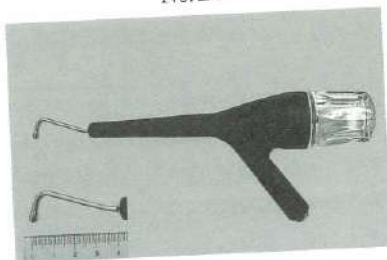
選択肢考察

- × a ポケット内での直接使用は、**気腫**を生じる危険性がある。
- b 写真の器具は歯面清掃器である。操作時の歯面とチップとの距離は**1.0~5.0mm**程度にする。
- c、× d 歯面とチップの角度は**60度**で、歯頸側から切縁咬合面方向に使用する。

正解 b、c

DH 26:P642

No.24



[問題 68] 体重は18kgの5歳の男児。う蝕予防のためにフッ化物歯面塗布法(2%NaF)を実施することになった。

塗布液を誤飲して急性中毒が生じる可能性のある最小量はどれか。1つ選べ。

- a 0.4mL
- b 2.0mL
- c 3.6mL
- d 4.0mL

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- d 急性中毒発現量は2kgF/体重kgであるため、この男児の急性中毒発現量は36mgF/18kgである。歯面塗布用のフッ化物ゲル中フッ素濃度は9,000ppmであるため、 $9,000\text{ppm} = 0.9\%F = 0.9\text{g}/100\text{mL} = 900\text{mg}/100\text{mL} = 9\text{mg}/1\text{mL}$ 。ゲル1mL中に9mgのフッ素が含まれている。急性中毒を引き起こす36mgのフッ化物を含有する量は、 $36/9 = 4\text{mL}$ である。

正解 d

[問題 69] 6歳児に対する1,000ppmMFP配合歯磨剤を用いたブラッシング指導で、う蝕予防に効果的な方法はどれか。2つ選べ。

- a 食事前に行う。
- b 1日2回以上使用する。
- c 使用する歯磨剤の量は米粒大とする。
- d ブラッシング後の洗口は1回にとどめる。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a ブラッシング後は、フッ化物が長時間口腔内に留まるように2時間程度は飲食を避けることが望ましい。
- b 1日2回または3回使用することが望ましい。
- × c 歯磨剤は米粒大では使用量が少ない。洗口ができる年齢であれば、小学校低学年であっても豆粒大程度を使用する。
- d ブラッシング後の洗口を1回だけにすることで、口腔内にフッ化物が留まりやすくなる。

正解 b、d

DH 26:P661

[問題 70] 砥石の特徴を表に示す。

素材	粒子	潤滑剤	用途
天然	細かい	鉱物油	仕上げ用

この砥石はどれか。1つ選べ。

- a セラミック
- b アーカンソー
- c インディアナ
- d カーボランダム

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a セラミック砥石は人工石で、粒子が**細かく**、スケーラーの**仕上げ**に用いる。
- b アーカンソー砥石は天然石で粒子が**細かく**、スケーラーの**仕上げ**に用いる。
- × c インディアナ砥石は粒子が**中程度の粗さ**であり、スケーラーの**形態修正**に用いる。
- × d カーボランダム砥石は粒子が**粗く**、スケーラーの**形態修正**に用いる。

正解 b

要点

● 砥石の種類と特徴

砥石	潤滑剤	種類	用途
ルビーストーン	水	人工砥石	・粗い ・形態修正用
カーボランダムストーン	水	人工砥石	・粗い ・形態修正用
アーカンソーストーン	オイル	天然砥石	・細かい ・仕上げ用
インディアナストーン	オイル	人工砥石	・粗い ・形態修正用
セラミックストーン	不要または水	人工砥石	・最も細かい ・仕上げ用

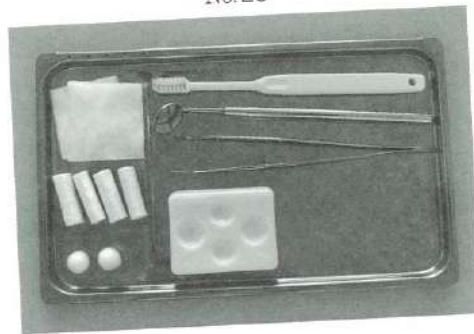
【問題 71】 1歳10か月の男児。う蝕予防を希望して来院した。予防処置を行うために準備した器材の写真(別冊午後 No.25)を別に示す。

この他に準備するのはどれか。1つ選べ。

- a 予防充填材
- b フッ化物洗口剤
- c ポリッシングペースト
- d ゲル状フッ化物歯面塗布剤

▶ 歯科予防処置

No.25



DH26:P668

選択肢考察

- × a 予防充填材の応用にはディッシュや歯ブラシは必要ない。
- × b フッ化物洗口剤の応用には小カップ(通常10mL)が用いられる。
- × c ポリッシングペーストの応用には、ロビンソンブラシやラバーカップなどの回転清掃器具が必要である。
- d ポール綿による簡易防湿法の後、ゲル状フッ化物歯面塗布剤を綿球または歯ブラシで塗布する。

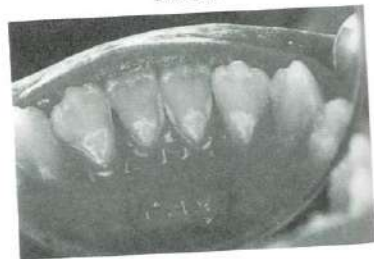
正解 d

【問題 72】 口腔内写真(別冊午後 No.26)を別に示す。沈着物の除去に適切なグレーシータイプスクレーラーはどれか。1つ選べ。

- a #5
- b #7
- c #11
- d #13

▶ 歯科予防処置

No.26



DH26:P629

選択肢考察

- a #5/6は下顎前歯舌側面に使用する。
- × b #7は[4-8]舌側および、[8-4]頬側歯頸部に使用する。
- × c #11は[8-4]頬側近心[4-8]舌側近心に使用する。
- × d #13は[4-8]頬側遠心[8-4]舌側遠心に使用する。

正解 a

【問題 73】 歯周組織における現在の炎症程度を評価するのに適しているのはどれか。1つ選べ。

- a 歯周ポケット深さ
- b 歯槽骨の吸収程度
- c アタッチメントロス
- d ブローピング時の出血

▶ 歯科予防処置

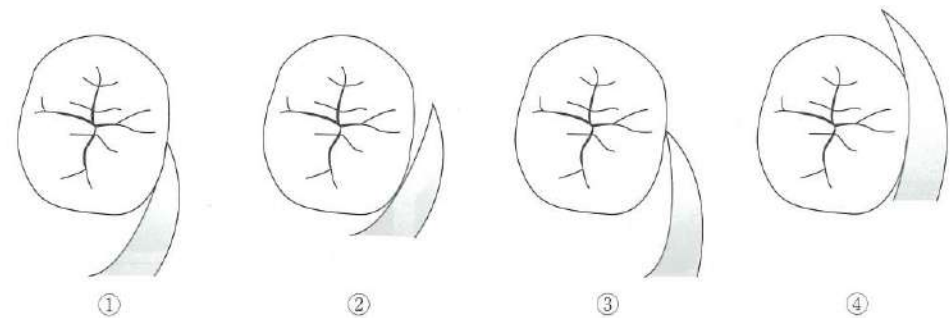
選択肢考察

- × a 歯周ポケットの深さはブローピングから得られる情報で、歯肉辺縁からポケット底部までの距離を示す。深さが深いほど、歯肉腫脹やポケット底部の根尖側方向への移動が大きいことを示しており、炎症の状態は反映されない。
- × b 歯槽骨の吸収程度はエックス線画像で評価するが、現時点の歯槽骨の破壊の程度を評価するものであり、炎症程度は評価できない。
- × c アタッチメントロス(付着の喪失)は、ブローピングやエックス線画像で評価し、現時点での歯周組織の破壊の程度を評価するものである。炎症の状態は評価できない。
- d ブローピング時の出血(BOP)はポケット底部の炎症、組織抵抗性や歯周病の活動性を評価するものである。歯周組織の炎症状態の評価は、歯周病の診査・診断、再評価だけではなく、メンテナンス・SPT時の予後や再発の早期発見をする上でも非常に重要である。視診による歯肉の発赤・腫脹だけでなく、ブローピングによる出血によりポケット底部の炎症状態を把握する必要がある。

正解 d

DH26:P378

【問題 74】 スケーラーの歯面への適合の図を示す。



適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯面に対するスクレーラー刃部(作業部)の位置を適合という。適合の際は、スクレーラー刃部先端から1~2mmを常に接触させなければならない。第2指と第3指に対して、第1指を押したり引いたりしながら、把柄部をわずかに回転させることによって、さまざまな歯の豊隆に接触させることができる。

正解 a

DH26:P629

[問題 75] 55歳の男性。歯周治療が終了し、3か月ごとのメンテナンスを行うことになった。歯周治療終了時の口腔内写真(別冊午後 No.27 A、B、C)とエックス線画像(別冊午後 No.27 D)を別に示す。

初回のメンテナンス時に行うべきことはどれか。2つ選べ。

- a 研究用模型の製作
- b プラークの付着の診査
- c エックス線画像の撮影
- d ブローピング時の出血の検査

▶ 歯科予防処置

No.27 A



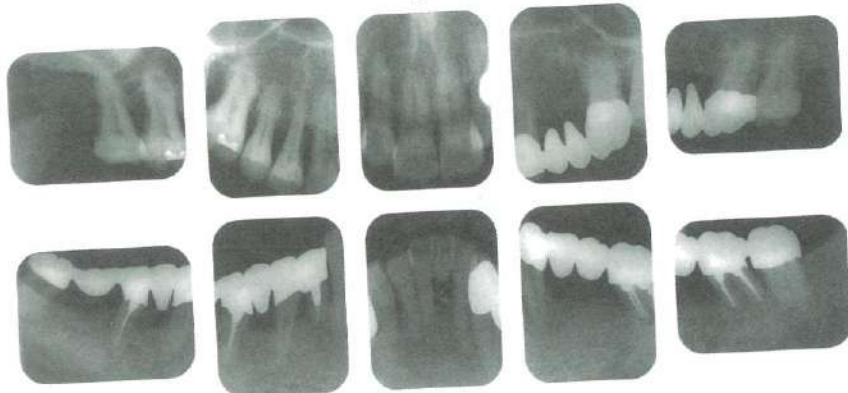
B



C



D



選択肢考察

- × a 3か月後に動的な変化が生じるとは思えない症例であるので、研究用模型を製作する必要はない。
- b プラークの付着の診査は口腔清掃再指導の一助となる。
- × c 歯槽骨の変化がエックス線画像上に現れてくるのは早くとも6か月以降なので、3か月後に撮影する必要はない。定期的に撮影する場合は、多くとも1年に1回程度である。
- d ブローピング時の出血の検査は炎症の有無を判定するには有効である。

正解 b、d

[問題 76] 2歳の女児。上顎乳前歯を対象に一般法でフッ化物ゲルを塗布することになった。塗布過程の写真(別冊午後 No.28)を別に示す。

適切な順番はどれか。1つ選べ。

- a ① → ② → ③ → ④
- b ① → ③ → ② → ④
- c ① → ④ → ② → ③
- d ① → ④ → ③ → ②

▶ 歯科予防処置

No.28



①



②



③



④

選択肢考察

- c ① 歯面清掃 → ④ 漱口 → ② 塗布 → ③ 余剰フッ化物のふきとりの順で行う。

正解 c

DH26:P665

[問題 77] 年齢と小窩裂溝填塞法適応歯との組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 7歳 —— 上顎側切歯
- b 10歳 —— 上顎犬歯
- c 13歳 —— 上顎第二大臼歯
- d 16歳 —— 下顎第一大臼歯

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 上顎側切歯は舌側に小窩がある場合は適応となり、7歳は適応である。6歳では未萌出である。
- × b 小窩裂溝填塞の目的は、歯冠形態を修正して小窩裂溝を口腔環境から遮断することにより、う蝕予防をしようとするものである。永久歯では萌出後、概ね2~3年以内の深い小窩裂溝が適応となる。上顎犬歯には深い小窩はみられない。
- c 萌出して間もないため適応となる。
- × d 萌出してすでに10年が経過しており、適応とならない。

正解 a、c

DH26:P664

【問題 78】 重度嚥下障害患者の直接訓練で用いる食品で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 麦茶
- b とろみ茶
- c 絹ごし豆腐
- d よく潰したバナナ

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 麦茶は、粘度が低く、とろみをつける必要がある。
- b 嚥下訓練には日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2021 (学会分類 2021) 食事早見表の嚥下訓練食品 0j や 0t を用いる直接訓練がある。嚥下訓練食品 0t は、均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したとろみ水 (原則的には、中間のとろみあるいは濃いとろみのどちらかが適している) であり、選択肢中で一番近いのがとろみ茶である。
- × c、× d 絹ごし豆腐やよく潰したバナナは、固形物であるため、訓練には用いない。

正解 b

【問題 79】 脳卒中後の口腔機能のリハビリテーションにおいて食物の形態を食べやすい形態にするのはどれか。1つ選べ。

- a 治療的アプローチ
- b 代償的アプローチ
- c 経済的アプローチ
- d 心理的アプローチ

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 治療的アプローチは主疾患の改善を図るためのアプローチである。
- b 代償的アプローチは食物の形態を食べやすい形態に変更する、体位を工夫するなど代償的な方法を考えることである。
- × c 経済的アプローチは障害によって経済的基盤を喪失した場合に行うものである。
- × d 心理的アプローチは後遺症による心的障害に対して行うものである。

正解 b

【問題 80】 40～64 歳の特定健康診査結果による特定保健指導の対象の階層化を表に示す。

腹 囲	追加リスク	①	対 象
	(1)血糖 (2)脂質 (3)血圧		
≥ 85cm(男 性) ≥ 90cm(女 性)	2つ以上該当	あり なし	積極的支援
	1つ該当		動機付け支援
上記以外で BMI ≥ 25	3つ該当	あり なし	積極的支援
	2つ該当		動機付け支援
	1つ該当		

①にあてはまるのはどれか。1つ選べ。

- a 喫煙歴
- b 飲酒習慣
- c 運動習慣
- d 体重減少

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 要点 参照

正解 a

DH 26:P733

要 点

● 特定保健指導対象者の階層化

腹 囲	追加リスク	④喫煙歴	対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40～64 歳	65～74 歳
≥ 85cm(男性) ≥ 90cm(女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当			
上記以外で BMI ≥ 25	3つ該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注) 斜線欄は、階層化の判定が喫煙歴の有無に関係ないことを意味する。

- ①血糖 a 空腹時血糖 100mg/dl 以上 又は b HbA1c の場合 5.2% 以上 又は c 薬剤治療を受けている場合 (質問票より)
- ②脂質 a 中性脂肪 150mg/dl 以上 又は b HDL コレステロール 40mg/dl 未満 又は c 薬剤治療を受けている場合 (質問票より)
- ③血圧 a 収縮期血圧 130mmHg 以上 又は b 拡張期血圧 85mmHg 以上 又は c 薬剤治療を受けている場合 (質問票より)
- ④質問票 喫煙歴あり (①から③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント)

※1 服薬中の者については、医療保険者による特定保健指導の対象としない。

※2 前期高齢者 (65 歳以上 75 歳未満) については、積極的支援の対象となった場合でも動機づけ支援とする。

[問題 81] 75歳の女性。①食事中に入れ歯が痛いことを主訴として来院した。義歯の着脱時や安静時には痛みはないという。口腔内を診察したところ、②咬合時の義歯床の沈下が認められた。③咬合の修正が必要と判断され、④咬合調整を行うことになった。この診療記録でSOAPの「O」に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 問題解決指向型診療録 (POMR: Problem Oriented Medical Record または POS: Problem Oriented System) では、まず問題点を列挙し、それぞれの問題について記録内容を S (Subject)、O (Object)、A (Assessment)、P (Plan) に分類する。「食事中に入れ歯が痛い」は患者の訴えであり、S にあたる。
○ b 「咬合時の義歯床の沈下が認められた」は口腔内診査によるものであり、O にあたる。
× c 「咬合の修正が必要と判断」は A にあたる。
× d 「咬合調整を行う」は P にあたる。

正解 b

[問題 82] 保健指導の流れを図に示す。



①、②、③の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① | ② | ③ |
| a 情報の収集 | 課題分析 | 評価 |
| b 動機付け | 課題分析 | 説明と同意 |
| c 説明と同意 | 評価 | 情報の収集 |
| d 課題分析 | 情報の収集 | 動機付け |

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 対象者の情報を集めて分析して問題点を明確にすることが最初である。指導後には評価を行い、効果を検討する。
× b 動機付けは保健指導に先立って行っても構わない。しかし説明と同意が最終段階に行われることはない。
× c 説明と同意は保健指導に先立って行っても構わないが、評価は指導後に行う。
× d 課題分析は情報収集の後に行う。

正解 a

DH26:P760

[問題 83] 小学校高学年の児童に対する歯科保健指導で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 保護者の点検磨きを指導する。
b 第一大臼歯の萌出に注意する。
c 間食の摂り方について指導する。
d 歯周炎への移行期であることを説明する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 小学校低学年までは本人だけのブラッシングでは不十分であるため、保護者の点検磨きが必要であり、的確に指導する。
× b 小学校高学年ではすでに第一大臼歯は萌出している。
○ c 間食の摂り方はう蝕発生のリスクになるため、指導項目に入る。
× d 学童期は歯肉炎に対する注意が必要であるが、歯周炎への移行期は青年期以降である。

正解 c

DH26:P748

[問題 84] 6か月の乳児。保育園で保護者を対象とした歯科保健指導で口腔清掃方法について質問を受けた。保護者は口腔清掃をまだ何もしていないという。全身疾患や口腔粘膜の異常はない。口腔内写真(別冊午後 No.29)を別に示す。

適切な助言はどれか。2つ選べ。

- a 小さなおもちゃをしゃぶらせましょう。
b 離乳食後にガーゼで乳歯を拭いてください。
c 指で口の中を触れることに慣れさせましょう。
d 就寝前に歯ブラシに慣れさせる準備を始めましょう。

▶ 歯科保健指導

No.29



選択肢考察

- × a 小さなおもちゃは誤飲の恐れがあり危険である。
○ b、× d 6か月の乳児では、就寝前ではなく離乳食後に行うことが望ましい。はじめはガーゼや綿棒で汚れを拭う程度で良く、前歯部の乳歯は生えそろう12か月過ぎからは、就寝前に歯ブラシで磨くように指導する。下顎右側乳中切歯が萌出しており、現段階では萌出に異常はない。この時期の口腔清掃は、まず口の中を触られることに慣れさせることから始め、乳前歯萌出後、指に巻いたガーゼで乳歯を拭うことから始め、歯ブラシによる清掃に移行していく。
○ c 最初は口腔内を触ることを嫌がるため、まず口の中を触られることに慣れさせることから始める。

正解 c、d

〔問題 85〕 地域住民のニーズに基づき保健活動の計画を作成することになった。最初に設定するのはどれか。1つ選べ。

- a 対象
- b 目標
- c 予算
- d 期間

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b まずは全体としての目標を掲げ、これを達成する上での活動内容や方法、期間を設定する。地域保健活動は、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→改善(Action)というPDCAサイクルが基本となる。活動計画と実施において、具体的な実施項目が決定されたら、その目的・目標、対象、方法、予算など具体的な活動内容を計画として組み立てる。

正解 b

〔問題 86〕 知的障害を伴わない脳性麻痺患者のう蝕予防で、本人に指導する内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a スクロースの摂取制限
- b バス法による歯垢除去
- c フッ化物含有ジェルの使用
- d デンタルフロスによる歯垢除去

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 脳性麻痺患者はブラッシングが難しいため、スクロースの摂取制限によるう蝕予防が必要となる。
 × b バス法は実行するのが難しいブラッシング法である。
 ○ c う蝕予防にはフッ化物含有ジェルの使用が有効である。
 × d デンタルフロスによる歯垢除去は難しい。

正解 a、c

〔問題 87〕 入院医療と比較した在宅医療の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 延命を目標とする。
- b QOLの拡大を重視する。
- c 療養期間は比較的短期間である。
- d 周囲との人間関係が重視される。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、○ b 入院医療では治療と延命を目標とするが、在宅医療ではQOLの拡大や自然な死を目標とする。
 × c 在宅医療では、療養期間は長期間となる。
 ○ d 病院での医療は主に「治す医療」であるが、在宅医療は「支える医療」である。本人、家族と一体となって、生活や生き方について考えていくことが重要である。

正解 b、d

DH26:P539

〔問題 88〕 81歳の女性。咀嚼困難を主訴として来院した。最近、食物の摂取が困難となり、食事に時間がかかるようになったという。オーラルディアドコキネシスを行った。基準値と計測値を表に示す。

	[pa]	[ta]	[ka]
基準値(回/sec)	6.1	6.1	5.6
計測値(回/sec)	6.5	4.8	6.3

特に機能が低下していると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 口唇
- b 舌根
- c 舌尖
- d 軟口蓋

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- c オーラルディアドコキネシスは主に高齢者の口腔機能向上の指標とする検査に使われており、舌、口唇、軟口蓋などの運動速度や巧緻性を発音状況によって評価するものである。具体的には「pa」「ta」「ka」という決まった音をなるべく早く、そして一定時間内に繰り返し発音することで、その数やリズムを評価している。ちなみに、「pa」は口唇の動き、「ta」は舌前方の動き、「ka」は舌後方の動きを評価しており、設問では「ta」の回数のみが基準値を下回っていることから、舌尖の機能が低下していると考えられる。

正解 c

DH26:P555

〔問題 89〕 医療面接における初診患者(A)と歯科衛生士(B)との会話を以下に示す。

歯科衛生士:「おはようございます。私は担当医のBです。お名前をお聞かせください」
 患者:「Aと申します」

この後の歯科衛生士(B)の質問で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 「これまでどのような病気にかかりましたか」
- b 「今日はどのようなことで来られましたか」
- c 「これまでどのような治療を受けられましたか」
- d 「確認のため住所、年齢、職業を教えてください」

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 焦点を絞った質問である。開かれた質問を用いた後に用いるべきである。
 ○ b 開かれた質問である。特に初診患者に対面したら、開かれた質問を導入後の面接前半に使い、しばらく患者の話を黙って聞くことは非常に重要である。設問にある「おはようございます。私は～」以下は、歯科衛生士の自己紹介と患者本人の確認で医療面接の導入部である。これに続くのは、主訴の把握である。主訴把握のポイントは、「会話の主導権は患者に」で、導入後の質問としてはまず「開かれた質問 open-ended question」を用いるべきである。
 × c 焦点を絞った質問である。開かれた質問を用いた後に用いるべきである。
 × d 中立的質問である。患者の本人確認や性別・年齢・職業により発生頻度の異なる疾病の診査に不可欠な質問であるが、職業、国籍などについては社会差別的な意味が含まれていると受け取られる場合があり、注意が必要である。

正解 b

[問題 90] 特別養護老人ホーム入所者を対象として、歯科衛生士による専門的な口腔ケアを週に1回行う群(口腔ケア群)と、行わない群(対照群)とに分け、2年間追跡調査した結果を表に示す。

	口腔ケア群(184名)	対照群(182名)
発熱発症者数(%)	27(14.7)	54(29.7)
肺炎発症者数(%)	21(11.4)	34(18.7)
肺炎による死亡者数(%)	14(7.6)	30(16.5)

口腔ケア群と対照群とで有意な差が認められた直接的理由はどれか。1つ選べ。

- a ADLの改善
- b 免疫能の亢進
- c 口腔内細菌の減少
- d 胃食道逆流の減少

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a ADLの改善によって誤嚥性肺炎発症の減少は可能ではあるが、口腔ケアが直接的にADL改善に関与することは考えにくい。
- × b 免疫能の亢進は肺炎発症を減少させるが、口腔ケアが直接的に免疫能を上昇させることは考えにくい。
- c 口腔ケアにより口腔内細菌が減少し、気管への侵入細菌の減少につながった結果と考えられる。
- × d 胃食道逆流の減少は、口腔ケアが直接的に関与することは考えにくい。

正解 c

[問題 91] 歯科訪問診療でMRSA陽性患者の口腔衛生管理実施に際し、最初に取り着ける個人用防護具はどれか。1つ選べ。

- a ガウン
- b マスク
- c グローブ
- d ゴーグル

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a ● 「個人用防護具の着脱手順」
 ・装着手順：ガウン・エプロン → マスク → ゴーグル・フェイスシールド → 手袋
 ・脱着手順：手袋 → ゴーグル・フェイスシールド → ガウン・エプロン → マスク

正解 a

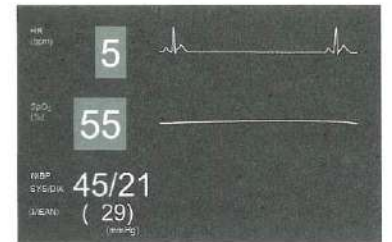
[問題 92] 86歳の男性。上顎全部床義歯の不適合を主訴として来院した。新義歯製作目的で印象採得中に印象材が咽頭に流れ込み、強い呼吸困難を訴えた。腹部突き上げ法で印象材の除去を試みたが不可能で、その後意識を消失した。このときの生体情報モニタ画面の写真(別冊午後No.30)を別に示す。

まず行う処置はどれか。1つ選べ。

- a 背部叩打法
- b 電気的除細動
- c 胸骨圧迫心マッサージ
- d ラリンジアルマスクの挿入

▶ 歯科診療補助

No. 30



DH26:P870

選択肢考察

- × a、○ c 腹部突き上げ法の後に意識が消失したため、背部叩打法ではなく胸骨圧迫心マッサージを行う。
- × b 生体情報モニタより高度の徐脈を認めるため、電気的除細動は不適応である。
- × d 気道異物があるため、ラリンジアルマスクを挿入しても気道を確保できない。

正解 c

[問題 93] 80歳の女性。近医からの依頼で抜歯することになった。患者は1年前に脳梗塞を発症し、抗凝固薬を服用している。そのほか高血圧症の既往があるという。偶発事故の予防策として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 術前に血圧を測定する。
- b 術中のバイタルサインを記録する。
- c 術中の血圧上昇の場合は頭を低くする。
- d 抗凝固薬の服用は1か月前から中止する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a、○ b 高血圧患者は、精神的要因や歯科診療に対する不安、恐怖感などで血圧が上昇する恐れがある。高血圧症患者では、必ず術前に血圧を測定し、術中もバイタルサインを記録、確認する。また血圧上昇を招かないよう患者との十分なコミュニケーションが必要である。
- × c 術中に血圧上昇がみられた場合には、ただちに処置を中断し患者をリラックスさせる。頭を低くすると苦しくなったり、誤嚥したりする危険性があるので避ける。
- × d 脳梗塞の既往がある患者の多くが抗凝固薬を服用している。観血的処置は出血傾向に留意が必要であるが、抗凝固薬の服用を1か月前から中止する必要はなく、歯科医師が担当医師に連絡し、対応しなければならない。

正解 a、b

【問題 94】石膏の硬化が遅延するのはどれか。2つ選べ。

- a 混水比の低下
- b 冷水による練和
- c 練和時間の短縮
- d 2%塩化ナトリウム水溶液の使用

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 混水比の低下により、硬化速度は促進(短縮)する。
- b 冷水による練和により、硬化速度は遅延する。
- c 練和時間の短縮により、硬化速度は遅延する。
- × d 5%までの塩化ナトリウム水溶液の使用により、硬化速度を促進させる。

正解 b, c

DH 26:P 805

要点

石膏は混水比を小さくすると、結晶核の間隔が小さくなり針状結晶が緻密になるため硬化時間は短くなる。練和時の練和回数や練和時間を増加させると硬化時間が短くなるが、過度に行うと逆効果になる。また少量の二水石膏を半水石膏に添加すると、結晶核が増加するため、硬化時間は著明に速くなる。水温が高くなると反応速度は増加する一方で、半水石膏の溶解度は減少する。従って、硬化時間は10℃~40℃付近までの水温であれば短くなるが、それ以上では長くなる。

【問題 95】酸化亜鉛を含むのはどれか。2つ選べ。

- a 水硬性仮封材
- b パーニッシュ
- c テンポラリーストッピング
- d グラスアイオノマーセメント

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 水硬性仮封材は、石膏にポリ乳酸ビニルと酸化亜鉛を配合したパテタイプの仮封材である。パテに水分が接触すると硫酸カルシウムが反応することで硬化する。操作性や封鎖性は良好で歯髄刺激性は認められない。
- × b パーニッシュはサンダラックをアルコールで溶解したものである。歯質との封鎖性は低く、ガスや水分の透過性があるため、急性期の疾患や排膿がある症例においての仮封材として使用される。酸化亜鉛は含有していない。
- c テンポラリーストッピングはガッタパーチャ、酸化亜鉛、ワックス、蜜蝋を成分とする仮封材である。封鎖性が不十分のため、酸化亜鉛ユーージノールセメントとの二重仮封で使用する。
- × d グラスアイオノマーセメントはフッ化物を含むアルミノシリケートガラスを粉成分、ポリアクリル酸水溶液を液成分とするセメントである。

正解 a, c

DH 26:P 840

【問題 96】根管壁象牙質の脱灰に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a H_2O_2
- b NaClO
- c EDTA
- d 酸化亜鉛ユーージノール

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a H_2O_2 (過酸化水素水) は根管清掃や交互洗浄で用いられる。
- × b NaClO (次亜塩素酸ナトリウム溶液) には有機質溶解作用があり、根管の化学的清掃剤として用いられる。
- c EDTA には無機質溶解作用があり、根管の化学的清掃剤として用いられるほか、機械的清掃時に補助的に用いられる。機械的拡大とは、リーマーやファイルを用いて根管の感染象牙質を除去し、根管充填材を充填しやすい形状にすることである。その際、補助的に薬剤を使用する。
 - 根管洗浄に用いられる薬剤
 - ・有機質溶解剤：次亜塩素酸ナトリウム
 - ・無機質溶解剤：EDTA
 - ・無機質・有機質溶解剤：フェノールスルホン酸
 - ・消毒薬：過酸化水素水
- × d 酸化亜鉛ユーージノールは歯髄鎮静療法で用いられる。

正解 c

DH 26:P 320

【問題 97】ろう義歯の口蓋形態を確認するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合力検査
- b パラトグラム検査
- c ブローイング検査
- d ゴシックアーチ描記法

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ろう義歯では人工歯の位置関係が狂うことから、咬合力検査は行わない。
- b 義歯の製作過程において、ろう義歯を一度患者の口腔内に試適し「人工歯の排列」、「咬合関係」、「義歯床外形線」、「歯肉部形態」、「発音機能」の点検を行う。発音時に舌が口蓋のどの範囲に接するかを調べる方法としてパラトグラム検査があり、ろう義歯の口蓋形態を確認する。
- × c ブローイング検査は、鼻咽腔閉鎖機能を検査する方法である。
- × d ゴシックアーチ描記法は、下顎の限界運動や上下の水平的顎間関係の記録を目的とした術式であるが、ろう義歯では行わない。

正解 b

DH 26:P 390

【問題 98】 52歳の男性。下顎右側臼歯部の金属色を気にして来院した。ブリッジは5年前に装着したという。新製することとなり、ブリッジを除去することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.31 A)と使用する器材の写真(別冊午後 No.31 B)を別に示す。準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科診療補助

No.31 A



B



①



②



③



④

選択肢考察

- a ①はダイヤモンドポイントである。ブリッジを除去する際には、支台装置を除去用バーで支台歯部分まで溝状態に切削し、支台装置とポンティック間をダイヤモンドポイントで切断する。溝状態に切削された支台装置は保持力が減少し除去しやすくなっているため、クラウンリムーバーで除去する。カーバイドバー(除去用)も使用可能である。
- × b ②はリトルジャイアント®(合釘除去器)で、支台築造のコアを除去する際に使用する。本症例ではコアの除去は行っていない。
- c ③はクラウンリムーバーである。バーで切削された溝の部分に、リムーバーの先端を差し込み、ハンドル部を握ると、クラウンの内部から左右に押し広げられて除去できる。
- × d ④はスチールバー(ラウンドバー)であり、ブリッジを切断するのは困難である。

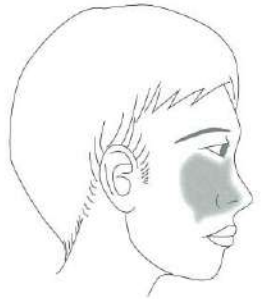
正解 a, c

【問題 99】 37歳の男性。上顎臼歯部の抜歯を行うことになった。上顎の伝達麻酔後に顔面部に変化がみられた。顔面の模式図(別冊午後 No.32)を別に示す。適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
b 胸骨圧迫
c 呼気再呼吸
d アドレナリン投与

▶ 歯科診療補助

No.32



選択肢考察

- a 設問の模式図はキューンの貧血帯を示している。キューンの貧血帯は前頬部から鼻翼にかけて好発し、通常は30~60分で消失するため、経過観察を行う。
- × b 胸骨圧迫は一次救命処置で行う。
- × c 呼気再呼吸は、過換気症候群がみられた際に行う処置とされていたが、現在は推奨されていない。
- × d アドレナリン投与は、ショックなどによる血圧低下時に行う。

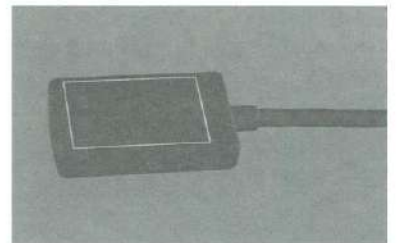
正解 a

【問題 100】 歯科用デジタルエックス線撮影システムのセンサーの写真(別冊午後 No.33)を別に示す。

- このシステムの特徴はどれか。2つ選べ。
- a 撮影後短時間で画像が表示される。
b レーザー光で情報を電気信号に変換する。
c センサーに光が当たると画像情報が減衰する。
d デジタルシステムとしては空間分解能が高い。

▶ 歯科診療補助

No.33



選択肢考察

- a センサーとコンピュータがオンラインで繋がっているため、タイムラグなく画像が表示される。
- × b レーザー光で情報を電気信号に変換するのはIPを用いたシステムである。
- × c IPはセンサー上に情報を記録するため、光が当たると情報が減衰するが、CCDはセンサー上に情報を蓄えないため、光が当たっても減衰しない。
- d 現在のデジタルシステムではIPよりもCCDの方が空間分解能が高い。

正解 a, d

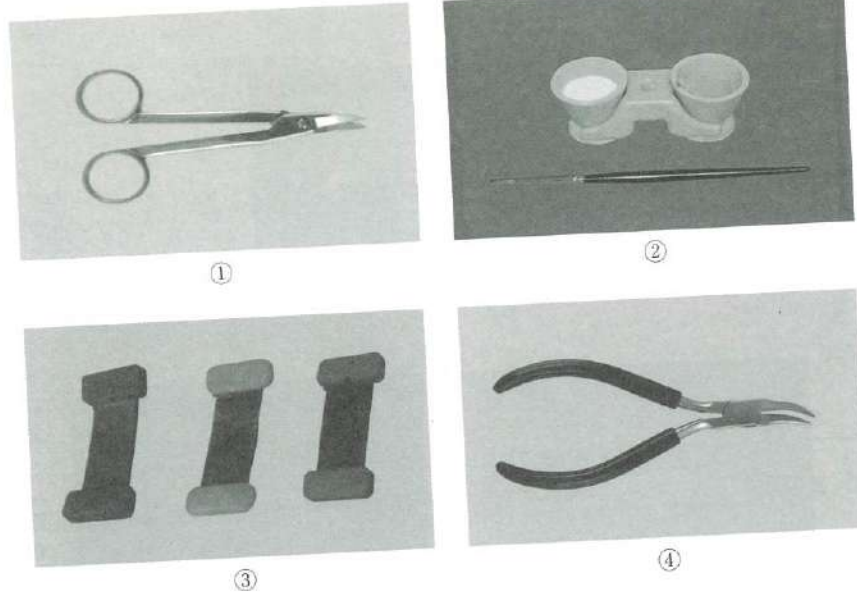
DH 26:P 260

[問題 101] 器具の写真(別冊午後 No.34)を別に示す。
乳歯用既製金属冠修復で用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科診療補助

No.34



選択肢考察

○ a、○ d ①は金冠バサミ、④は Gordon のプライヤーである。

● 乳歯用既製金属冠の修復手順

① 支台歯形成、② 乳歯用既製冠の選択、③ 曲の金冠バサミによる冠縁の削除と Gordon のプライヤーによる冠縁の調整、④ 乳歯用既製冠の試適、⑤ カーボランダムポイントとシリコーンポイントによる乳歯用既製冠の研磨、⑥ セメント合着、⑦ 余剰セメントの除去

乳歯用既製金属冠は、多歯面にわたる乳白歯う蝕、形成不全のある乳白歯、保障装置の支台歯、歯髄処置歯などに適応される。

- × b ②は常温重合レジンである。プロビジョナルレストレーションの製作で用いられる。
× c ③はコンタクトゲージである。乳歯用既製金属冠には緊密なコンタクト接触は求めないため、コンタクトゲージは使用しない。

正解 a、d

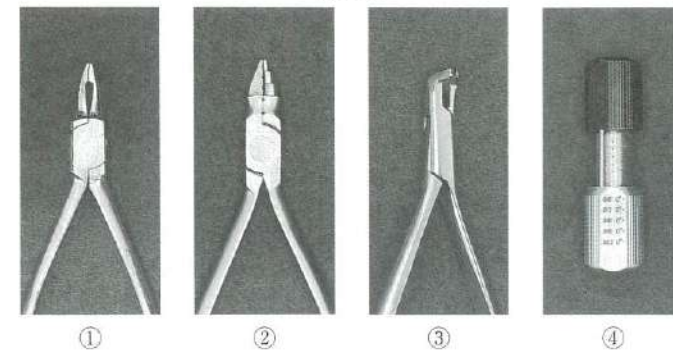
DH26:P885

[問題 102] 矯正歯科治療に用いる器具の写真(別冊午後 No.35)を別に示す。
レクタングュラーワイヤーの屈曲に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科診療補助

No.35



選択肢考察

- × a ①はバンドコンタリングプライヤーでバンド辺縁の調整に用いる。
× b ②は Young のプライヤーで 0.5~0.9mm ワイヤーの屈曲に用いる。
× c ③はセーフティーエンドカッターでアーチワイヤーの切断に用いる。
○ d ④はアーチフォーミングターレットでストレートなレクタングュラーワイヤーをアーチワイヤーにフォーミングする際に用いる。

正解 e

[問題 103] エタノールが最も強い殺菌効果を示す濃度はどれか。1つ選べ。

- a 3%
b 10%
c 30%
d 70%

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- d エタノールの殺菌効果の至適濃度範囲は、日本薬局方で 76.9~81.4v/v%、WHO のガイドラインでは 60~80v/v%とされている。エタノールの殺菌効果が最も高い濃度は、70%とされている。エタノールは、微生物のタンパク質を変性させることで殺菌効果を示すが、水が加わることで変性が促進される。

正解 d

DH26:P799

[問題 104] Japan Coma Scale(JCS)による意識レベル評価で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 痛み刺激
- b 脈拍測定
- c 呼びかけ
- d 対光反射の確認

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

○ a、c Japan Coma Scale(JCS)では、呼びかけをしたり、痛み刺激を与えたりして、意識レベル評価を行う。

DH26:P884

正解 a、c

要点

Japan Coma Scale(JCS)は、わが国で用いられる意識障害の簡便な評価法である。分類の仕方から、3-9度方式ともいう。数値が大きいほど、意識障害が重いと評価される。

[問題 105] 自閉スペクトラム症児に絵カードを示しながら歯科治療を行うことになった。使用した絵カード(別冊午後 No.36)を別に示す。

治療を進める際に、患児が受け入れやすい項目はどれか。1つ選べ。

- a 予定の変更
- b イメージの形成
- c 作業のルーチン化
- d 言語的コミュニケーション

▶ 歯科診療補助

No. 36



選択肢考察

- × a 十分な説明がなければ、予定の変更がなぜ起こったのが理解できず、不安感が生じる。
- × b 頭の中で抽象的にイメージを形作るのは不得意である。
- c 前回と同じことが繰り返されれば、次に起こることが想像でき、落ち着くことができる。
- × d 自閉スペクトラム症児は、言語的コミュニケーションは不得意である。

正解 c

要点

絵カードを示しながら、次に何を行うのかをあらかじめ示し、患児が理解した上で実際の次のステップに移って行く方法は、TEACCH法としてノースカロライナ大学で自閉スペクトラム症患者の治療のために開発されたものである。自閉スペクトラム症児の特徴に、想像力の不足がある。次に何が起こるかが理解できないために、健常者が感じるより大きな恐怖を感じる。また、言葉での説明ではイメージが形成しづらいため、より具体的な絵でイメージを示してあげることで、理解しやすくなり、落ち着くことができる。

[問題 106] 84歳の女性。グループホームの職員より、最近食事がしづらくなったという依頼があり訪問歯科診療を行った。ある訓練を実施することになった。訓練時の写真(別冊午後 No.37)を別に示す。改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 舌圧
- b 嚥下反射
- c 口唇閉鎖機能
- d 鼻咽腔閉鎖機能

▶ 歯科保健指導

No. 37



選択肢考察

- × a 舌圧の改善は舌抵抗訓練などを行うことで改善できる。
- × b 吹き戻しは嚥下機能の改善は期待できるが嚥下反射の改善は期待できない。
- c 設問の写真は吹き戻し(巻き笛)を使用した訓練を行っているところである。吹き戻しは摂食嚥下障害におけるリハビリテーションに用いられることがあり、食物を使用しない間接訓練の1つである。期待できる効果として呼吸機能の改善、発声機能の改善、鼻咽腔閉鎖機能の改善、構音機能の改善、口唇閉鎖機能の改善などがあげられる。
- d 吹き戻しは鼻咽腔が閉鎖できていないと正しく行うことができない。従って、訓練を行うことで鼻咽腔閉鎖機能の改善が期待できる。

正解 c、d

[問題 107] 摂食嚥下障害患者に対してリハビリテーションを行うことになった。訓練時の写真(別冊午後 No.38)を別に示す。

この訓練で改善が期待できるのはどれか。1つ選べ。

- a 咬筋
- b 顎舌骨筋
- c 胸鎖乳突筋
- d 口蓋帆挙筋

▶ 歯科診療補助

No. 38



選択肢考察

- d ブローイング訓練により、軟口蓋を挙上する口蓋帆挙筋の機能改善が期待できる。写真で行っている訓練は、ブローイング訓練である。ブローイング訓練は、初めに座位で息を吸い、ストローをくわえ容器内の水につけ、呼気にて容器内の水が泡立つように息を吐く。この訓練は呼吸と嚥下の協調をコントロールし、鼻咽腔閉鎖機能不全の強化を目的とした間接訓練である。

正解 d

DH26:P542

【問題 108】 60歳の男性。歯科治療を希望して来院した。軽度の開口障害がある。開口の誘導のためKポイントを刺激することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.39)を別に示す。

刺激部位で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科診療補助

No.39



選択肢考察

- d Kポイントは白後三角後縁の後方や内側に存在し、指で軽く圧迫刺激すると開口が促される。

正解 d

【問題 109】 片麻痺の高齢者に口をすすがせるときに好ましいのはどれか。2つ選べ。

- a 坐位
b 仰臥位
c 頭部の前屈
d 頭部の麻痺側傾斜

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 体位としては坐位が適切である。
× b 仰臥位ではすすいだ液体が咽頭に流れ込みやすい。
○ c 頭部を前屈すると咽頭に流れ込みにくくなる。片麻痺では摂食・嚥下障害がみられるため、口をすすぐ時に咽頭に流れ込みにくい体位、姿勢を取るのが良い。咽頭に液体が流れ込むと誤嚥を起こす危険性がある。
× d 頭部を麻痺側に傾斜すると、口角から漏れやすく、そのうえ咽頭にも流れ込みやすい。

正解 a, c

DH26:P790

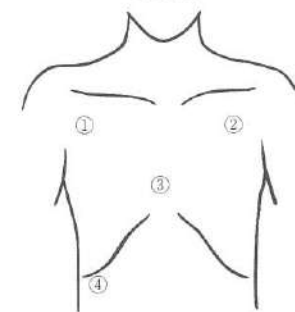
【問題 110】 胸部正面の模式図(別冊午後No.40)を別に示す。

3点誘導法によるモニタ心電図で、赤色の電極を装着する位置はどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科診療補助

No.40



- a 3点誘導法によるモニタ心電図とは、肢誘導を指し、I、II、III、aVR、aVL、aVFがある。特にI～III誘導(標準肢誘導)が電気的に心臓を中心とする正三角形となると仮定したものを、Einthovenの三角形という。肢誘導の場合、赤色の電極を右鎖骨下(①)または右手首、黄色の電極を左鎖骨(②)または左手首、緑色の電極を左下胸部または左足首に装着する。また、黒色の電極(アース)を右下胸(④)または右足首に装着することがある。

正解 a